

# 活動およびアンケート報告



2021年3月 丹波篠山の子ども食と健康を考える会

## 《 はじめに 》

丹波篠山の子どもの食と健康を考える会では、丹波篠山市の『子どもの食の応援事業補助金』を活用し、2020年9月から『ささっこ青空ひろば』を開催し、コロナ禍でも子どもたちの居場所（あそび場）づくり、お弁当による食支援、保護者アンケートを実施してきました。

12月には、社会福祉課から校長会・園長会へ説明いただき、教育委員会にもご協力いただき、市内すべての保育園・幼稚園・こども・小学校を通じて前世帯へチラシを配布いただき、アンケートへご協力いただきました。

また、2021年2月と3月あわせて4回、『ひとり親世帯へのお弁当提供』を実施しました。

本報告書では、活動状況を報告するとともに、239世帯から回答いただいたアンケートの集計結果および分析について報告いたします。集計にあたっては、各項目を全体・子どもが3人以上の多子世帯・ひとり親世帯・年収300万円未満の世帯でそれぞれの集計し、比較可能とした。また分析にあたっては、特徴的な傾向を【世帯の構成や収入による違いや傾向】として記載した。ただし、自由記述の項目では、それ以外にも多くの意見や要望をいただいている。すべてを掲載しているため、1つ1つ目を通していただき、子育て世代のおかれている状況を確認していただくとともに、改善できるものはできるだけ早い対応を、時間のかかりそうなものは今後の施策へ反映を検討していただきますようお願いいたします。当団体としても、アンケート結果をもとに今後の活動内容について検討してまいります。

回答をご協力いただいた中に「ここまで色々質問をする必要が有ますか？ 小学校や教育委員会が実施するアンケートなら良いが、民間の方が保育園や学校を使って、このようなアンケートを実施しないで下さい。」とのご意見もいただきました。市を通じて校長会・園長会・教育委員会にご協力いただいたものの、チラシやアンケートフォームを見て実際に回答される保護者みなさんへの説明や配慮が十分ではなかったと申し訳なく思っております。活用させていただいた丹波篠山市の『子どもの食の応援事業補助金』は、居場所（遊び場）づくり・食支援・調査の3事業を行うことを条件に当団体へ補助されたことをお伝えするとともに、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 【世帯の構成や収入による違いや傾向】の記述例

赤の太文字はアンケートの質問項目

子どもと一緒にいるとストレスを感じることに・・・  
1回目の緊急事態宣言で2ヶ月近くも学校園が休校園に・・・  
ていることが影響していると思われる。一方で、「減った」・・・  
受けている保護者もいる。子どもと遊んだり、一緒に勉強した・・・

### 【アンケート分析の際、参照した資料】

- ・丹波篠山市 令和3年度施政方針
- ・丹波篠山市 第3次総合計画 前期基本計画
- ・第2次 丹波篠山市 男女共同参画プラン [フィフティプラン]
- ・第2期 ささっこ 子育て いちばんプラン  
[第2期 丹波篠山市子ども・子育て支援事業計画]
- ・篠山市 特別支援教育 推進基本計画
- ・第3期 丹波篠山きらめき教育プラン [丹波篠山市教育振興基本計画]
- ・丹波篠山市 子育てガイドブック ささっこすくすくガイド
- ・令和2年度 丹波篠山市社会福祉協議会 事業方針

本事業は以下の助成を受けています。

丹波篠山市

『子どもの食の応援事業補助金』

ひょうごコミュニティ財団

『ひょうご・みんなで支え合い基金』

## 《 目 次 》

### 【活動状況】

ささっこ青空ひろば	・・・ P 1
ひとり親世帯へのお弁当お届け	・・・ P 2

### 《アンケート結果》

【回答者の概要】（回答数239）	・・・ P 3
------------------	---------

### 【新型コロナウイルスの生活への影響に関する調査項目】

生活満足度はどのように変わりましたか？	・・・ P 5
疲れを感じる	・・・ P 6
精神的に不安になること／イライラすること	・・・ P 7
家事に関するストレス	・・・ P 8
親子関係	・・・ P 9
時間の余裕	・・・ P10
仕事の負担（勤務時間）	・・・ P11
失職した／休業になった	・・・ P12
世帯の構成や収入による違いや傾向	・・・ P13

### 【子どもとのかかわりに関する調査項目】

子どもと一緒にいることにストレスを感じる	・・・ P15
子どもに怒ったり、叱ったりすること	・・・ P16
子どもに手を挙げる	・・・ P17
子どもと遊んだり、一緒に勉強したり、前向きに関わる時間	・・・ P18
子どもとの関係で、不安な気持ちや不安なこと《自由記述》	・・・ P19
世帯の構成や収入による違いや傾向	・・・ P21

### 【食事（食費）に関する調査項目】

食事（食費）について	・・・ P22
子どもだけでご飯を食べることがある	・・・ P23
安心安全な子どもの居場所（遊び場）と食の提供について	・・・ P24
居場所と食提供が必要／必要ない理由《自由記述》	・・・ P25
食材などを直接お宅へ無償で届ける取り組み（フードバンクなど）について	・・・ P30
食材などを直接へ届ける取組が必要／必要ない理由《自由記述》	・・・ P31
世帯の構成や収入による違いや傾向	・・・ P35

### 【お金に関する調査項目】

世帯の収入について	・・・ P37
世帯の支出について	・・・ P38
支出が増えたこと、その影響、あるいは金銭面での将来への不安について 《自由記述》	・・・ P39
世帯の構成や収入による違いや傾向	・・・ P42

### 【支援窓口や支援サービスの利用状況に関する項目】

丹波篠山市や社会福祉協議会への相談について	・・・ P43
利用したサービスや、相談内容《自由記述》	・・・ P44
市や社会福祉協議会への相談に対する意見や感想《自由記述》	・・・ P45
もっと充実してほしいと思う制度は何ですか？	・・・ P46
充実してほしい制度に関する具体的な意見《自由記述》	・・・ P48
世帯の構成や収入による違いや傾向	・・・ P51
子育てに対して不安に思っていることや、特に困っていること	・・・ P54

### 【その他全般に関する項目】

困った時に相談・手助けしてもらえる人が身近にいますか？	・・・ P56
いま特に困っていること	・・・ P57
その他、知ってほしいこと、伝えたいこと	・・・ P59
丹波篠山の子ども食と健康を考える会に期待する活動や役割	・・・ P62

【ささっこ青空ひろばの活動状況】

回	日付	地区	場所	活動内容	参加世帯数	保護者数	子供の数	合計人数
1	2020. 9. 27	丹南	petit prix および周辺の森	冬野菜の植え付け、生き物探検、ヤギと遊ぼう、等	15	19	31	50
2	2020. 10. 18	西紀	西紀北 川阪地区の田んぼと川	虫博士による虫のお話、田んぼや小川で虫採り・魚獲り	14	20	30	50
3	2020. 11. 8	篠山	南新町 みなみ会館隣の公園	木の端材を使った工作、ビンゴゲーム	17	24	30	54
4	2020. 12. 13	城東	B & G 体育館	MIZUNO 公認指導員による「親子でカラダを動かそう」	14(+2)	17(+2)	26(+4)	43(+6)
5	2021. 1. 24	多紀	チルドレンズミュージアム	しぜんの万華鏡をつくろう	6(+15)	10(+23)	13(+29)	23(+52)
6	2021. 2. 21	今田	今田体育館	トイライブ 北大学公認コーディネイショントレーナーによる「遊びの教室」	13(+5)	15(+7)	24(+10)	39(+17)
<b>合計（延べ数）</b>					<b>79(+22)</b>	<b>105(+32)</b>	<b>154(+43)</b>	<b>259(+75)</b>

※ (+○)については、お弁当の持ち帰り（食支援）のみの数

「コロナ禍でも子どもたちの居場所（遊び場）を」と始めた『ささっこ青空ひろば』。1度目の緊急事態宣言が解除された後も「自粛」を求められ、家に閉じこもりがちな子どもたちの居場所が必要にされていると改めて実感した。ただ、コロナ禍と関係なく、子どもたちが遊ぶ公園や機会、保護者同士が出会い、交流を深め、相談できる関係を築く機会を求める声は大きい。また、昼食に弁当を提供したことは単なる食支援ではなく、保護者が「1食作らなくても済む」「出かける準備の負担も減る」という目に見える効果に留まらず、「気持ちも楽になる」とメンタルへの効果もあった。

今回行ったアンケート調査では、子育て環境への不安や要望が多く寄せられている。『ささっこ青空ひろば』に参加いただいたり、アンケートに回答いただいた子育て世代にとって、子育て環境は暮らしの中で最も大切な要因の1つ。コロナにより仕事のオンライン化が進み、自然豊かな地方都市への移住を考える人が増え、実際に移住された人もいる。これは丹波篠山市にとってチャンスでもあるが、ピンチでもある。今はネット社会。「子育てしやすい自治体」「子育て日本一」などのキーワードで検索すると、『子育てしやすい街ランキング』が表示されたり、様々な自治体の取り組みを簡単に知ることができる。自治体の規模や財政状況によって、できること／できないことがあると思われるが、比較されるのが当たり前の状況は続く。「子育ていちばん」を掲げる丹波篠山市が、移住を考えている人たちや他の自治体から羨ましがられる自治体となるよう、市・社会福祉協議会・市民団体それぞれができることを、また協力しながらできることを、今後も進めていくことが大切と考えている。



【ひとり親世帯へのお弁当お届け活動状況】

回	日付	受け渡し場所	世帯数	保護者数	子供の数	合計
1	2021.2.5	市民センター、城東公民館	13	13	19	32
2	2021.2.17	市民センター、城東公民館	18	18	34	52
3	2021.2.26	市民センター、HIKOOKI	23	23	45	68
4	2021.3.15	四季の森生涯学習センター、城東公民館	24	24	47	71
<b>合計（延べ数）</b>			<b>78</b>	<b>78</b>	<b>145</b>	<b>223</b>

2度目の緊急事態宣言が出されたこともあり、『ささっこ青空ひろば』は当初8回の開催を計画していたものの6回で終了。『子どもの食の応援事業補助金』の担当部署である社会福祉課と相談し、ひとり親世帯へのお弁当のお届け活動を実施することとした。ひとり親世帯でもそれほど困っていない世帯、逆に両親がいる世帯でも困窮している世帯はあると思われる。しかし、個人情報を持ち合わせていない当団体では「ひとり親世帯」という誰にでもわかりやすい基準で今回募集することとした。

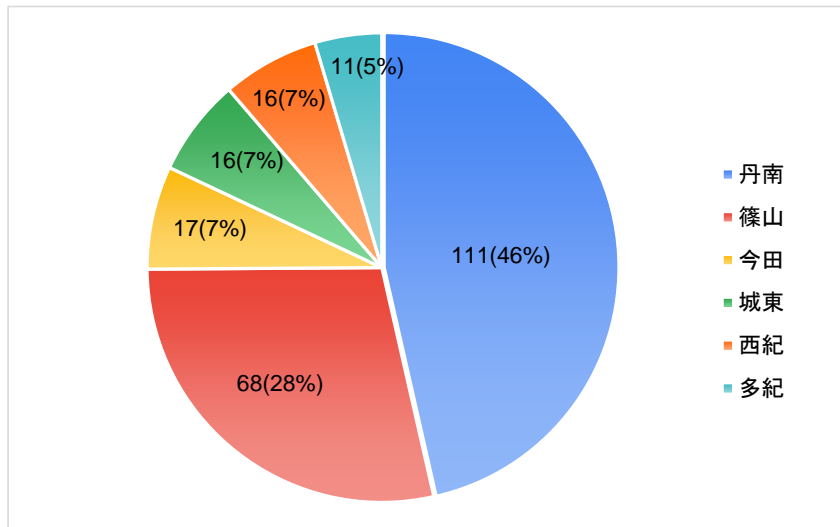
実際に行ってみたところ、本当に喜んでいただけた。以下のような感想をいただいております、活動の必要性を痛感している。

- ・お弁当美味しく頂きました！毎回お弁当以外にもあってとっても嬉しく思っています。子どもはイベントみたいに毎回お弁当を心待ちにしていました。帰って一緒に同じお弁当を食べることで、親子のゆっくりとした時間も確保できました。これからも続けてくださると嬉しいです。
- ・いつも美味しいお弁当ありがとうございました。こないだのが最後と聞いて大変ショック!!でした。本当に楽しみにしていました。普段食べられないような豪華なお弁当でした。また再開してくださいよろしくお願いします。
- ・お弁当ありがとうございました。とても美味しかったです。お弁当だと野菜も残さず食べてくれます。煮物も、普段は食べないのに、大根食べてるし。ボリュームもあるし、栄養バランスもいい、毎回、子供は、とても楽しみにしています。お弁当は、栄養バランスよく食べれてうれしいし、私もお弁当だと家事のお休みで、とてもうれしかったです、本当に、ありがとうございました。

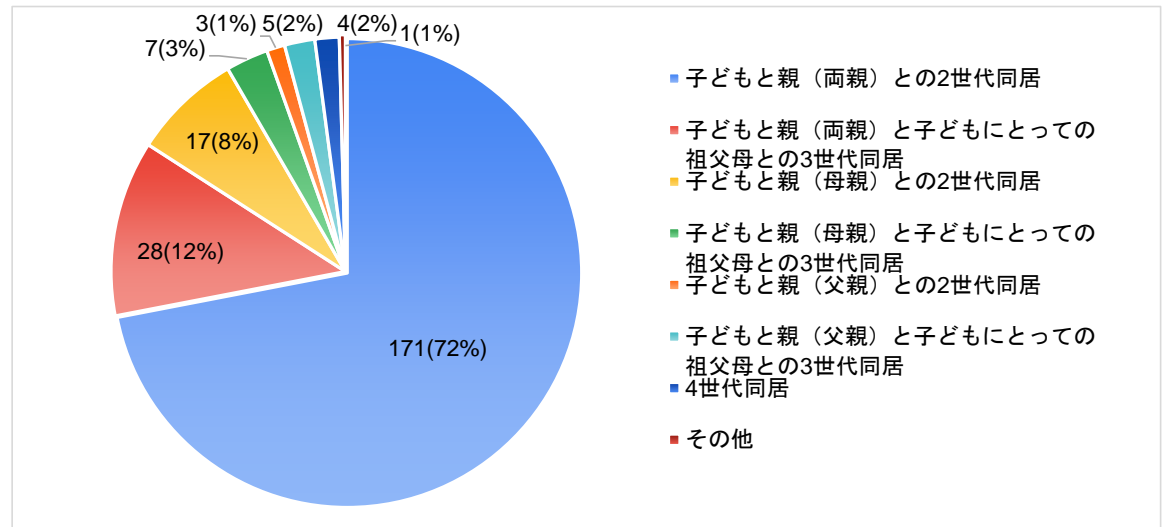
# アンケート結果

【回答者の概要】（回答数 239）

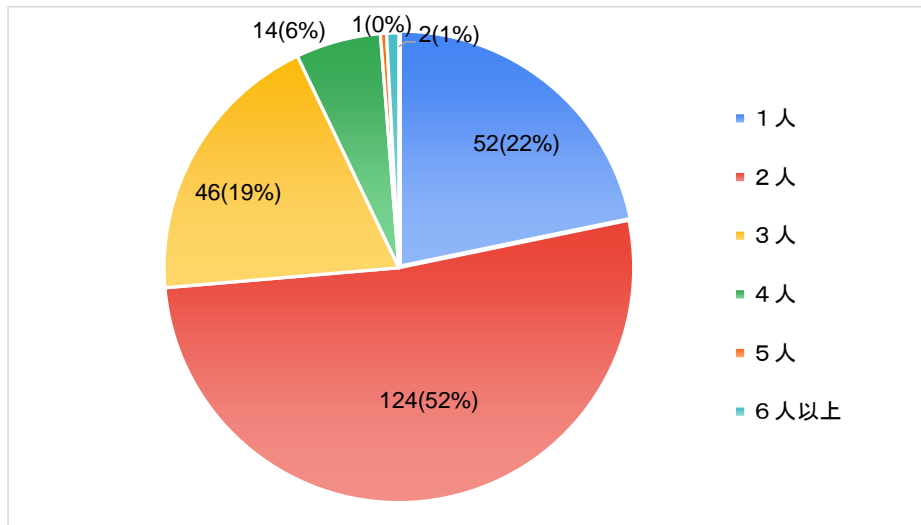
## 居住地域



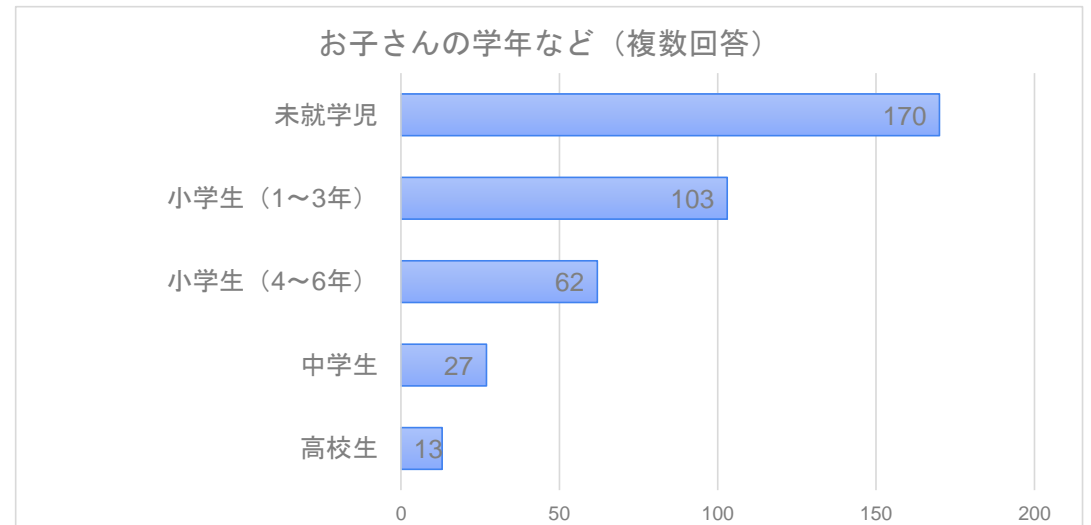
## 家族の形態



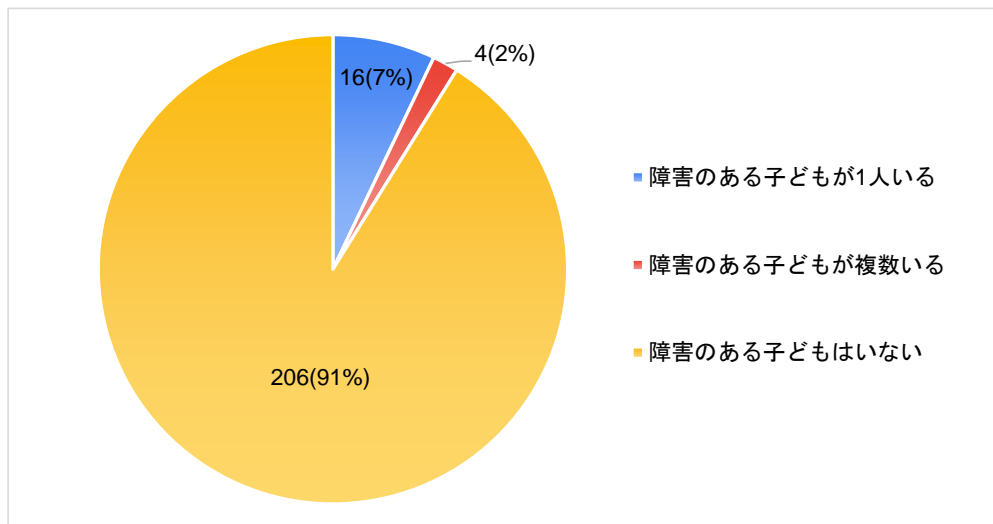
## 家計を共にする子どもの人数



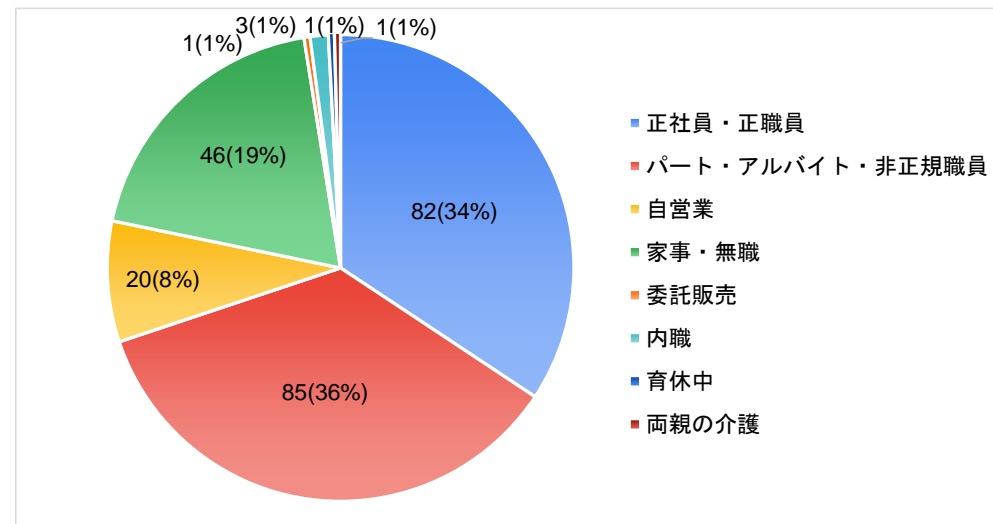
## 子どもの学年など（子どもが複数いる場合は該当するすべて）



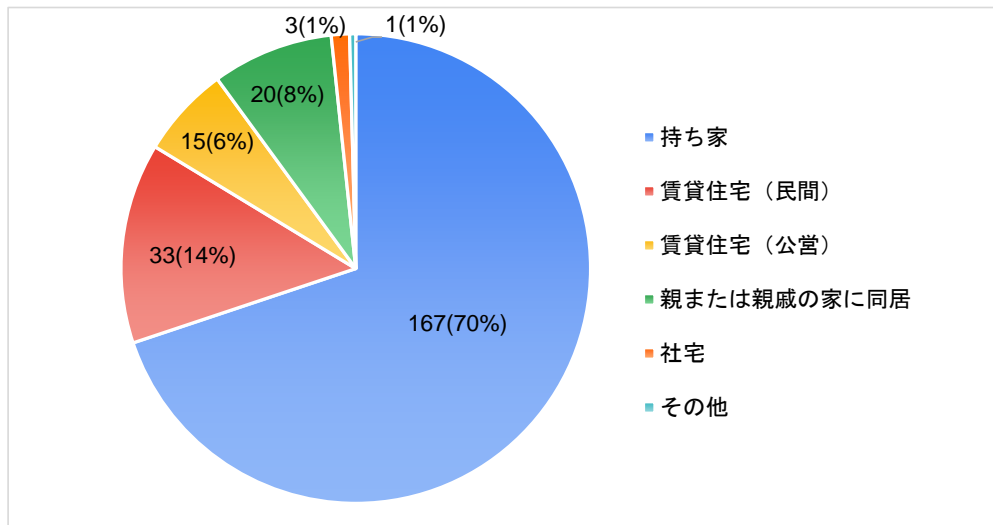
お子さんの障害の有無



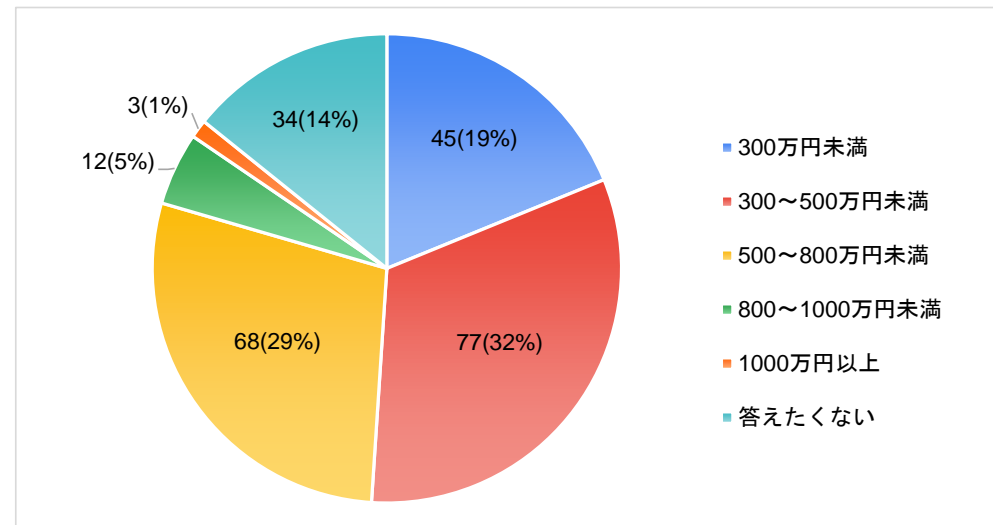
勤務形態など



住まいの状況



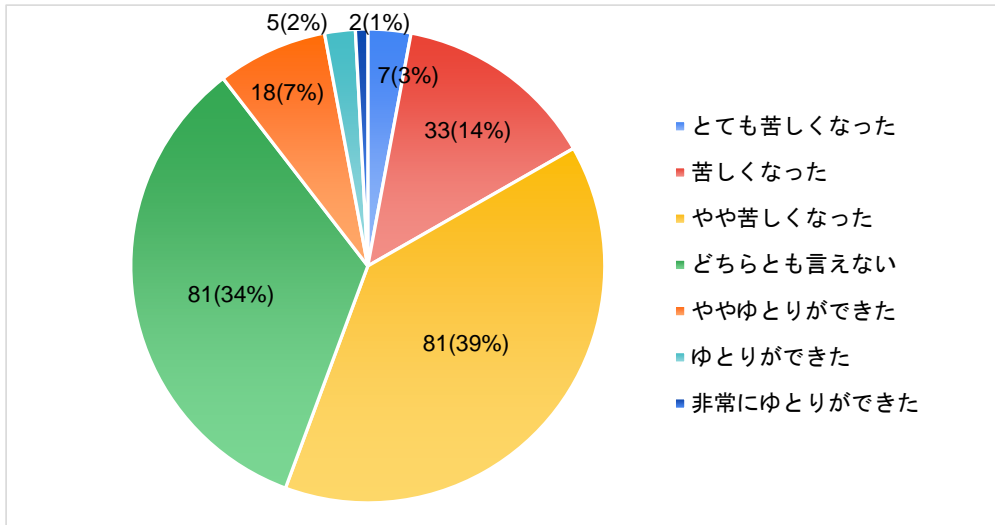
家庭の世帯収入



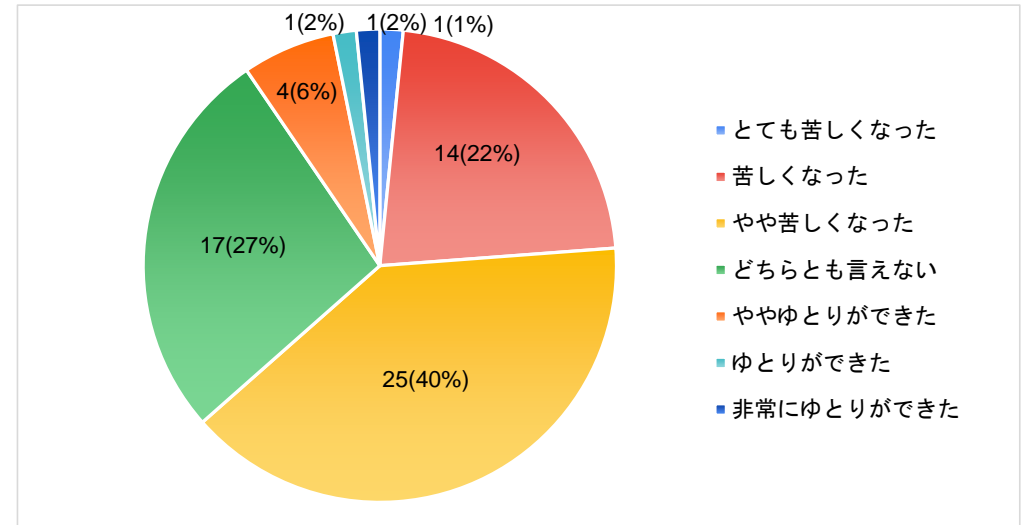
【新型コロナウイルスの生活への影響に関する調査項目】

コロナ禍以前の生活と比較して、生活満足度はどのように変わりましたか？

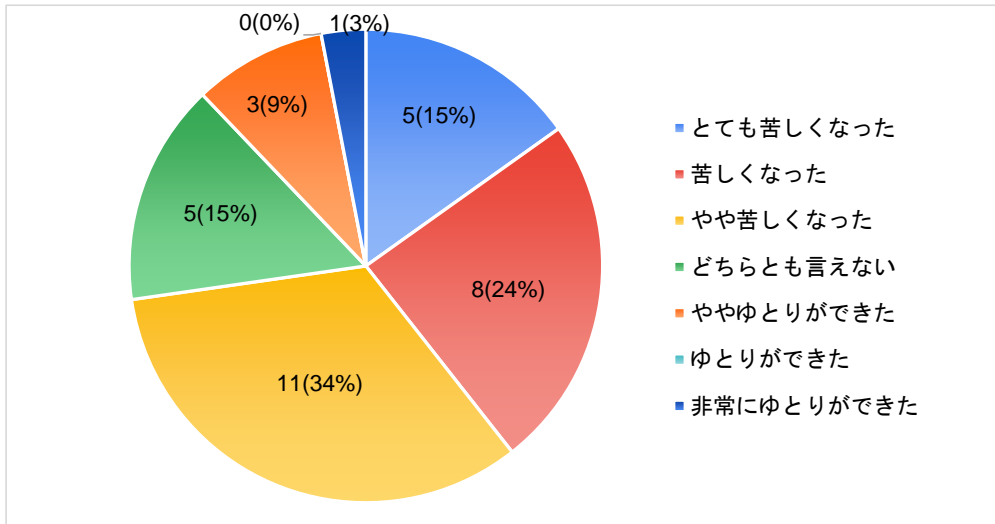
【全体】



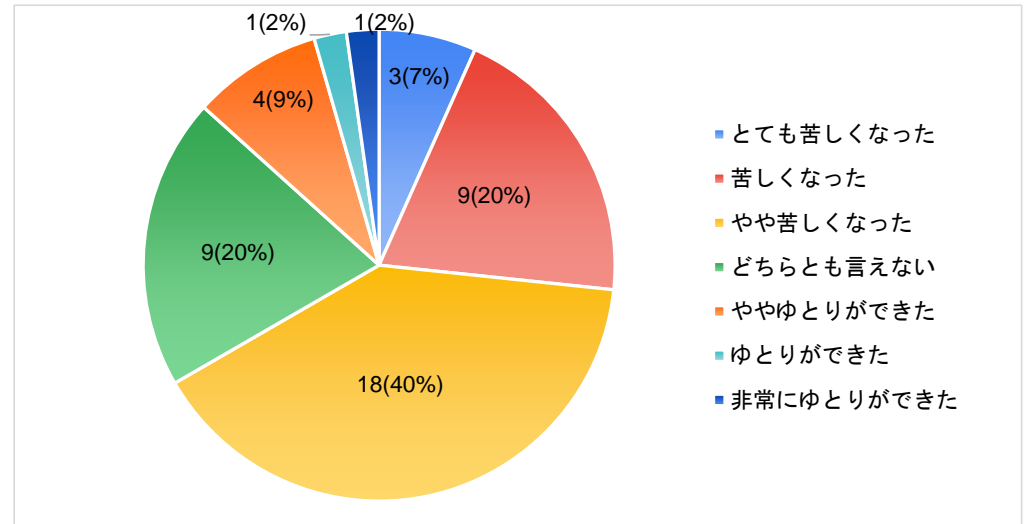
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



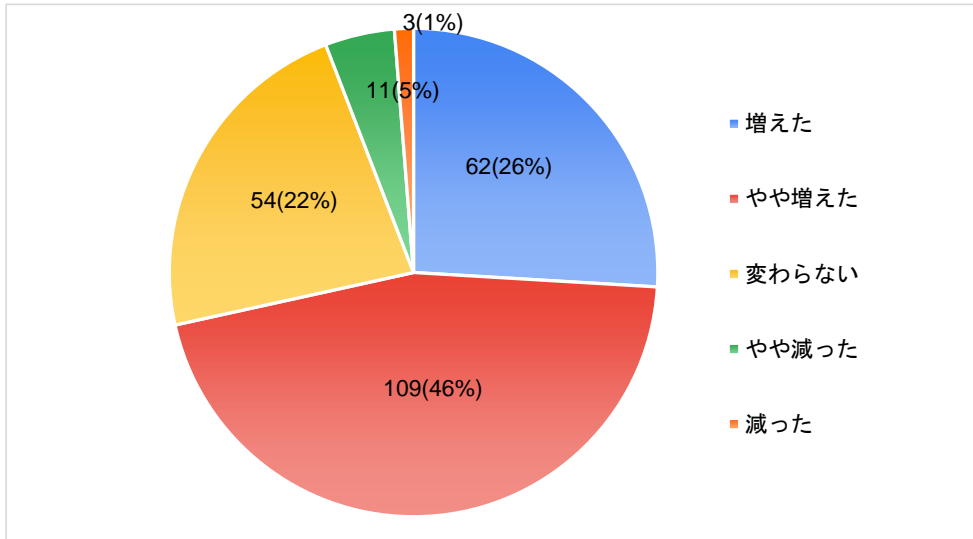
【年収300万円未満の世帯】



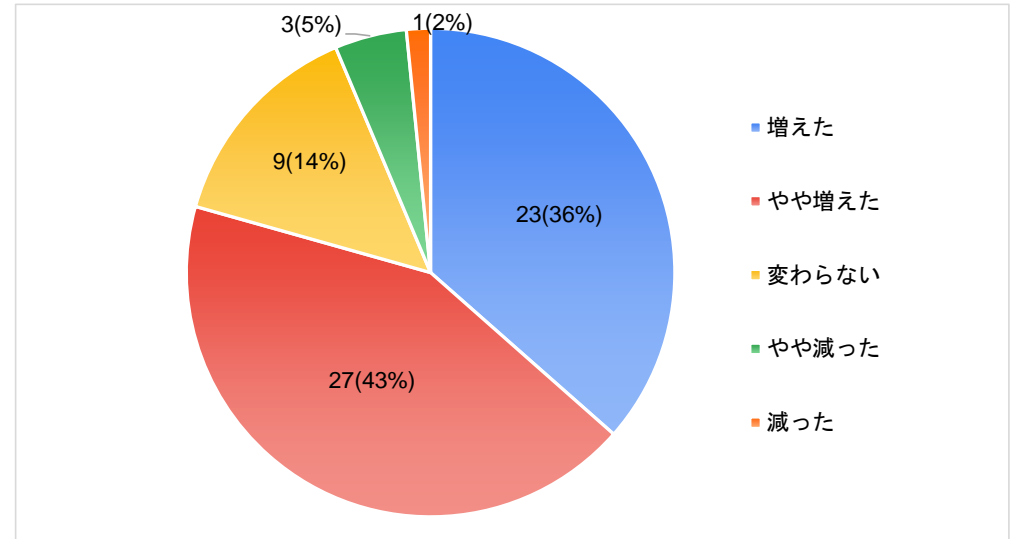


## 疲れを感じること

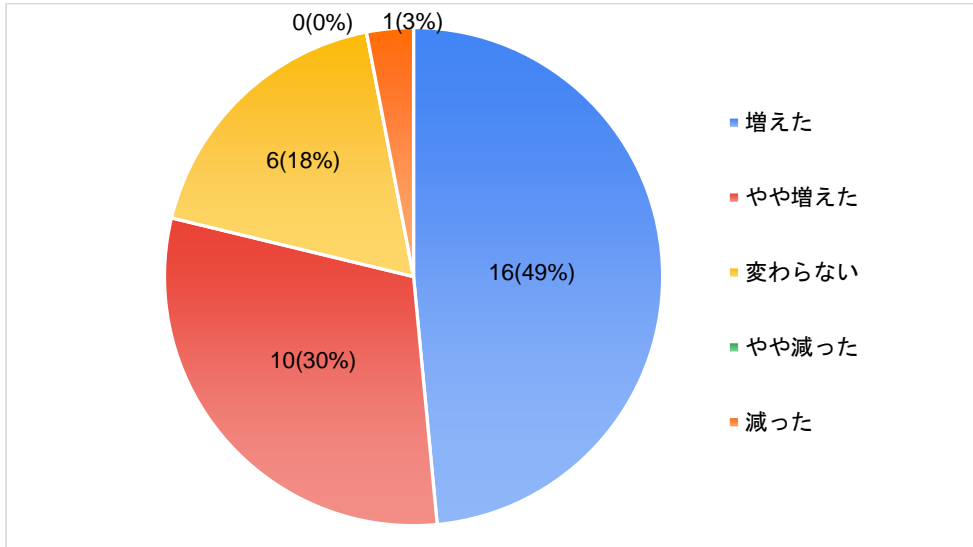
### 【全体】



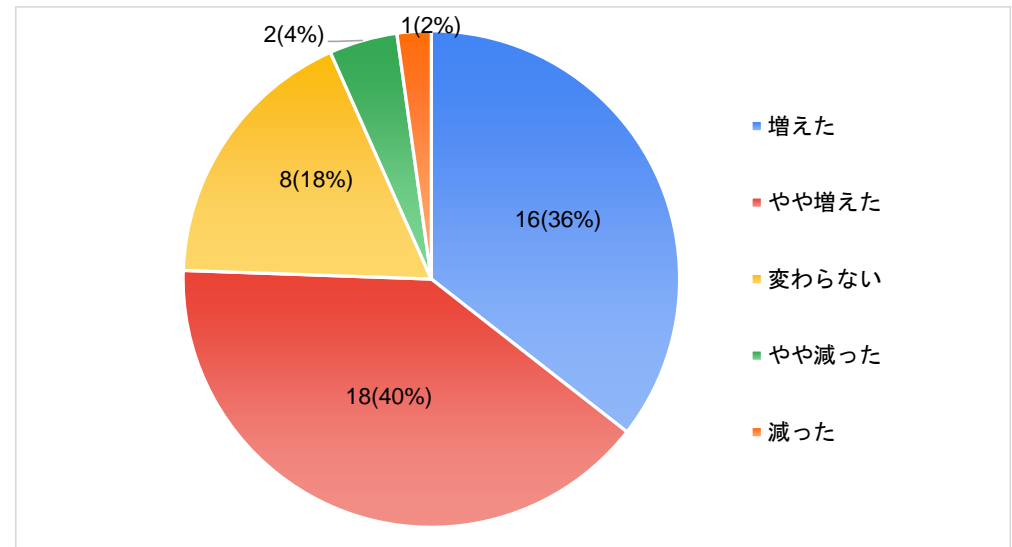
### 【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



### 【ひとり親世帯】

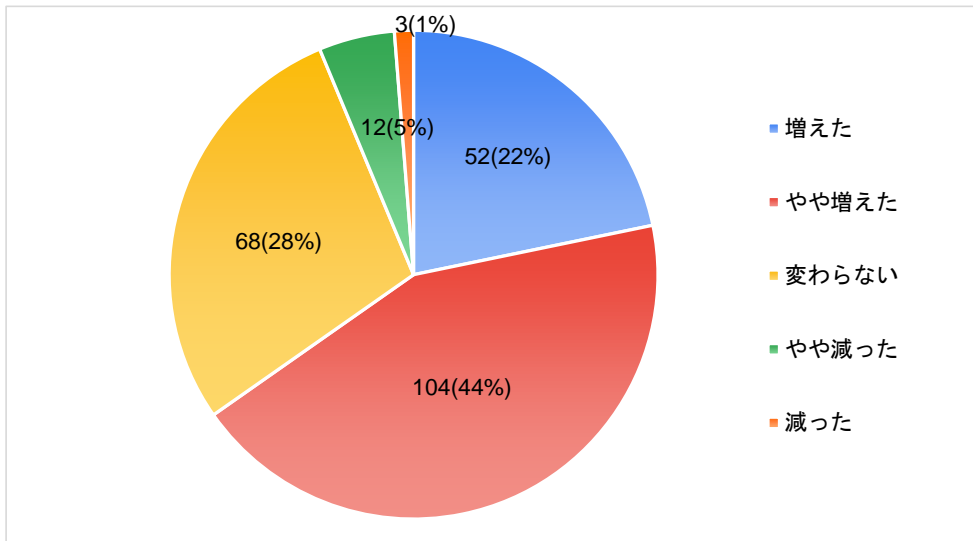


### 【年収300万円未満の世帯】

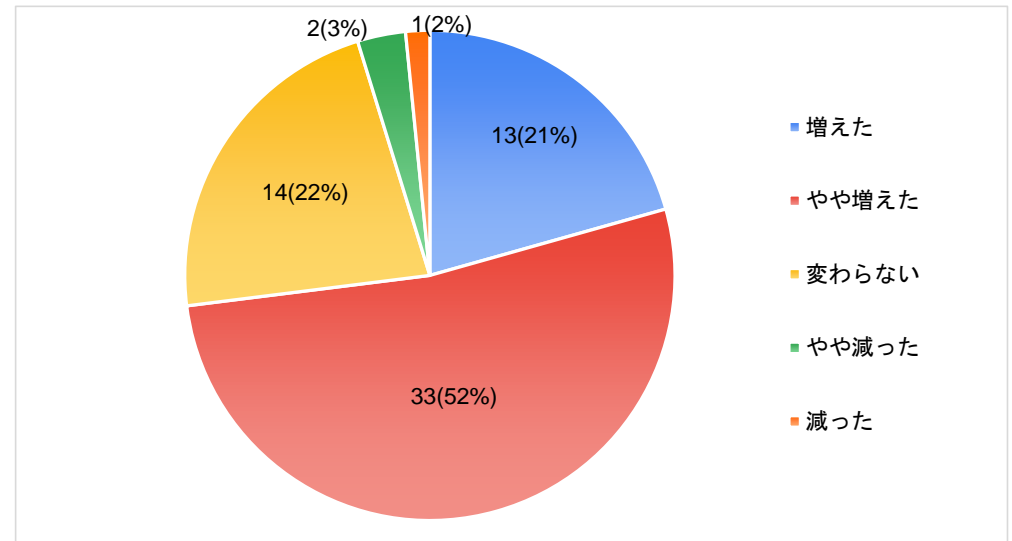


精神的に不安になること／イライラすること

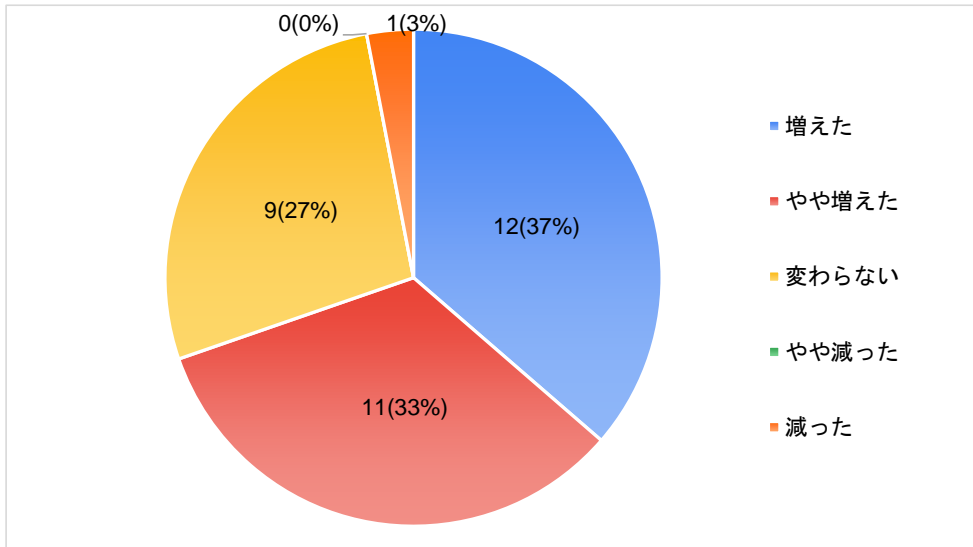
【全体】



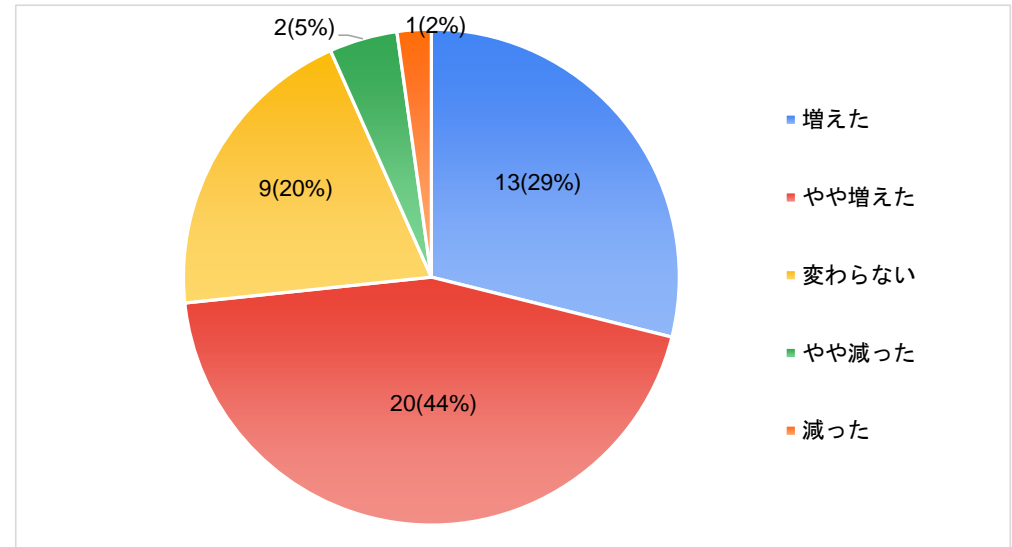
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】

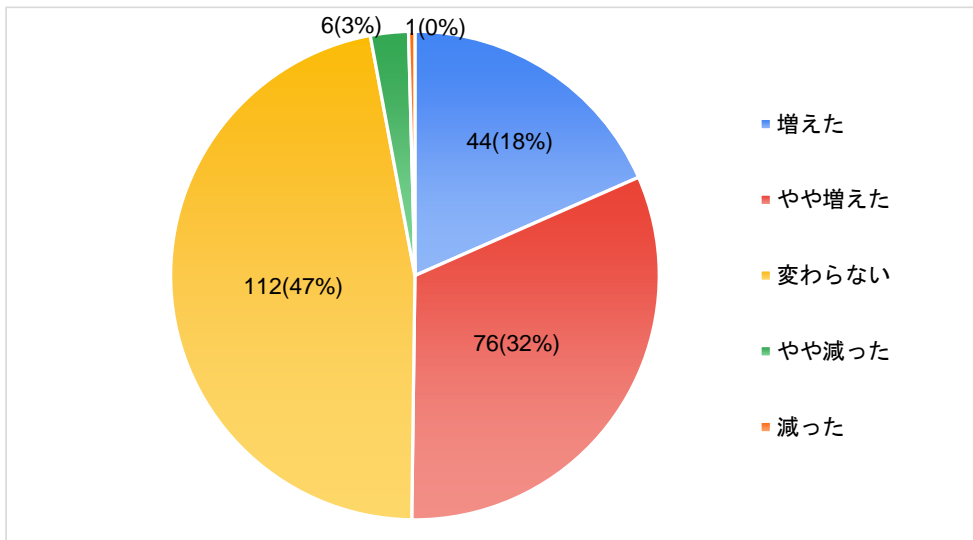


【年収300万円未満の世帯】

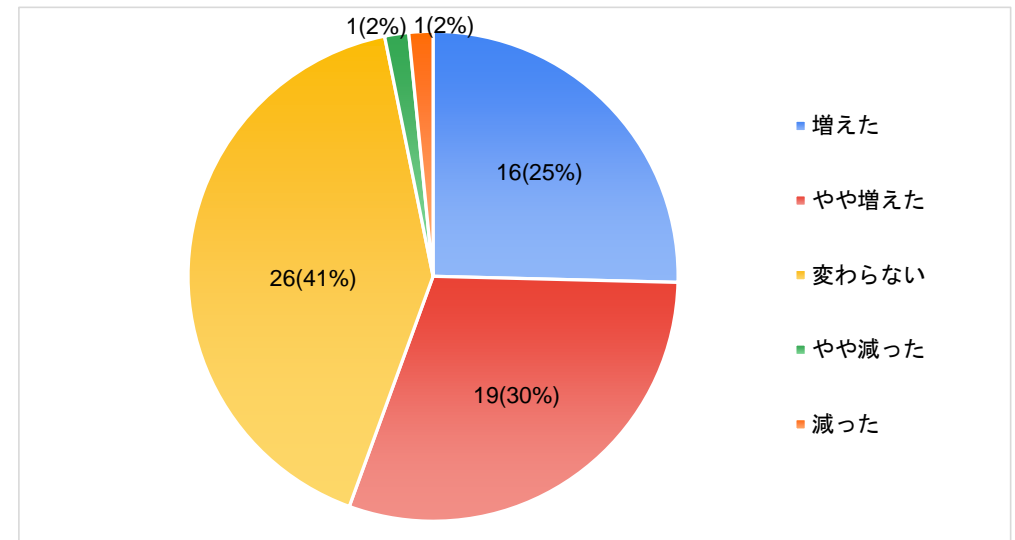


## 家事に関するストレス

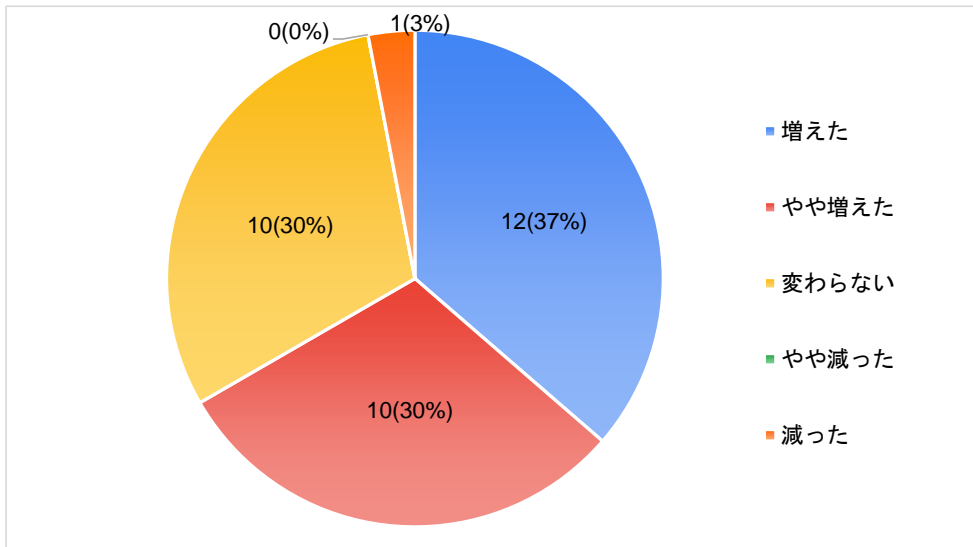
【全体】



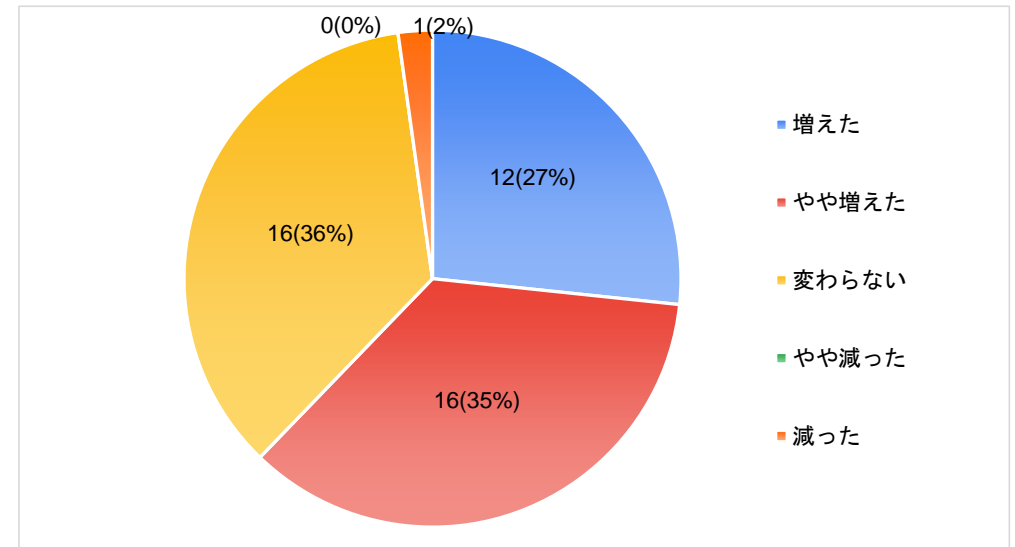
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】

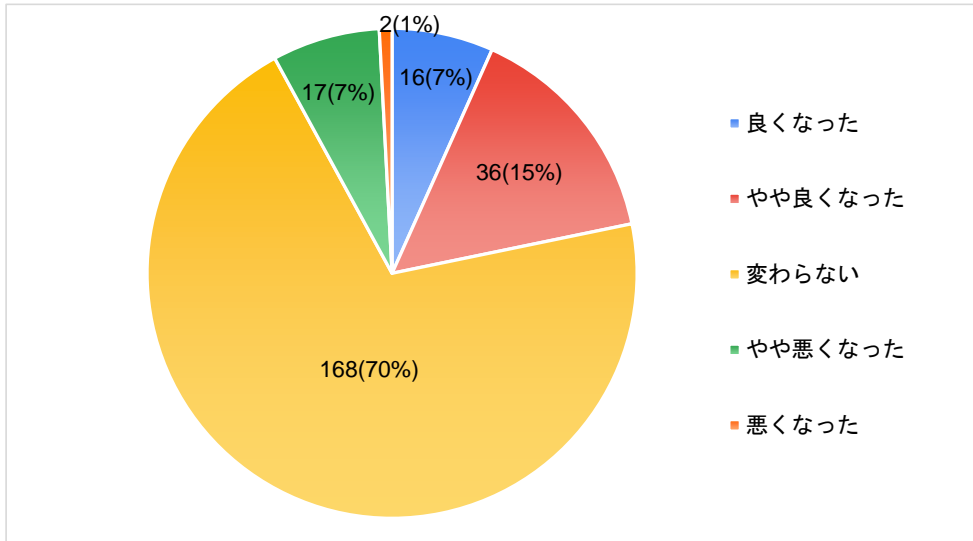


【年収300万円未満の世帯】

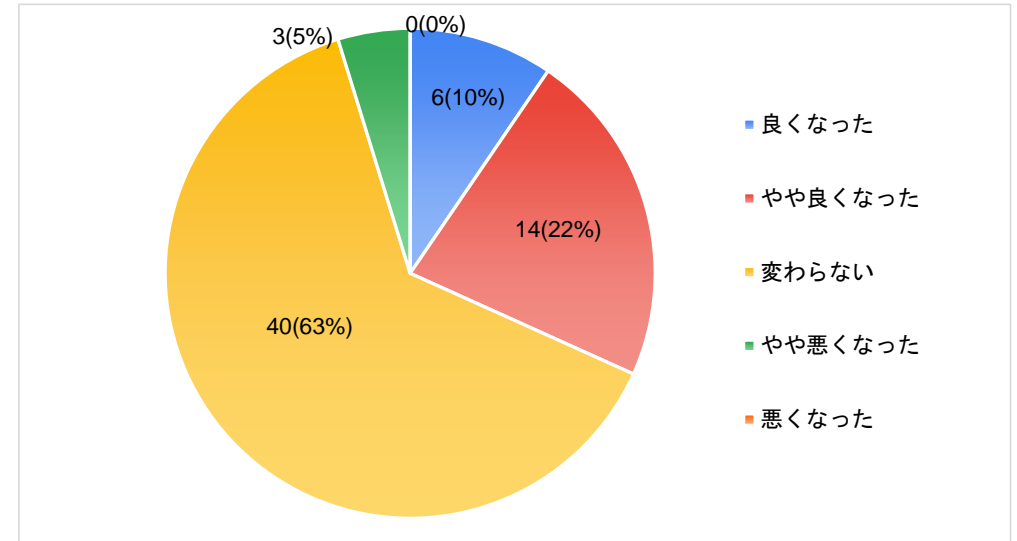


## 親子関係

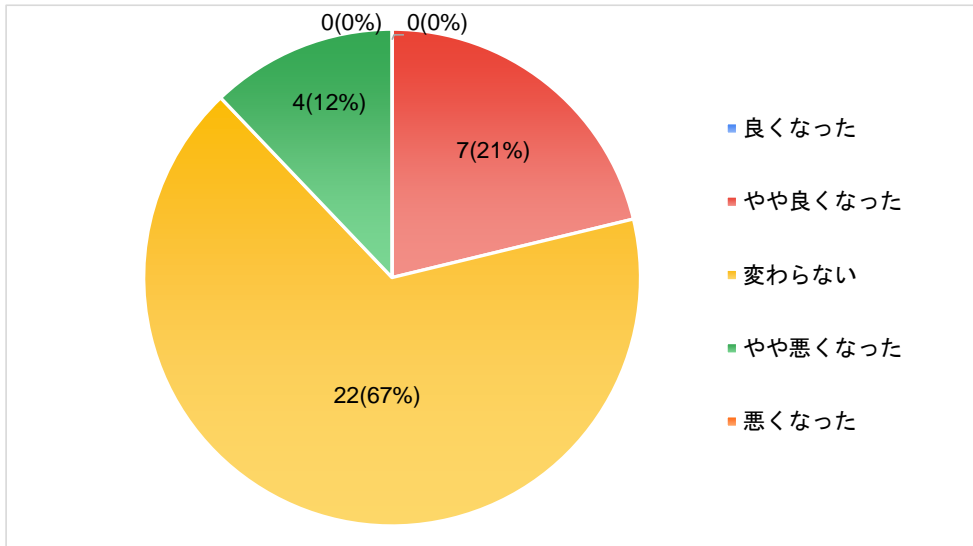
### 【全体】



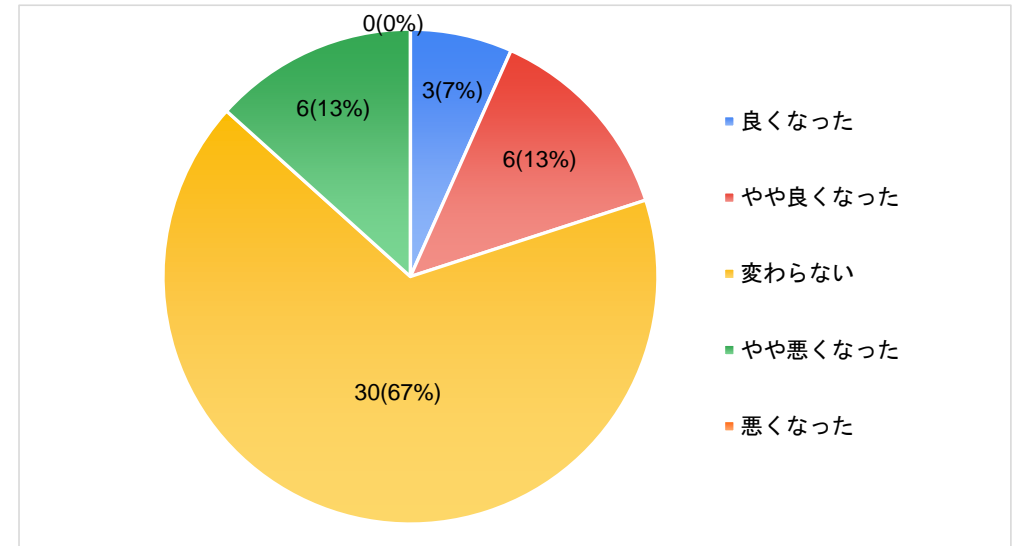
### 【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



### 【ひとり親世帯】

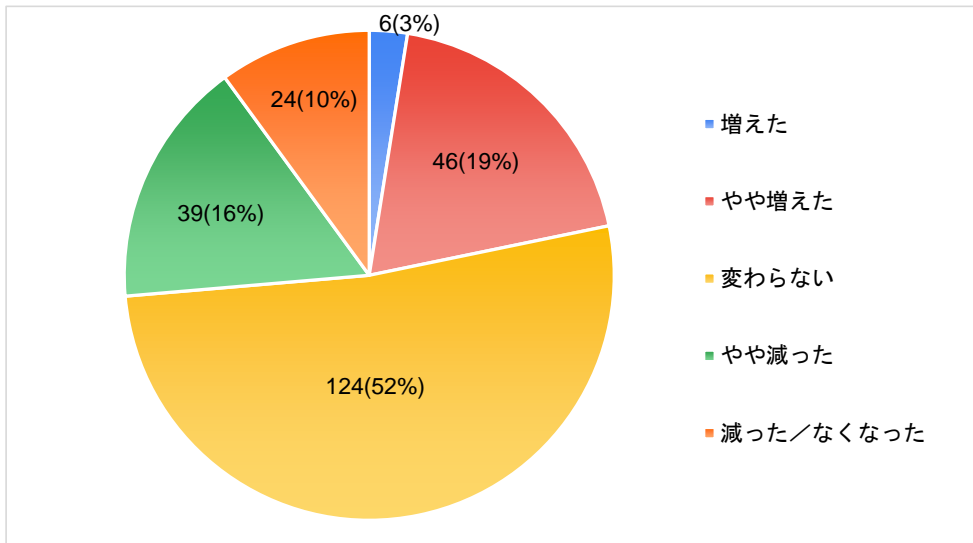


### 【年収300万円未満の世帯】

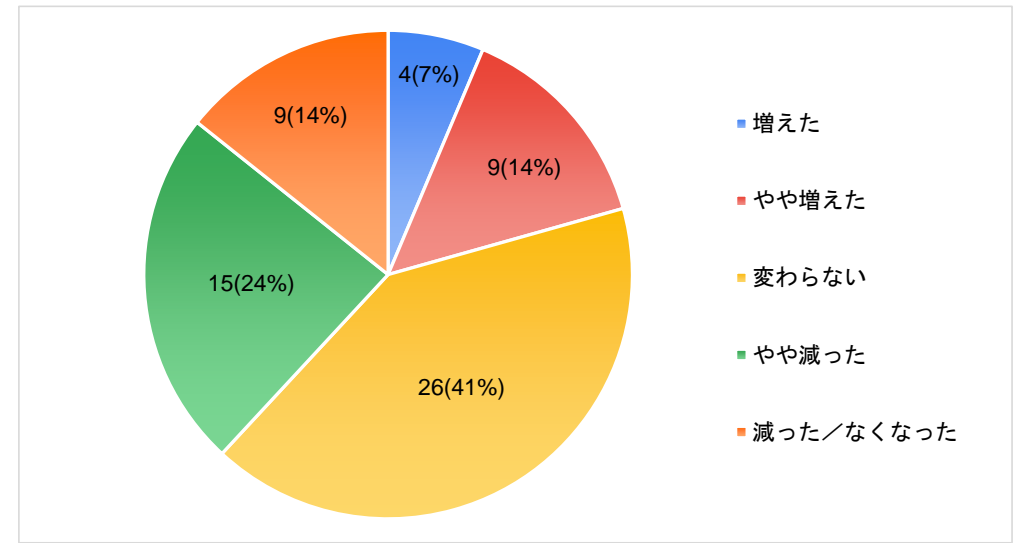


## 時間の余裕

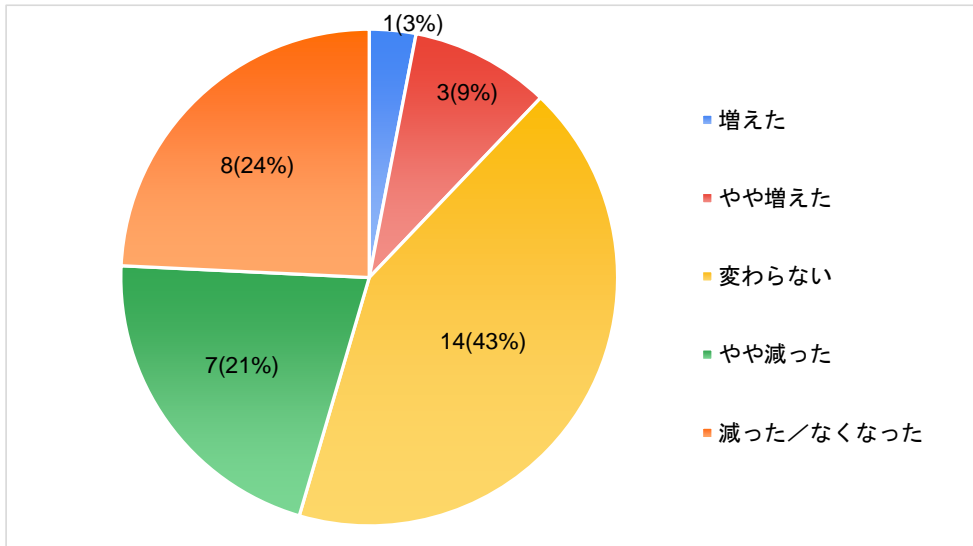
### 【全体】



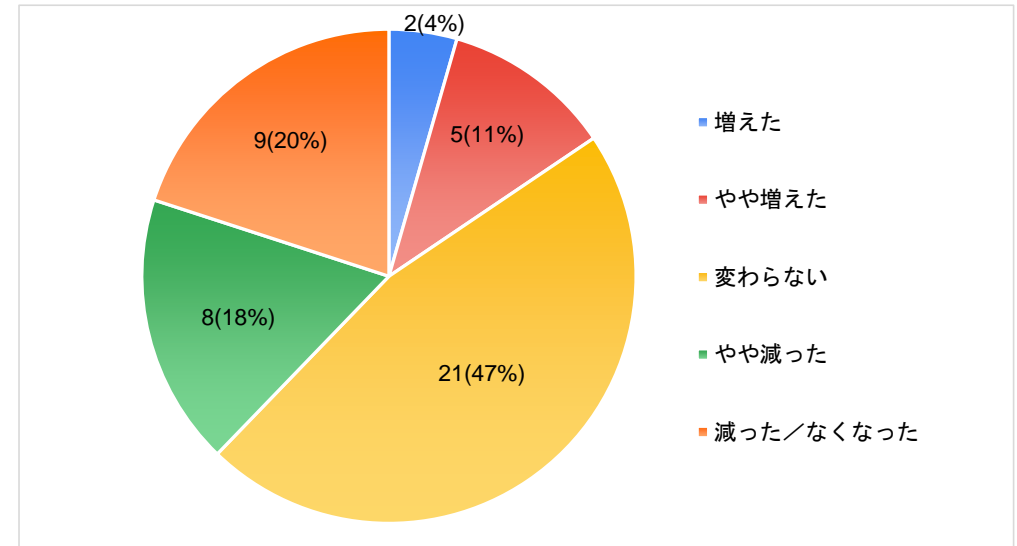
### 【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



### 【ひとり親世帯】

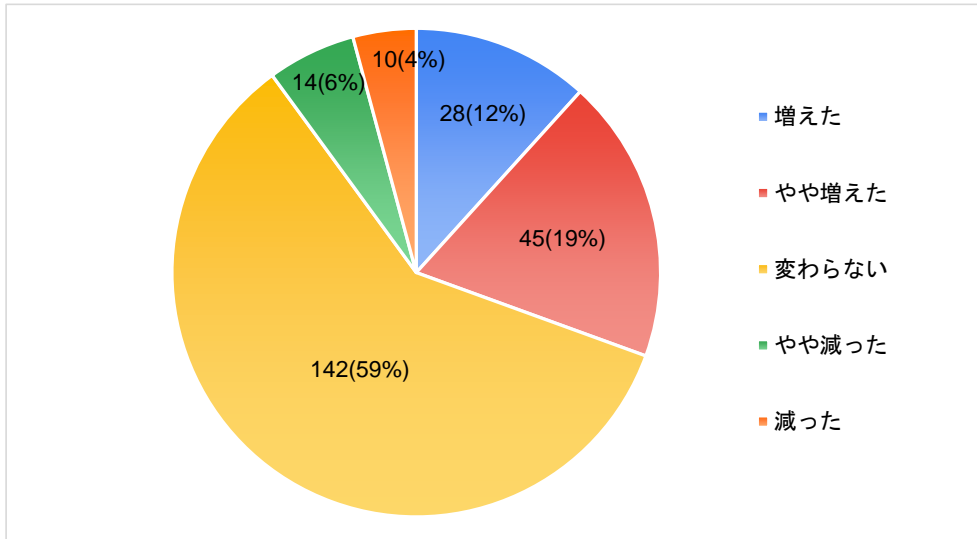


### 【年収300万円未満の世帯】

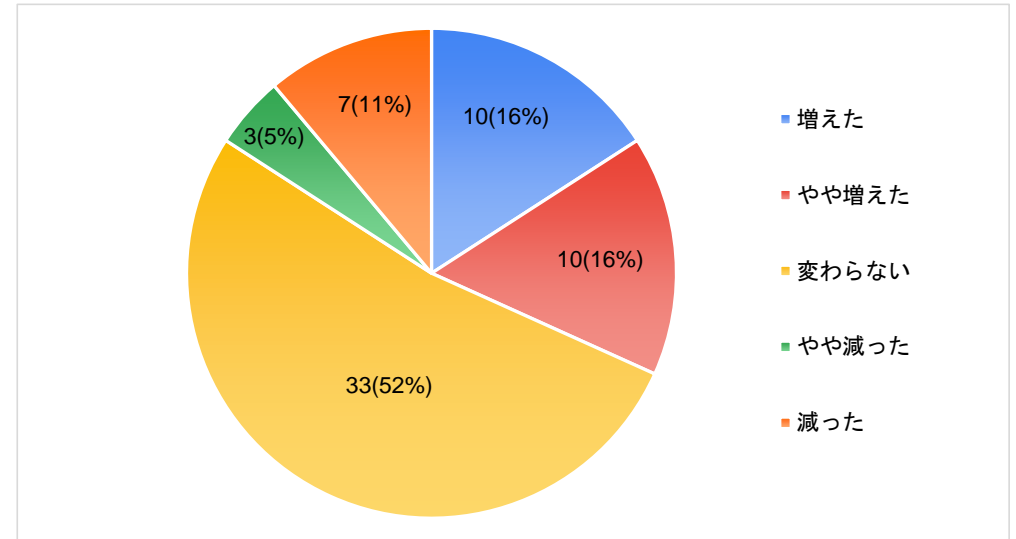


## 仕事の負担（勤務時間）

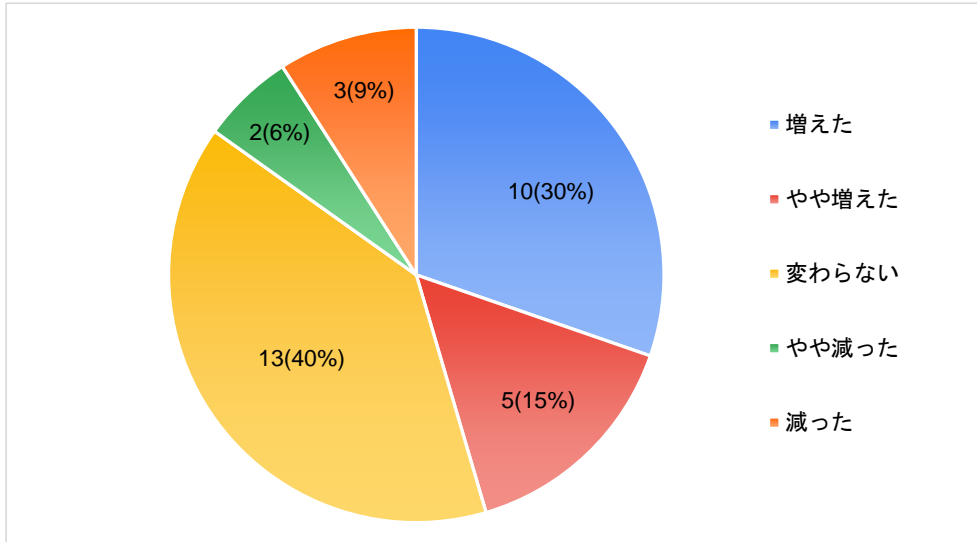
### 【全体】



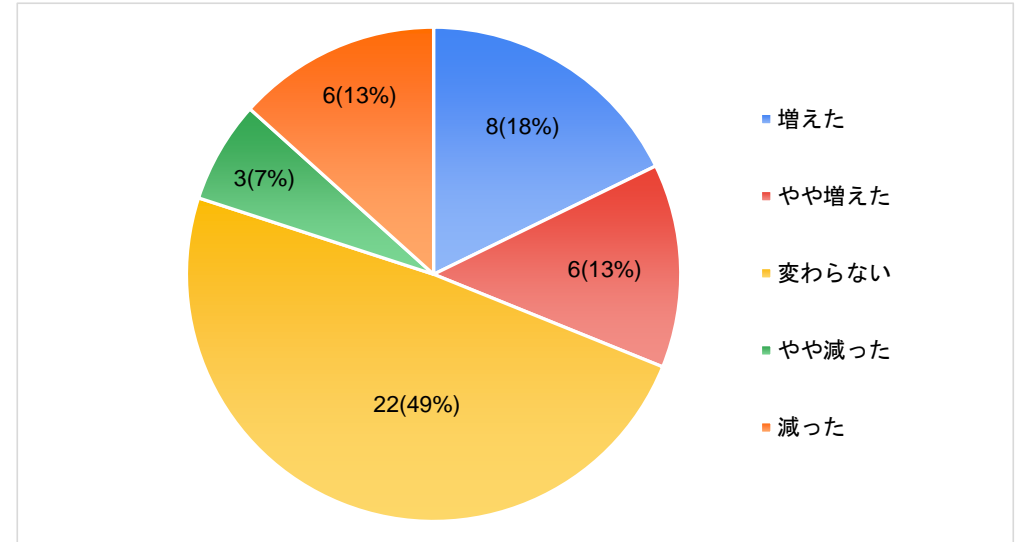
### 【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



### 【ひとり親世帯】



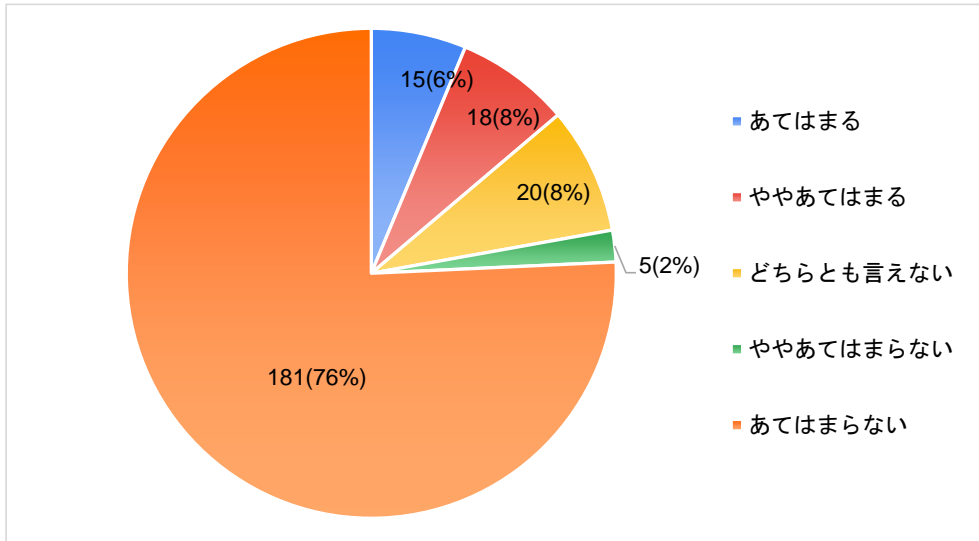
### 【年収300万円未満の世帯】



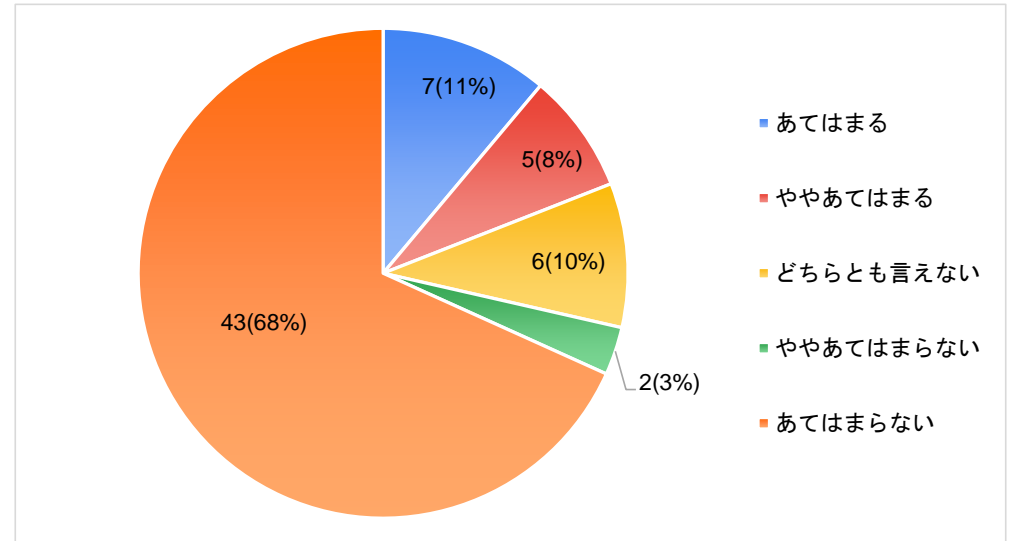


失職した／休業になった

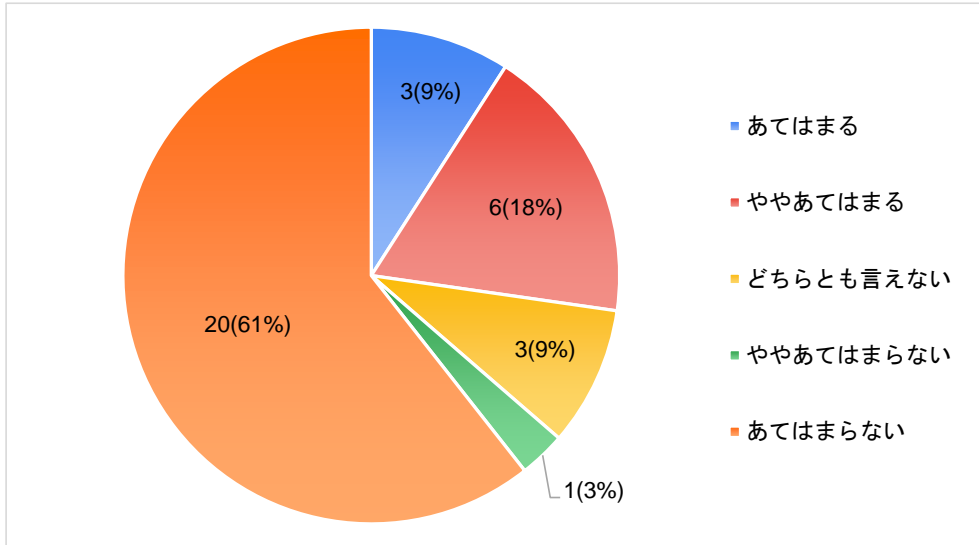
【全体】



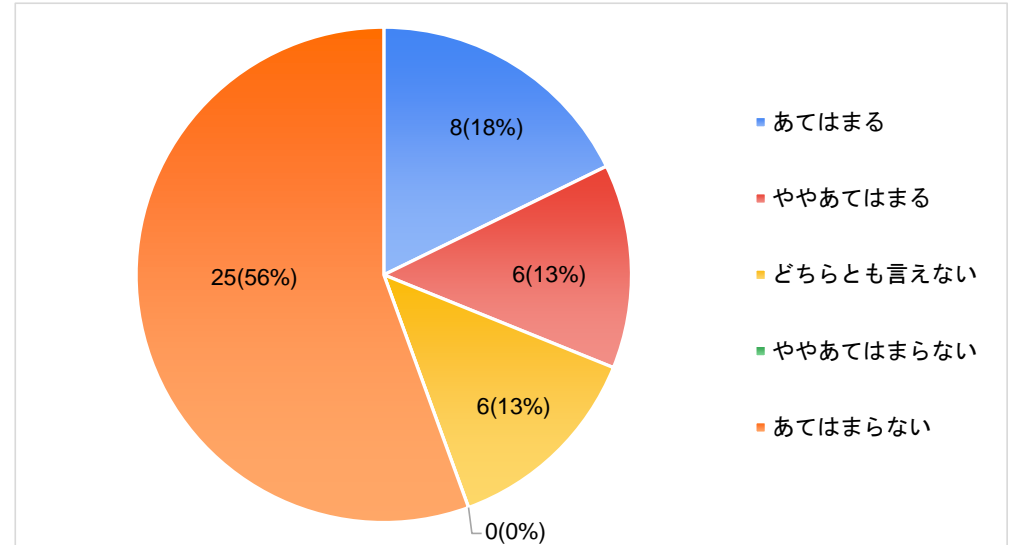
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



【年収300万円未満の世帯】



## 【新型コロナウイルスの生活への影響について】世帯の構成や収入による違いや傾向

**生活満足度**について、「とても苦しくなった」「苦しくなった」と回答した割合は、全体が17%であるのに対して、多子世帯23%、世帯収入が300万円未満の世帯27%、ひとり親世帯39%。いずれも平均を上回る結果となっているが、中でもひとり親世帯に強く影響を及ぼしている。ひとり親世帯の実に64%が年収300万円未満（500万円未満まで含めると84%）でもあることから、ひとり親世帯の多くは他の世帯に比べると普段から生活満足度の低い可能性があり、コロナ禍でさらに満足度が下がり、困窮していることが想像できる。

**疲れを感じる**ことについては、多くの保護者が肉体的にも精神的にもストレスを感じている結果となった。「増えた」＋「やや増えた」を合計した割合は、世帯構成や収入による差はほぼないが、「増えた」に限ると、多子世帯・収入が300万円未満の世帯・ひとり親世帯は、全体に比べて1.4～1.9倍と高い傾向にあり、日頃から困難を抱える世帯により強いストレスがかかっている。

**精神的に不安になること／イライラすること**については、「増えた」＋「やや増えた」を合計した割合は70%前後。4人に3人の保護者が精神面で影響を受けている結果となった。先の見えないコロナ禍による不安、また子どもと過ごす時間が増えたり、本来学校で習う勉強を家庭でフォローしなければならないことなどが自由意見から見て取れる。

**家事に関するストレス**については、全体では半数の保護者がストレスを感じている結果となった。緊急事態宣言により学校園が休校園となったり、コロナ禍で仕事がオンラインになるなど、自宅で過ごす時間が増え、昼食を準備する機会が増えたことが影響していると考えられる。「増えた」＋「やや増えた」を合計した割合は、多子世帯・収入が300万円未満の世帯・ひとり親世帯は、全体に比べて1～2割高い傾向にある。仕事や子育てなど日頃から保護者1人にかかる負担の大きな世帯により強いストレスがかかっている。

**親子関係**については世帯構成や収入によらず、コロナ以前と「変わらない」が63～70%を占めている。ただし、残りの30%程度について、ひとり親世帯と世帯収入が300万円未満の世帯では「やや悪くなった」の割合が高い。深刻とまでは言えないが、ひとり親世帯や収入300万円未満の世帯の親子関係に影響を及ぼしていることがわかる。

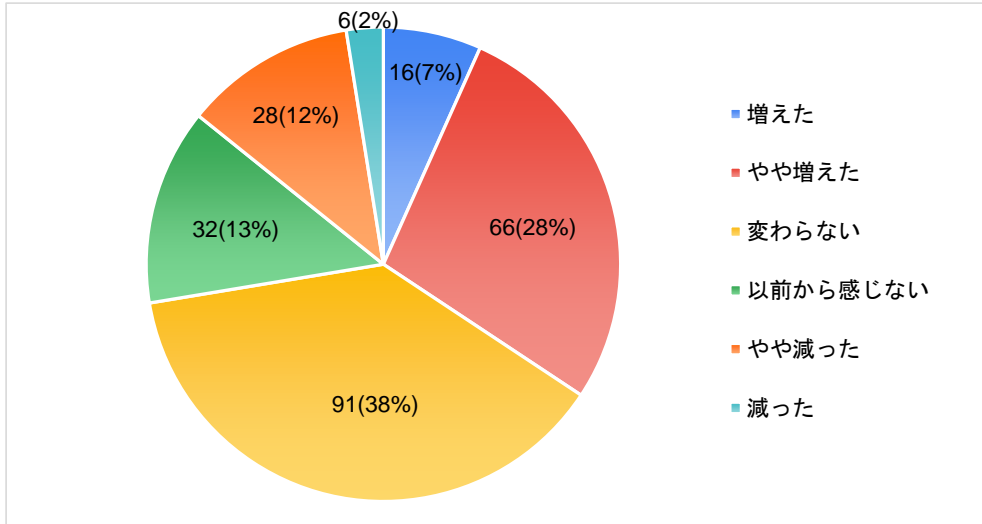
**時間の余裕**が「減った／なくなった」「やや減った」の割合は、全体では26%であるが、多子世帯・ひとり親世帯・世帯収入が300万円未満の世帯では38～45%と1.5倍以上となっている。これらの世帯では**家事に関するストレス**が高い傾向にあり、家事の負担増が時間を奪っていると思われる。

**仕事の負担（勤務時間）**と**失業した／休業になった**については合わせて考える必要がある。全体での集計に比べ**仕事の負担（勤務時間）**が「減った」「やや減った」割合は、多子世帯・ひとり親世帯・世帯収入が300万円未満の世帯で高い傾向にあり、**失業した／休業になった**の「あてはまる」「ややあてはまる」が同じように高い傾向にあることと相関関係にある。コロナ禍で仕事の負担（勤務時間）が減ったことは決して楽になったという意味ではなく、失業や休業によって結果的に仕事の負担（勤務時間）が減ったと見るべきである。

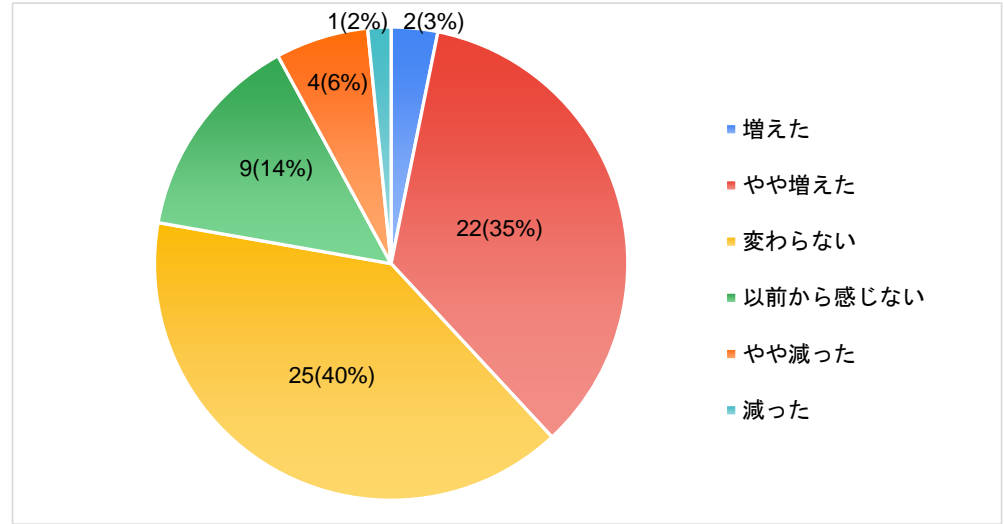
【子どものかかわりに関する調査項目】

子どもと一緒にいることにストレスを感じること

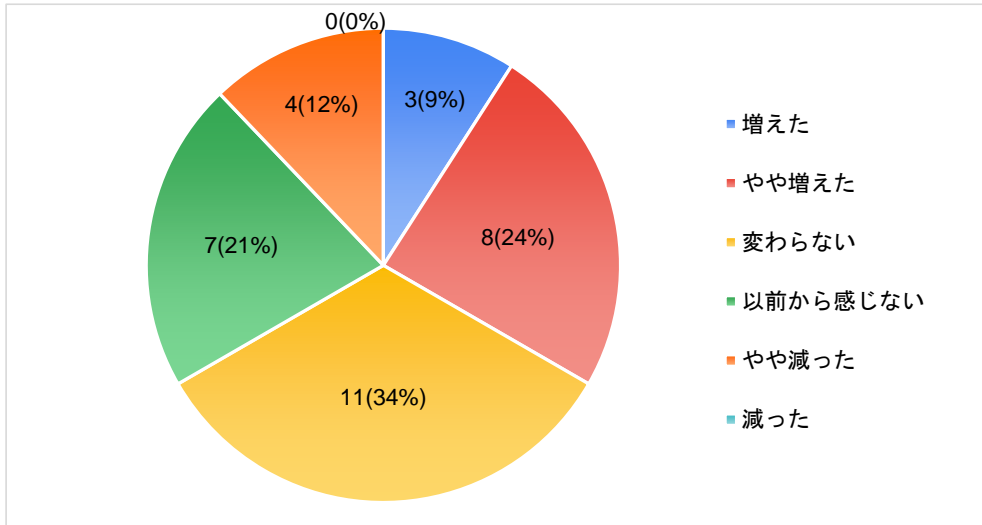
【全体】



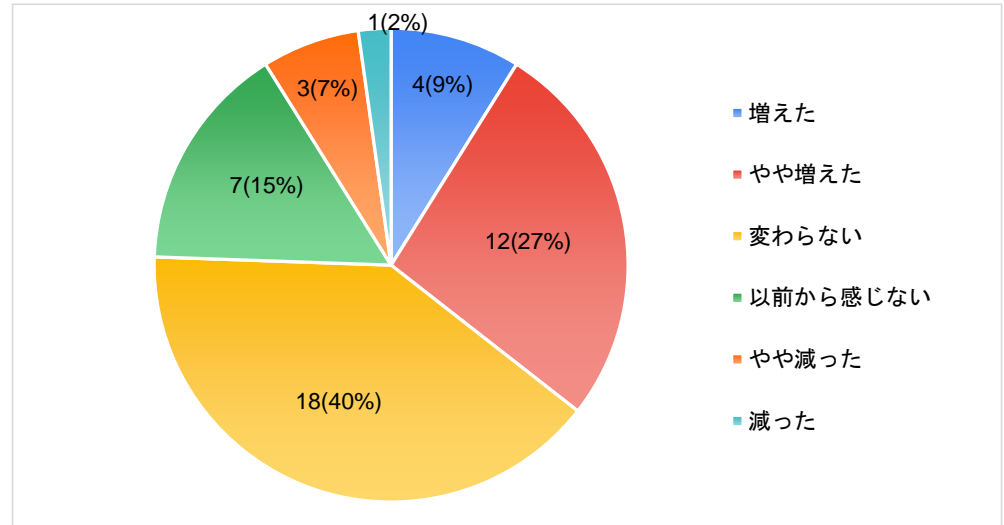
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】

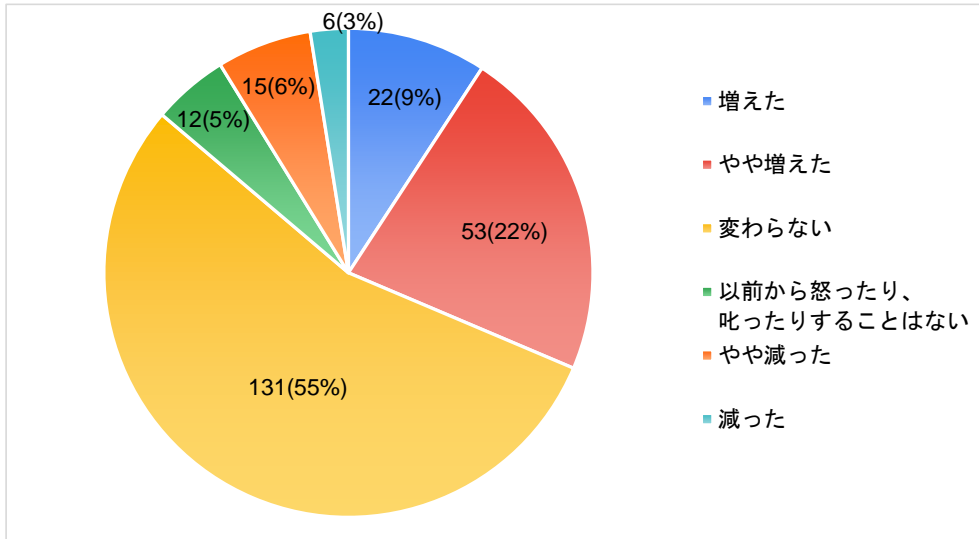


【年収300万円未満の世帯】

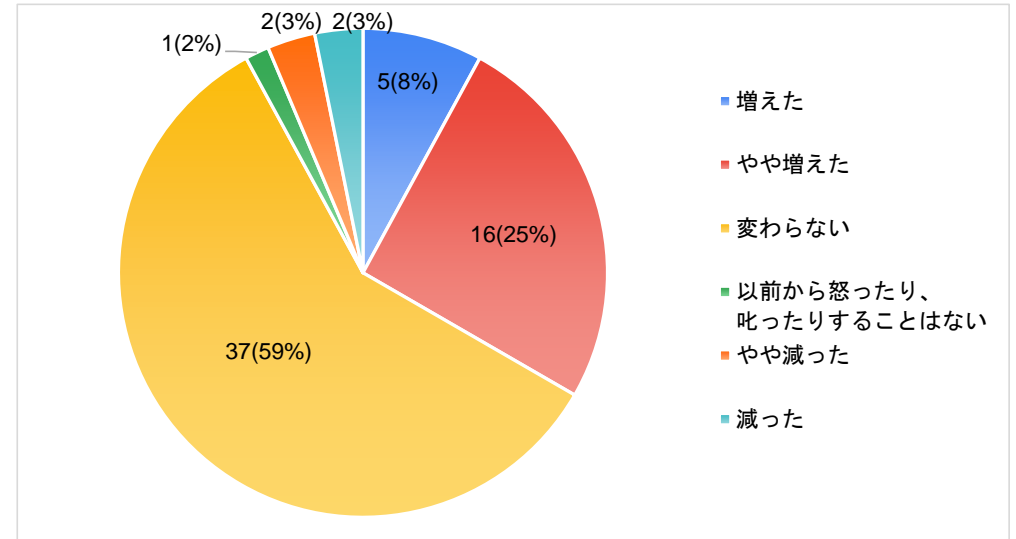


子どもに怒ったり、叱ったりすること

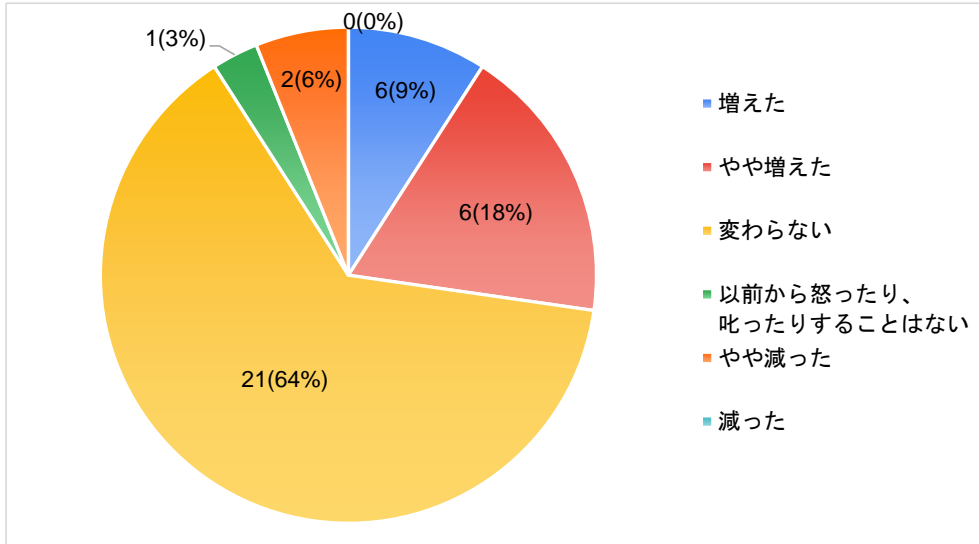
【全体】



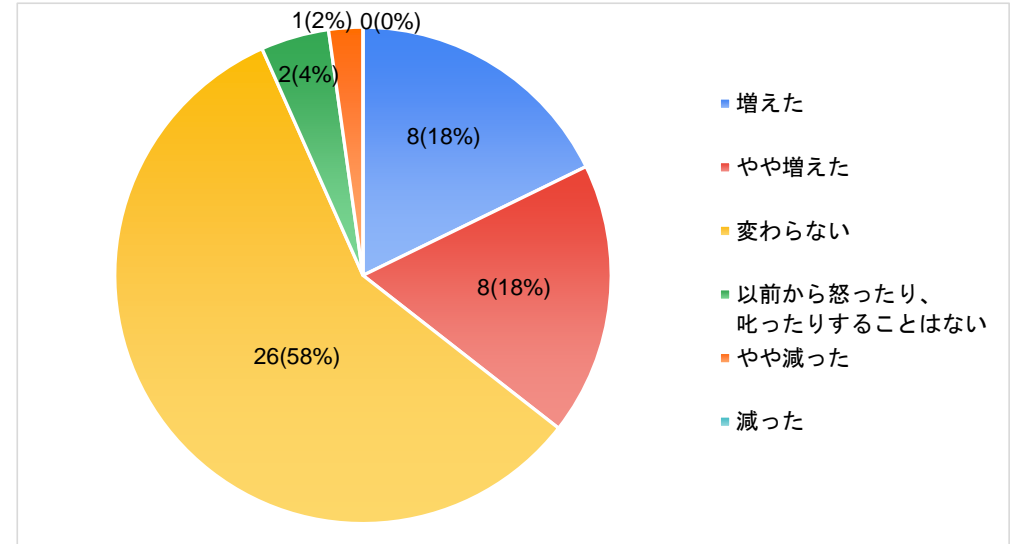
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】

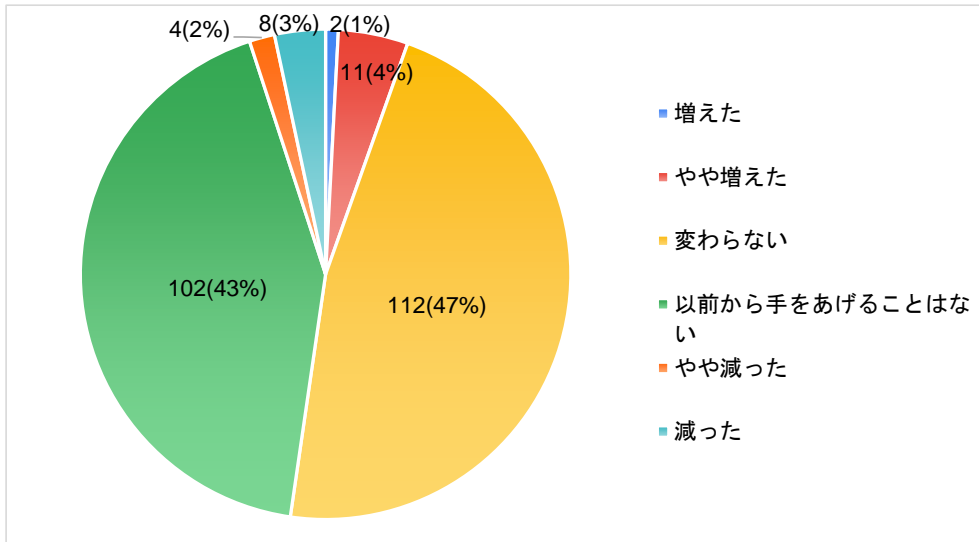


【年収300万円未満の世帯】

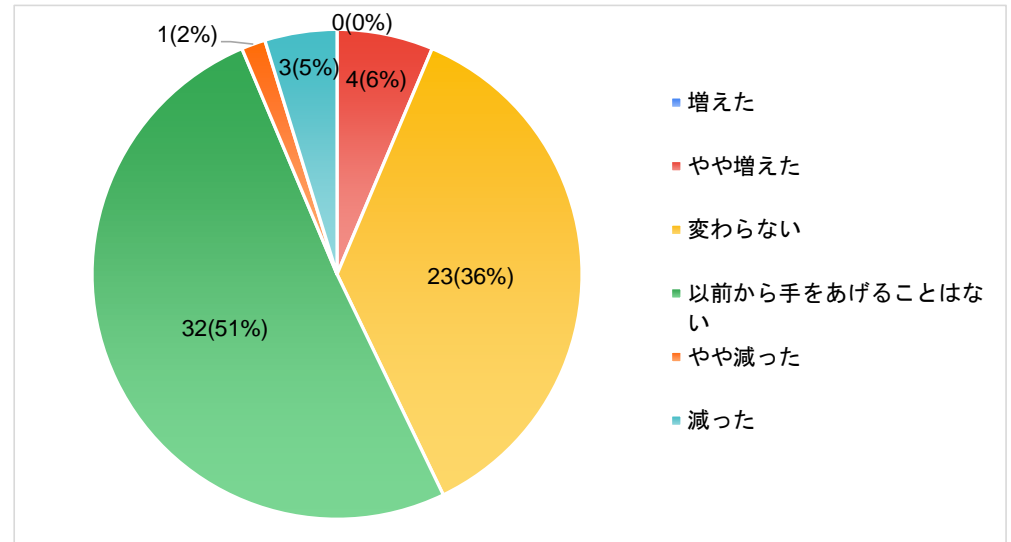


## 子どもに手を挙げること

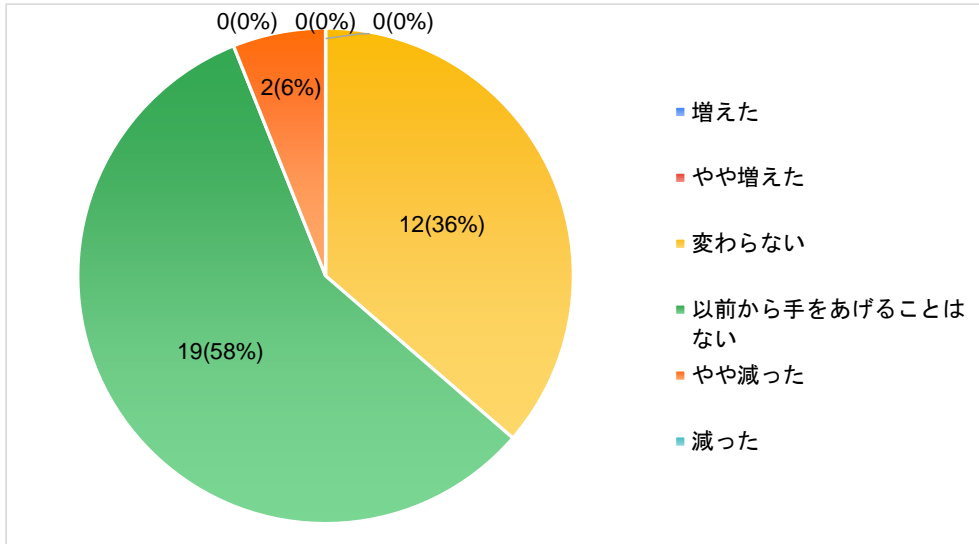
【全体】



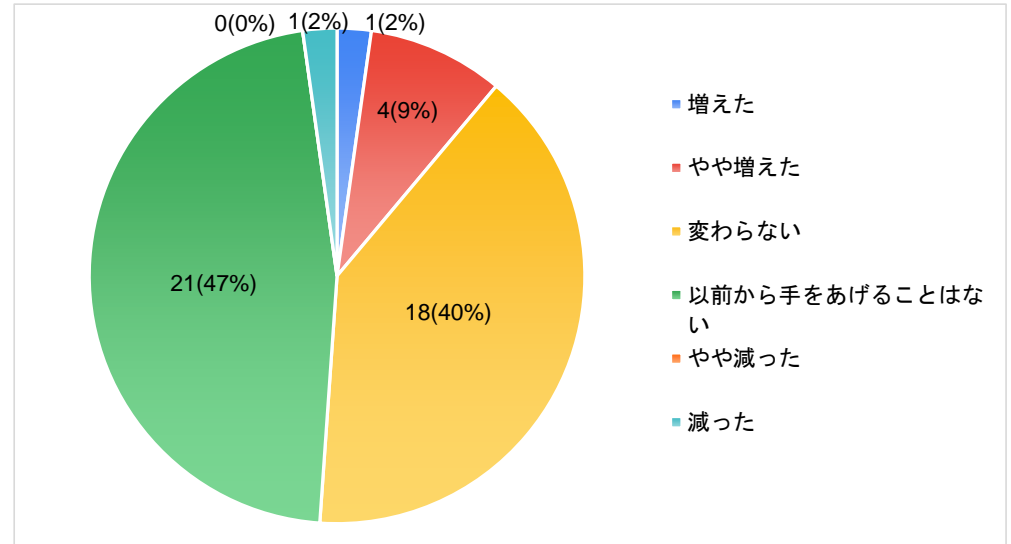
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



【年収300万円未満の世帯】

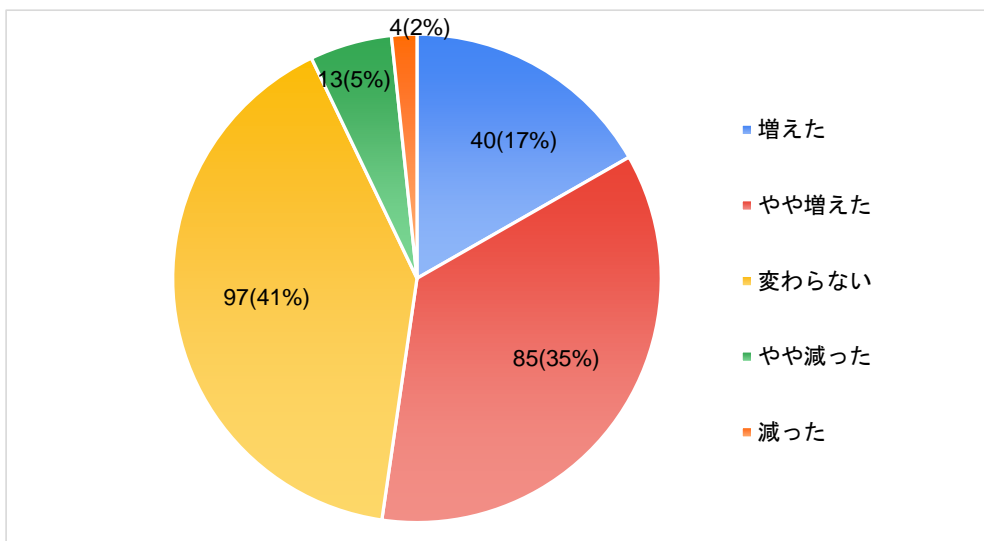


(注) 「以前から手を挙げることはない」の選択肢はアンケート実施途中から加えたため、「変わらない」の回答の中に「以前から手を挙げることはない」が一定程度含まれている。

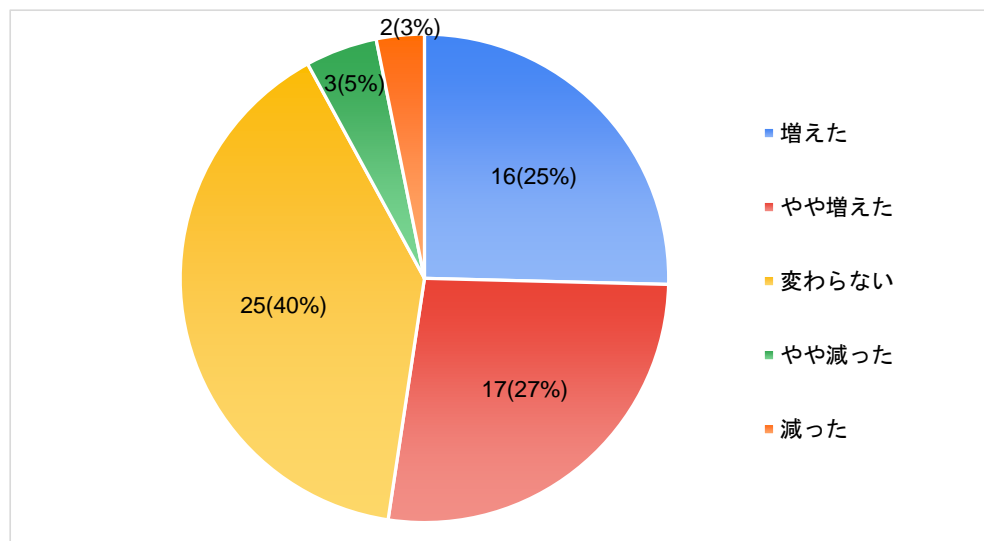


子どもと遊んだり、一緒に勉強したり、前向きに関わる時間

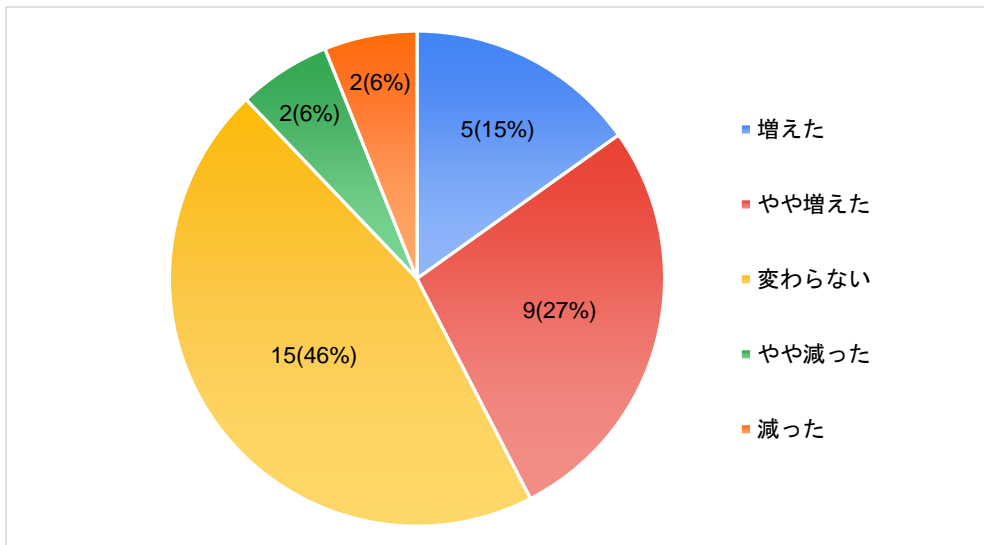
【全体】



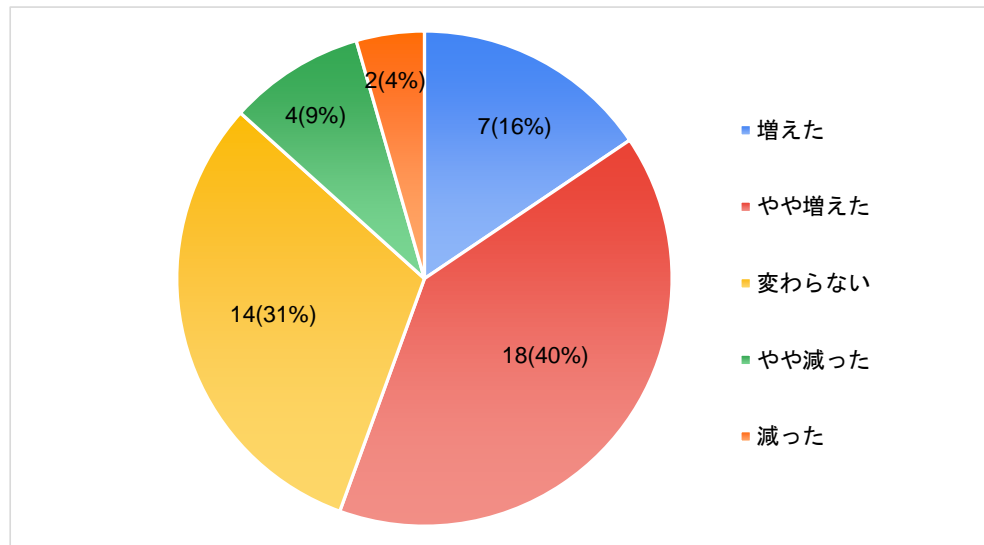
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



【年収300万円未満の世帯】



## 子どもとの関係について、不安な気持ちや不安なこと

### 【子どものこと】

- ・子供がお友達と遊べないから、家にずっといて、気分転換できない。
- ・一緒に遊んでばかりで、勉強が疎かになっている気がする。
- ・好き嫌いが多い。
- ・子どもがインターネットをすることが増え、ゲームやYouTubeの中毒になり、生身の人間関係が気薄になった気がする。
- ・外出の機会が減り、YouTubeなどのネット環境に依存しがちなこと。
- ・1人っこののでうまくまわりに馴染めるかなと少し不安に思います
- ・友達と遊ぶのが減ってストレスをかかえているのではないかと心配する
- ・子どもがずっと家で退屈ではないのか、心も成長できているのかなど、不安になった。色々な体験や友だちとの関わりができずに、辛そうだった。
- ・今は反抗期、そして家庭事情で私の兄弟家族が実家に帰ってきてみんな実家で住んでますが。ストレス溜まりまくりです。中学二年生ですし、一気に環境の変化で子どものストレスマックス、けど兄弟の子どもは小さいからそっちに手がかかり自分の子を見てない時があり、ほったらかしにはしてはいたのですが、引きこもりのような状態の時もあって心配です。兄弟が帰って来るまでは自分の部屋があっても部屋にいませんでした。いつも居間にいて私、私の親とずっといたので。
- ・月齢に合った遊び方が出来ているか不安。

### 【親自身のこと】

- ・子どもができたときがコロナが出たときなのであまり変化はよくわからない。
- ・仕事に追われる日々で、子どもとの時間も無い毎日です。自ら選んだ道とは言え、申し訳ない気持ちにいたり、イライラしたり、不安定な自分に落ち込んだりします。
- ・下の子ができてから上の子に我慢させることがどうしても多くなったり、子供も成長につれて反抗までもいなくても、言うことを聞いてくれなかったり、わがママを言ったりして、強く怒ってしまったりすることに対しての自己嫌悪におそわれ、気持ちがしんどい。

### 【親子関係のこと】

- ・感情的に怒ってしまう
- ・自分の気持ちに余裕がないと言うことを聞かないとイライラしてしまう。
- ・父親との信頼関係
- ・子供が時々癇癪を起こすので、対応に疲れるときがある
- ・妊娠しており、お腹が張って休みたい時でも子供の相手をしなくてはいけない、家事をしなければ生活できない中、自由にならない行動制限、ストレスの発散ができずイライラが溜まり子供に手をあげてしまうことがありとても辛い。

- ・家庭での関係については変わりませんが、コミュニケーションが大好きな娘に外で他人に近づいたらダメとかマスクを付けていないといけないとか注意することが増えて、説明に困ったり、娘には不自由させているな、どう思っているのかなと不安に思います。
- ・子供生活習慣が変わって、家にいる事が多くて運動不足である事や、仕事が減ってつい子供の前でボヤいてしまったり、世の中が暗くなること、政府への苛立ち を本気で子供と話し合ってしまう、この先の不安を親が拍車かけてしまってる事が不安です。」
- ・学校での悩みを聞いてやるしか出来ない。解決するにはどうすれば良いのか。
- ・イライラして対応してしまうので、子どもの心に傷ができるのではないかと心配です。
- ・休校期間中は終わりが見えなくて本当にしんどかったです。宿題も、習ってないところを家でみないといけなくて、親子共々ともイライラしていました。学校は再開されて離れる時間ができて少し落ち着きましたが、猛スピードで授業が進んでいて子どもが理解ができてないことにまたお互いイライラしてしまいます。
- ・子供が家で夢中になって遊んでいる時の声にイライラする時が増え、1人で遊んでいるのに怒ってしまったり、しつこく親のさせたい事を強要してしまう。
- ・夕方ご飯の支度・離乳食の準備の時、抱っこと足に良く絡まって来る。最初は良いけど、段々家事が進まない事に良くイライラして、たまに怒鳴ってしまう。子供に怒鳴っても何も良い事ないと、なるべく怒鳴らないように心がけているのですが感情が抑えられない時があります。
- ・こどもと家で過ごす時間が増えてどうすごしていいかわからないことが多々ある。
- ・きちんとした大人になって欲しいからつつい色々煩くしつけてしまう。 他のお母さんがゆとりを持って子育てしているのをみると自分と比べてしまう。
- ・時間があるから、精神的にゆとりを持って一緒に過ごせるのか…言ったら必ずしもそうではなく、家で過ごす時間が多くなり、イライラ、お互いにぶつけ合う…という負の連鎖になると、家庭内の雰囲気最悪になるときもある。そんな時ばかりではないですが。
- ・スマホを触る時間が長くなってしまった(習慣になってる)ので、会話が減ったかも。
- ・子どもと遊ぶゆとりが欲しい！
- ・親でありながら我が子の考えている事がわからない時が多々あり対応に悩む事があります。
- ・篠山外に1年以上行っておらず遊びの刺激が少ない。お友達とも誘い会えずほとんど母子で過ごしていてマンネリ。
- ・学校であったことを聞いても知らない、わからないと言って教えてくれない。でも楽しいとはいうので、子どもを信頼するしかないのかと。
- ・つい衝動的に手を挙げたり、人格を否定する言葉をぶついたり、泣くまで怒鳴りつけたりしてしまいます。子供の話し方や内容、表情に心配になることがあります
- ・思いどおりにならないと、泣き喚き イライラマックス、学校行きたくない 宿題イヤ、勉強イヤ、どう対処すれば 良いのかわからない
- ・手を挙げてしまう 離れたい時がある
- ・毒親で言葉、ドキッとす。 性格的に、自分で毒だな、と思うところがいっぱいあるけど。一緒に成長してきてはいるとは思う。

### 【その他】

- ・我が家では子育てについて困り事はありませんが、周囲には多くの困り事があるのを聞いておりサポートしているところです。

## 【子どもとのかかわりに関する調査項目】世帯の構成や収入による違いや傾向

**子どもと一緒にいるとストレスを感じる**ことについて、世帯の構成や収入に関わらず「増えた」「やや増えた」と回答された割合は33%～38%と差がない。1回目の緊急事態宣言で2ヶ月近くも学校園が休校園になり、一緒に過ごす時間が増えたことや、その後も行動の自粛が求められ、親子が離れる時間が少なくなっていることが影響していると思われる。一方で、「減った」「やや減った」と回答された割合も20～33%と「増えた」「やや増えた」より少ないものの逆の影響を受けた保護者もいる。**子どもと遊んだり、一緒に勉強したり、前向きに関わる時間**の回答で「増えた」「やや増えた」と回答された割合が42～56%あり、子どもと良好な関係を築くことにつながっているとも言える。

世帯の構成や収入に関わらず、**子どもを怒ったり、叱ったりする**ことについては、**子どもと一緒にいるとストレスを感じる**こととほぼ同じ割合となっている。子育てで感じるストレスがそのまま子どもを怒る、叱る行動につながっている。

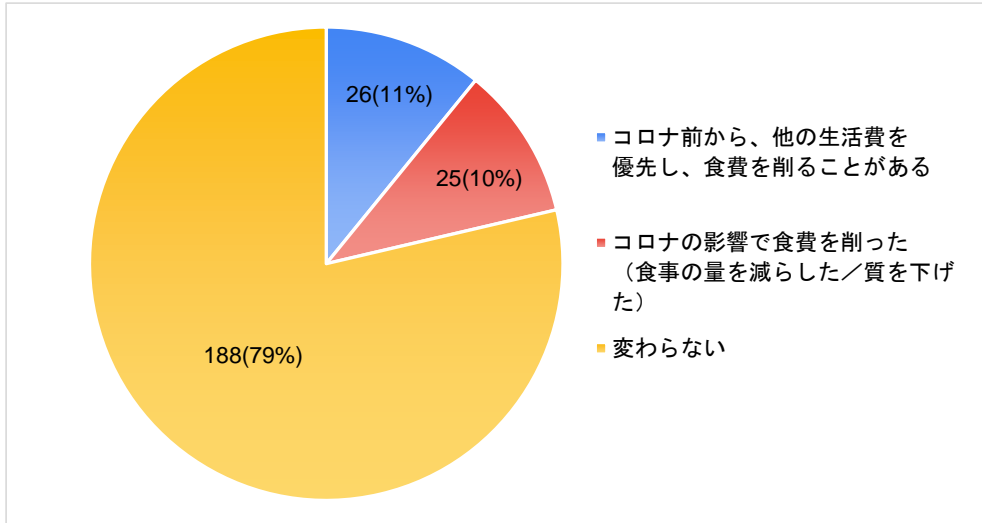
**子どもに手を挙げる**ことのアンケート項目について、当初は「以前から手を挙げることはない」の選択肢を用意しておらず、途中から付け加えた。「変わらない」の回答の中に「以前から手を挙げることはない」が一定程度含まれている。「変わらない」と回答された保護者がすべて「以前から手を挙げることはない」であったとしても、「増えた」「やや増えた」「やや減った」「減った」と回答された、つまり手を挙げる可能性がある保護者が6～13%いるという状況にある。手を挙げるなどの体罰は、児童福祉法の改正により、令和2年4月1日から子どもへの体罰が禁止されている。しかし、「体罰は法律で禁止されているから止めるように」と防止の観点から指導するのではなく、『子どもを愛して大切に育てる』を伝える・教えるという観点から市、教育委員会、そして私たち市民団体も取り組んでいく必要がある。

**子どもと遊んだり、一緒に勉強したり、前向きに関わる時間**について、休校園や行動の自粛により、全体としては50%以上が「ふえた」「やや増えた」と回答しており、多子世帯・年収300万円未満の世帯も同じ傾向にある。しかし、ひとり親世帯は42%とやや低い。ひとり親世帯は仕事をしながら子育てをしていることもあり、子どもと一緒に過ごす時間が元々少ないと思われるが、コロナ禍においてもその時間が増えない家庭が多い傾向にある。逆に「減った」「やや減った」と回答した割合は全体では7%にも関わらず、ひとり親世帯では12%、年収300万円未満の世帯では13%となっている。**仕事の負担（勤務時間）**が増えていることや**時間の余裕**がなくなっていることが関係していると思われる。

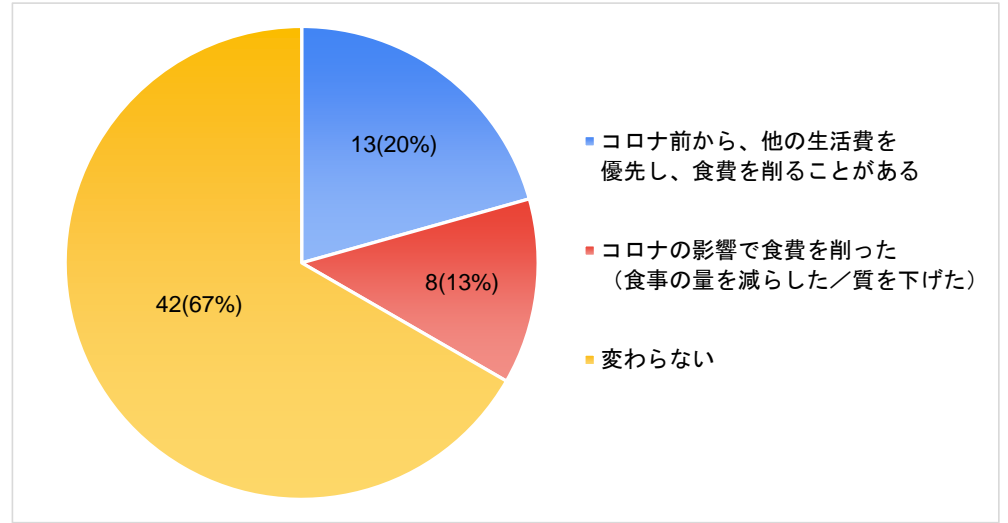
## 【食事（食費）に関する調査項目】

### 食事（食費）について

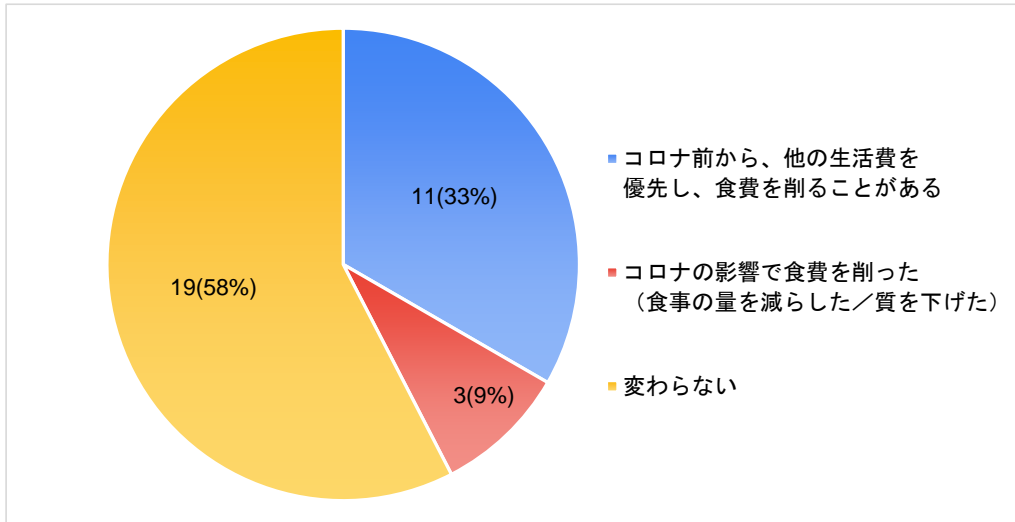
#### 【全体】



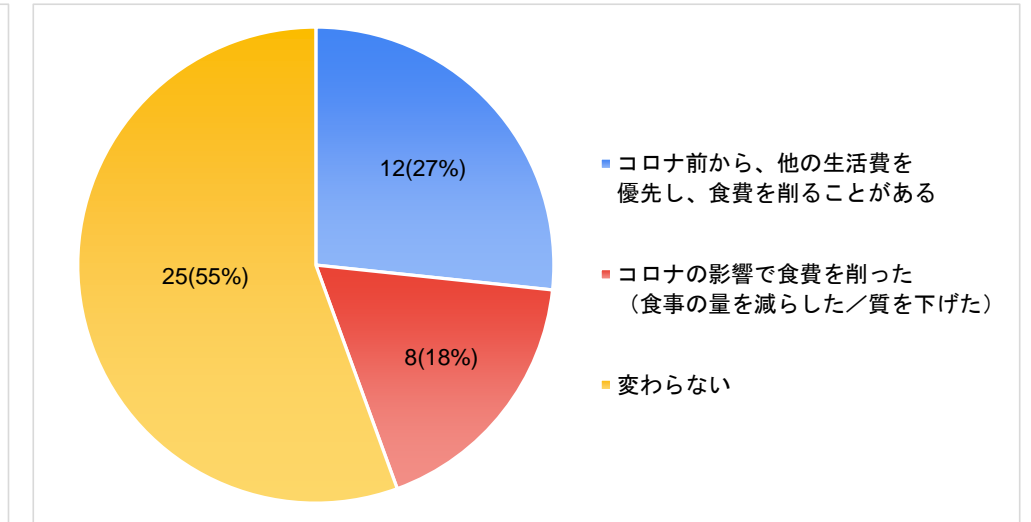
#### 【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



#### 【ひとり親世帯】

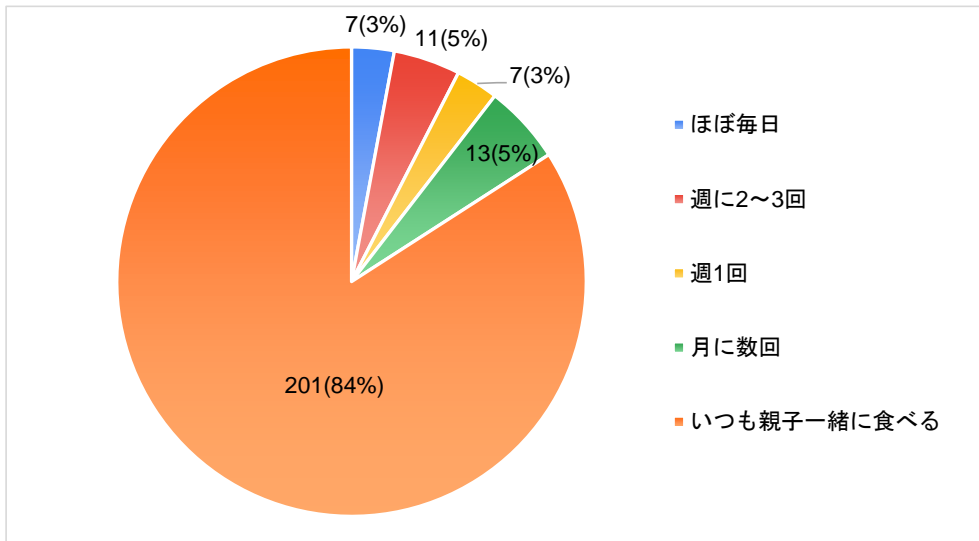


#### 【年収300万円未満の世帯】

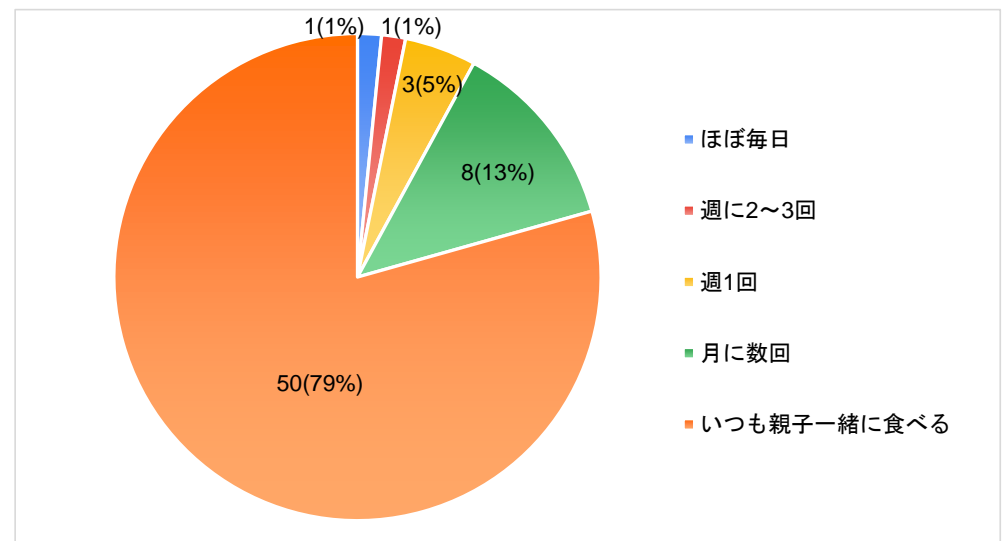


子どもだけでご飯を食べることがある

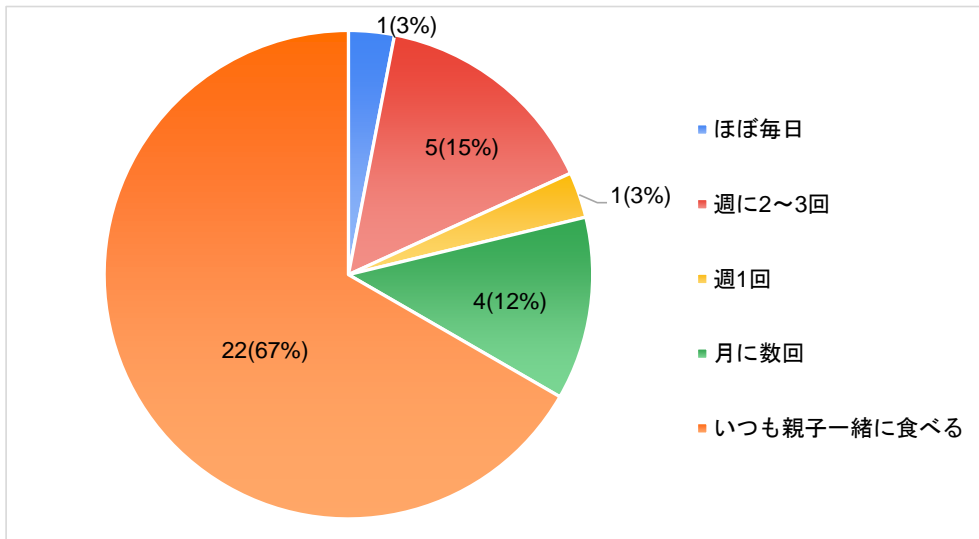
【全体】



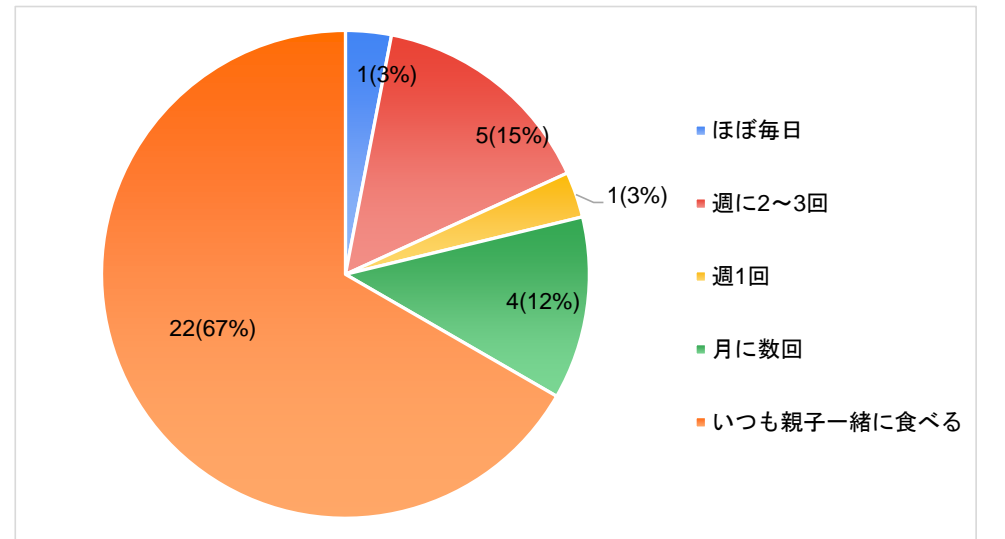
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



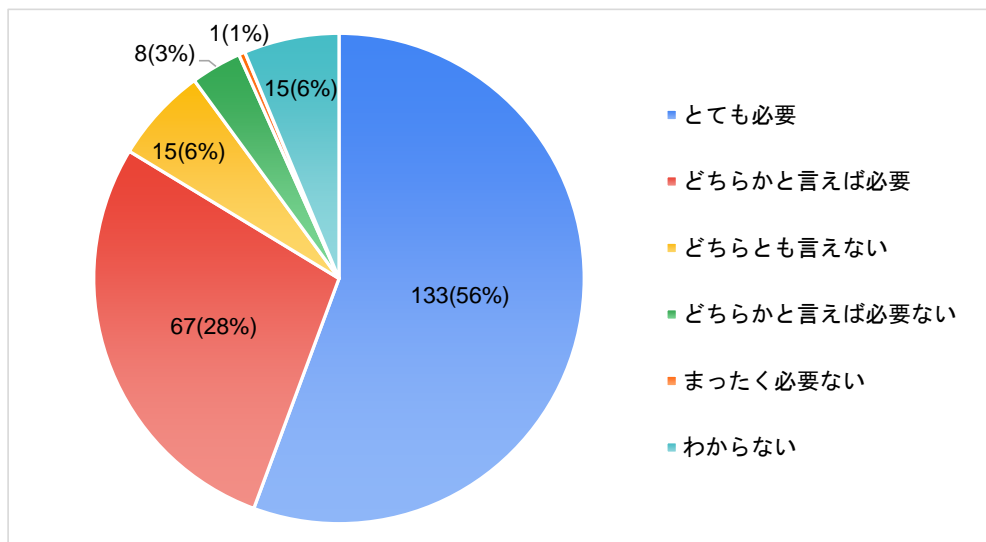
【年収300万円未満の世帯】



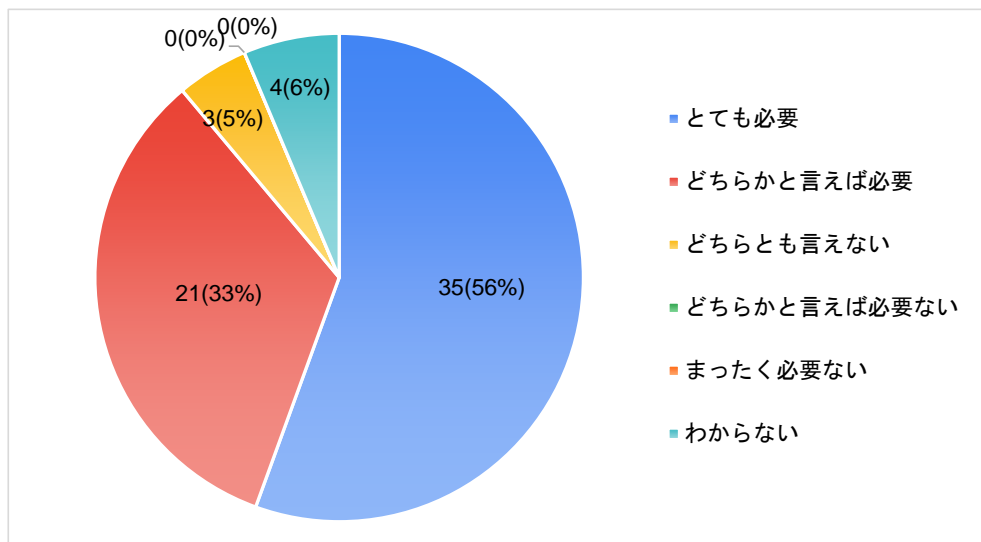


ささこ青空ひろば子ども食堂のように、安心安全な子どもの居場所（遊び場）と食の提供について

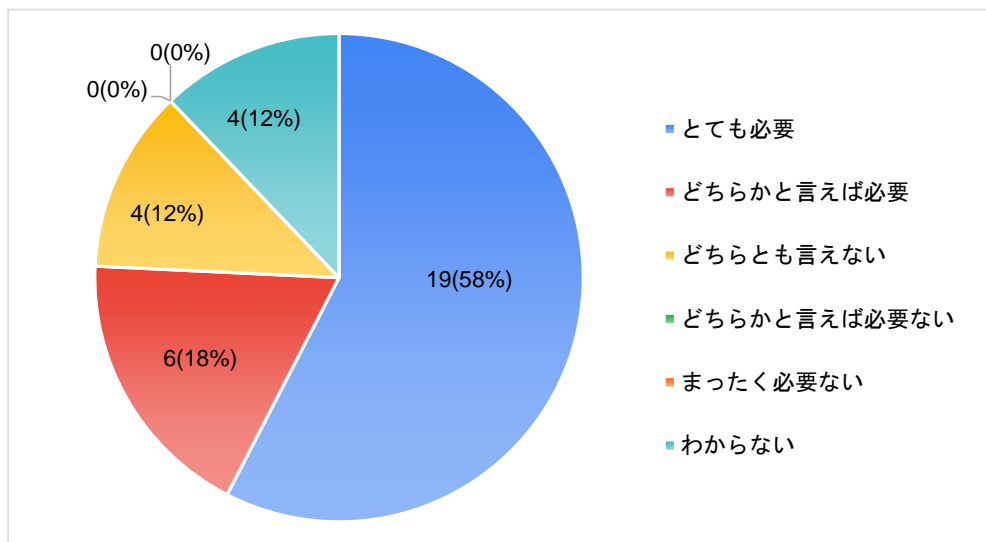
【全体】



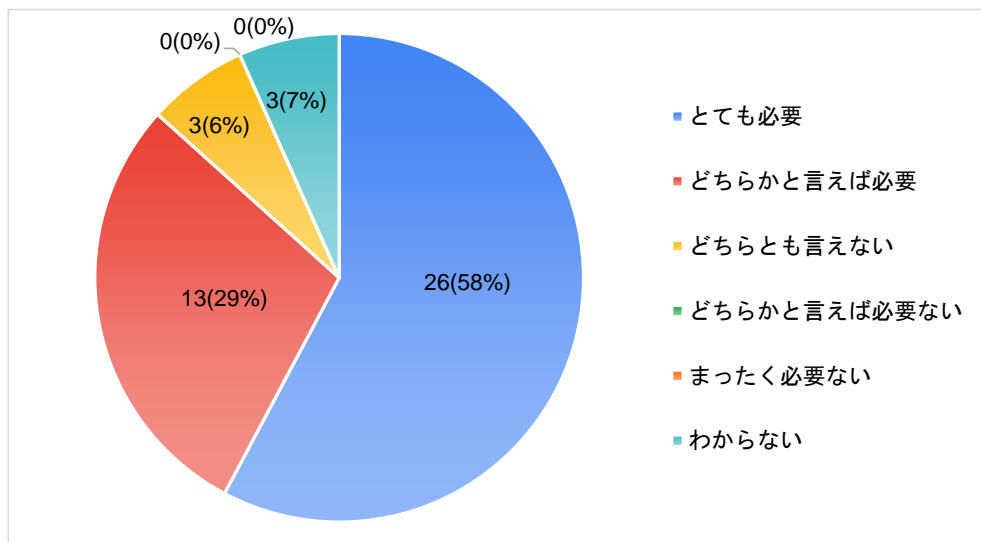
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



【年収300万円未満の世帯】



## 「とても必要」「どちらかと言えば必要」と答えた主な理由

### 【困窮や孤立への取り組みとして】

- ・ 孤立した家族が少しでも減るように願って…
- ・ 孤食は美味しくない。
- ・ 個食やこどもを巻き込んだ犯罪、虐待防止に役立つ。
- ・ うち、変わらない生活だけど、苦しいところはあると思うから。
- ・ 心の拠り所は必要だと思う。
- ・ 各家庭で事情があると思うので必要だと思う。
- ・ 本当に困っている人が居るだろうから。
- ・ 生活が困難な家庭においては必要を感じる。
- ・ 本当に困って居る人がいれば必要。
- ・ 参加する親子より参加しない親子が気になります。
- ・ 必要な子どもたちにきちんと届くなら、子ども食堂のような居場所は必要だと思います。
- ・ コロナの影響以前から、こどもの貧困や格差が言われている中、十分なお飯が食べられない、栄養ある物を食べられない子や親が篠山にもいる。篠山には、外国の方も多く住んでおり、十分な福祉のサービスを受けていない人もいたり、地域との関わりを持たずに困っている人も多い。大勢の人と食事を取る楽しさを味わって欲しい。
- ・ 子供は誰もが平等にお腹いっぱいへのいになればいいと思うので、うちの子は食事でも苦労していませんがもし苦しんでいる子がいたら協力したいです。
- ・ 篠山での必要性がどれくらいあるのかは分からないけど、社会の在り方として、必要としている人へ必要なものが届く仕組みであってほしいと願うから。
- ・ 共働きも増え。シングル家庭も増え。一人っ子も増えて来ている。私は一人っ子で小学校低学年から鍵っ子で、19時頃まで母親は帰って来なかったのを待っていた。そーゆー家庭は多いと思うし、稼がないといけなから仕方がない事だと思う。子供が1人でいる時間を少しでも減らせて、1人でご飯を食べる回数を減らせて行けるよーに、私はとても必要だと思います。
- ・ 困っているご家庭の声が出やすく(助けてと)なりやすい社会になるようにしたいと思います。
- ・ 今の世の中だからこそ、必要な支援だと思います。働いていて経済的に余裕がある＝家庭的に安定しているではないと思う。親が懸命に働いているがゆえに、家に親がいない時間が多い場合もある。特に、祖父母や近所に頼れる人がいない場合、さみしい思いをしている子どもがたくさんいるのではないのでしょうか。
- ・ 食べることは生きること。それを失っては生きる希望も楽しみも無くなってしまう。親が用意するのが難しいなら提供する場所を作ってあげるのが生きる希望になる。
- ・ 仕事でどうしても難しい時に子どもだけでもしっかりした物を低価格で食べられる場所があるだけで、働く親の余裕に繋がる。また温かいご飯を食べられるだけでも幸せを感じられそう。幸せなことに周りにいない・聞いたことがないので憶測でしか記入できないが…、ネグレクト環境にある子どもの拠り所があったらいい。その場所に行けるよう、仕向けてほしい。
- ・ 食の大切さは、生きること、命の大切さを感じる機会にもなりますし、孤食より必ず大勢で食べる食事の味の違いを子どもはすぐに感じられるのではいかと思います。また、地域の他の子育て世代との関わりを深める事で助け合いが生まれたり、気軽に悩みを話し合えるきっかけつくりになるのでは無いかと、参加させていただいてそう感じました。困っておられるご家庭の力になれる活動が継続してできます事をこころから願っております。
- ・ うちは大丈夫ですが、なかには、お金ががない、親がいない、一人でご飯などの子供たちがいると思う。育児で悩んでる家庭もあると思うから。
- ・ 自分自身にあてはめると、今は無くても大丈夫だが、生活に困っているひとが、コロナの影響で更に増えたと思うから。

- ・一人親世帯の方が給料も減るし、子供の食費もいるので、食堂やお弁当が必要だと思います。
- ・シングルマザーの家庭や、コロナ禍で収入が減った家庭、理由があって働けない家庭等、助かっていると思います。
- ・一度子ども食堂で食事をしている子どもを見かけたときに、とても楽しそうに食事をしている姿が印象的だったから。
- ・うちは、大丈夫ですが、そうでない家庭はあると思う。食べられない苦しさは子供に味わってほしくない。
- ・食事が満足にとれない子、居場所のない子どもにはありがたい場所だと思います。
- ・必要な方もいるかもしれないので。私自身は必要ないと思ったので、どちらかといえば必要にしました。
- ・全国的に増えているこの取り組みは、とてもいいから増えてるのだろうと思います。いなかと都会ではニーズがちがうかも。その土地でよくリサーチして親子が求めることをキャッチしてほしい。
- ・ひとり親や、生活に困ってる方、周りに気軽に話せる方がいないなど本当に困っている方がいたら支援すべき。子供と身体を動かせる場所もなかなかないので。
- ・すごくいい取り組みだと思います。本当に必要な人に提供してあげてほしい。
- ・理想的な状況で食事が出来ていない子がいるかもしれないから。親もしてあげたいが出来ないという状況があるかもしれない。
- ・兄弟だけで留守番しているなど話を聞いたことがあるから。
- ・うちの家では一人親でもなく、もし子ども達だけで食べないといけないときは兄弟でなんとか食べてくれるので必要ないが、本当に必要なご家庭もあると思います。

#### 【安心安全な食を提供する場として】

- ・食事はとても重要だと思うから                      ・家族や家庭以外に安心できる場所があると助かります。
- ・子どもにバランスの良い食事を食べさせてやりたい、食育になると思うから。                      ・食を通じて親と子の繋がりが必要。
- ・食べることは生きていくためだけでなく人間形成にも大切だから                      ・食生活が偏りがちなので、ささっこひろばの栄養満点のお弁当がありがたかった。
- ・3大欲求でもある食欲は、お腹を満たすためにも心を満たすためにもとても重要なものだと思うので必要だと思います。温かいご飯は人の気持ちを温かくしてくれます。
- ・親の料理ばかりだと子どもも食べてくれなくて怒ってしまったり、喧嘩したりしてしまう。でも、外食もそんなに連れていけない。栄養バランスやお金の事も気になるから。なので、有料で構わないので子どもに食べさせられるような食事を出してくれる場所があるとありがたい。
- ・安全安心な食事をする事、たくさんの方が手がける地元のお米やお野菜、お肉など美味しく頂くことがどんなにありがたいことかを、知ってほしいと思います。
- ・食について学べる機会があると、さらに食べる事へのありがたさを感じるきっかけになるし、親子で学べる事だとよりいっそう絆が生まれる気がするから。
- ・家にいると、3食の食事の準備や後片付けがしんどくて余裕がなくてイライラしてしまうし、1食でも食事のことを考えなくていいとありがたいです。
- ・バランスのとれた食事で、旬の物を使ってすごく美味しかったです！母娘で食事はしてますが、父とは時間が合わずなかなか一緒に食べる機会がないので今日は一緒に食べれてよかったです。家ではテレビをつけてながら食べが多いから、今日は外で食べ会話も多かった気がします。ありがとうございました。



- ・家事、仕事と子育ての両立の中で、子どもと(家事や仕事のことを気にせず)向き合う時間を持つことは、簡単なことではないと思います。自然と触れあえる場所に行くこと、子どもも親もパワーを充電できる気がします。そこで一緒に食べるご飯は最高です。(ささっこ青空ひろばに参加させて頂きました。)小さな子どもを連れて何処かへ行くこと、何処かでご飯を食べることはそれだけでかなり労力のいることです。特別な場所でなくても、思いっきり遊んだり、そこで一緒に食事をする事で、特別な思い出になると信じています。
- ・家以外で食事すると、お互いに新鮮で楽しめる。食事を作らなくて助かる。母はやはり何もしない日がほしい(苦笑)市の大きな公園でピクニック等も楽しいが、準備が面倒でなかなか行けない。うちは授乳期は過ぎているが、都会では出る先々にお湯がでる衛生的なスペースがあったり、キレイなおムツ替えスペースや、一緒にちょっと休憩できるかわいらしいスペースがあって、ちょこっと出がしやすいので、篠山にももっと授乳期から荷物少なく出やすい場所を作ってあげてほしい。
- ・家ではなかなか遊んであげられない。私が忙しくしているので、ほったらかしで、子供たちだけで遊んでいる。親子共にストレス発散になる。ご飯も手間がかかるので、今回のようなお弁当はとても有難い。
- ・支援センターなどの子ども向け施設の使用制限が厳しくなり、なかなか出かける場所がなくて困っている。居場所を作ってくださいありがたい。
- ・核家族で共働きなのでゆとりをもって食事の時間を過ごすことが出来ないのも、こういった安心安全なこどもの居場所が家庭以外にもあることはとても有難いです。
- ・子ども食堂は必要を感じない。貧困なイメージがぬぐえず利用に踏み切らない。無料で、お得やなあーみたいな利用の仕方では本当に困ってる人に行き渡らなさそうで終わってしまいそう。ただ、居場所作りはいるとおもう。
- ・食事だけでなく交流も減る世の中。生きていく気力を養うためにもこの場所は必ず必要。
- ・食べることは誰にでもできる文化に触れる機会というのを何かで読んだことがあり、家庭によっては食について考えることがあまりないようなところがあるかもしれないのですが、我が家では家族揃ってスーパーや畑で食材を選び調理して、みんなで支度して食べることで子どもたちが色々なことを学んでいます。1人きりでインスタント食品などを食べるよりも、誰かが作ってくれた温かい食事を食べることができたら子どもにとって幸せだと思います。それが当たり前にあることで自己肯定感が高まるように思います。学校や市役所からの情報で篠山にもそのような場所があることを初めて知りました。ぜひ食の大切さ、楽しさ、人とのつながりの喜びなどを篠山に伝え広めて頂きたいです。応援します。
- ・このご時世、ただでさえ居場所が少なくなっているからこそ子どもたちが特別な場所としてワクワク、ときめいて嬉しくなるような居場所あるべきだと思う。
- ・さまざまな子どもたちが安心して自分でいられる場所を大人が準備することに賛成です。
- ・親以外の方々との触れ合いの場にもなるので挨拶をする言葉を交わす等とても我が子には経験させたい事なので利用させていただけるなら勿論料金をお支払いしてでもお願いしたいと思います。
- ・なかなか出かけられないご時世で何度か参加させていただいて、心にゆとりをもて楽しめたし篠山に引っ越してきてよかったと思えました。
- ・子供達が安心して過ごせる場所が一つでも多く有ると良いと思う。これから先少子化で少ない子供達を守る社会が本当に大切だと思うからです。
- ・誰もが使える居場所は地域にあったほうがよい。みんなでご飯を食べる環境は大切だと思う。

- ・夜勤を1か月に夜勤していて親にお願いします。ご飯作って仕事に行きますが、私の親とだからか食べないし残すし。作った意味がないやん。と思ってしまいますが子ども食堂あれば喜んで食べてくれるし自分の好きな物も入ってたりするのでありがたいです。また子どもも友達と上手く接することが出来ない部分もありそんな輪があれば積極的に行って自分に合った友達と仲良くなって友達も増えるんじゃないか？と思ってます。
- ・今の時代YouTubeや家の中で遊ぶのが当たり前になってきてる中で、ささっ広場などのふれあうイベントなどあるのは親も子供も有難い。お弁当の配布は作ってくれた人に感謝を子供に教える事もできるし、人が作ってくれた食べ物を食べれるのは嬉しい事です。
- ・コロナでお出かけや外食に行けなくなり、食事作りが苦痛になっています。こういった機会があれば少し気持ちも楽になります。
- ・外で遊ぶ機会が減っているので、子供の居場所作りをしていただけるのはとても有難いです。

### 【ひとり親世帯へのお弁当提供について】

- ・今回、ひとり親世帯のお弁当提供でお世話になります。低価格で晩ごはんを用意できるのは本当にありがたいです。その日は時間に余裕ができるので、子供とゆっくり過ごそうと思います。
- ・1人親に限定しているので、利用したい時があっても利用できない。そのため必要な時に利用できない子ども食堂ってどうなんだろう？と思う。またお弁当配布は居場所作りにはならない。無いよりですが、抛り所にはなり得ない。

### 【その他】

- ・子どもと親の心も満たされると思います。 ・人見知りなどがあるので、行ける場所が限られている。 ・横のつながりを大切にしたい。
- ・馴染みがなくて、気軽につかえそうにない。行って見ようかな。 ・全ての子供が、平等に生活できる環境づくりができる。
- ・本当に利用したい人ができているかどうか疑問。全ての子供が対象なら、平等に行き渡るような事業にしてほしいです。
- ・今のところ参加、利用したことはありませんが、子供のことを思って活動されたり、子供が大切にされる社会には明るい未来を感じるので、いいと思います。

### 「どちらかと言えば必要ない」と答えた理由

- ・同居してるので私たち親がいなくて間くらい義親が見てくれないと同居の意味がないから。
- ・個人的には、という食に関しては困っていないから。ただ、必要な子供や家庭があることも理解している。

### 「どちらとも言えない」と答えた理由

- ・子供だけでその提供されている場所に行けるわけではないため。
- ・市内の担当者は抵抗がある。市内の人間は個人情報漏らす。 ・密になるから。

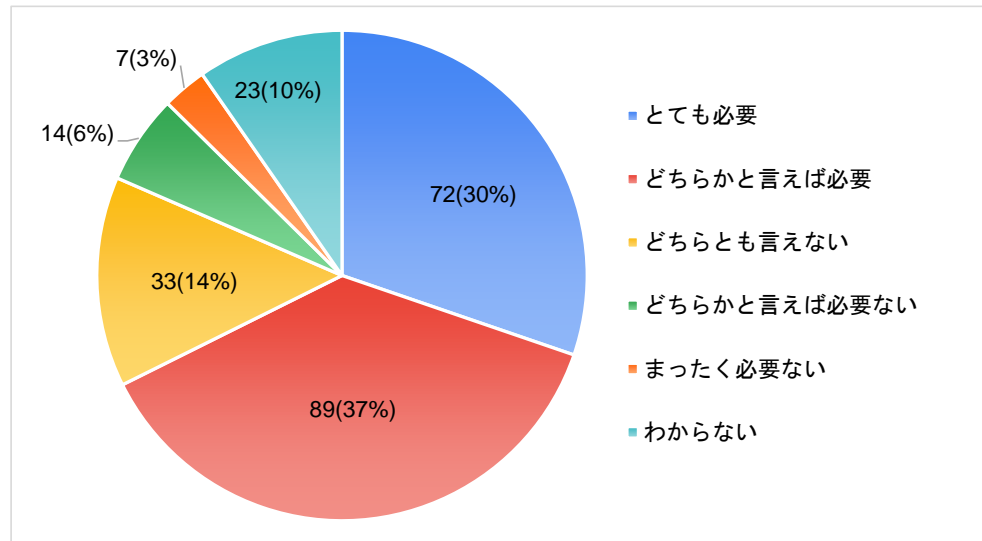
### 「わからない」と答えた理由

- ・利用したことがない、勇気が出ない。 ・私自身は特にして欲しいとは思ってなくて、他の家庭の事情もあまり分からないから。

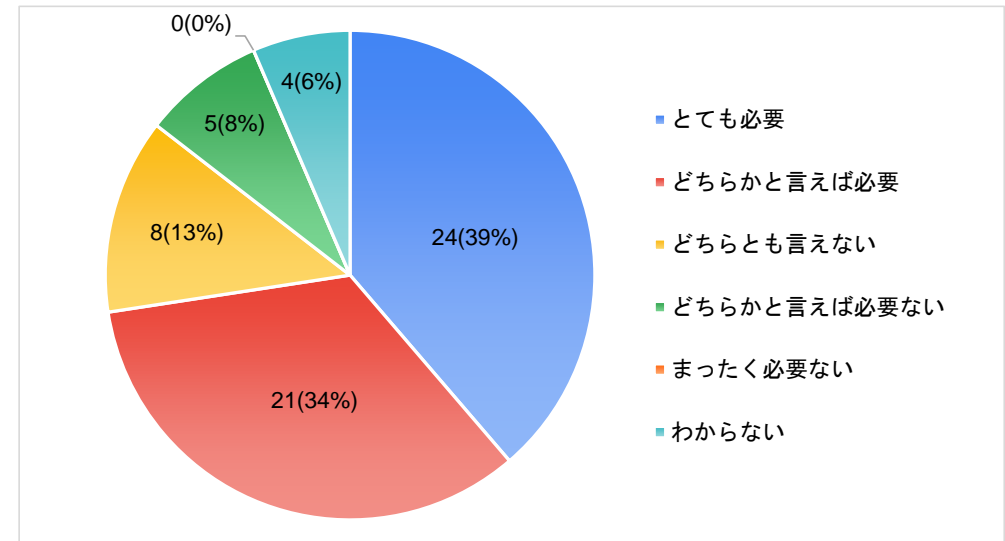


食材などを直接お宅へ無償で届ける取り組み（フードバンクなど）について

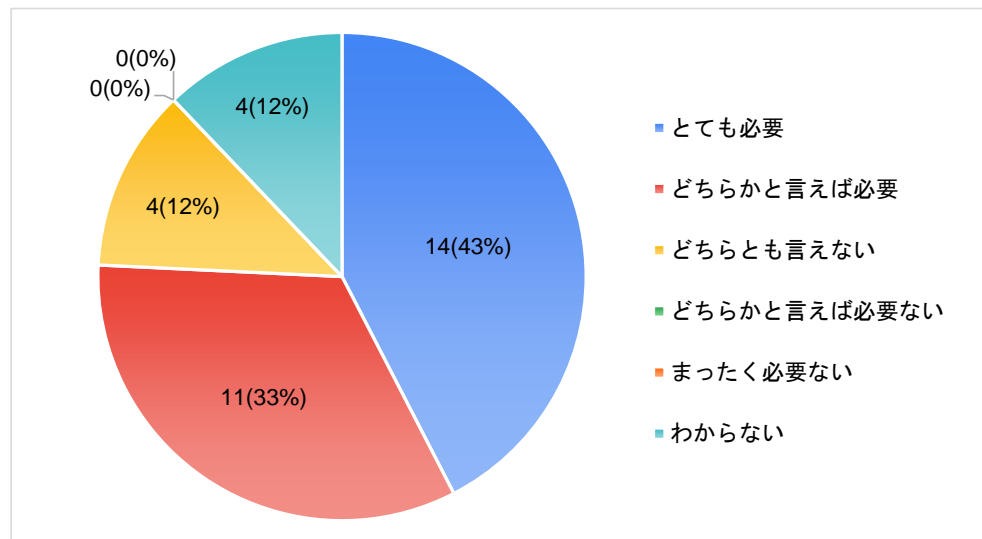
【全体】



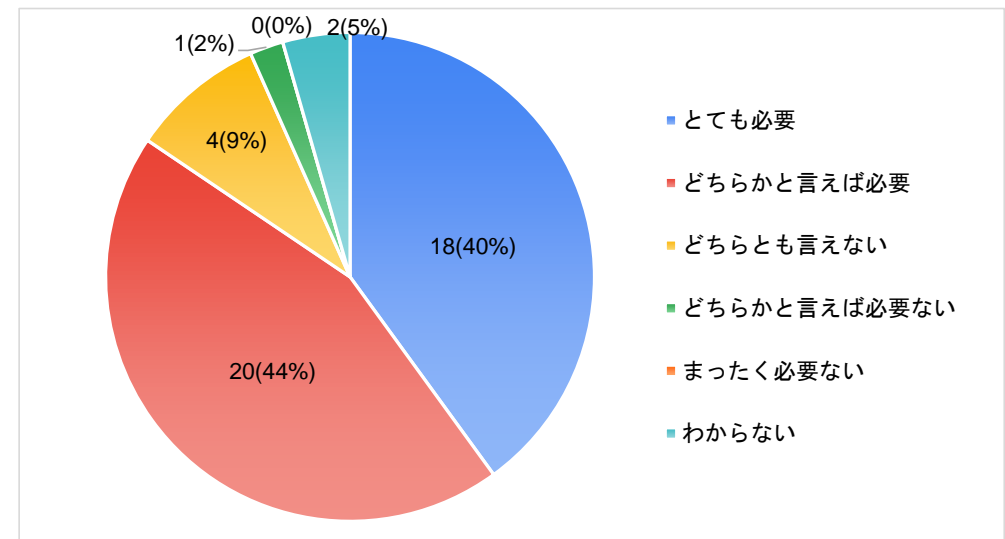
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



【年収300万円未満の世帯】



## 「とても必要」「どちらかと言えば必要」と答えた主な理由

### 【困窮や孤立への取り組みとして】

- ・生活に困窮している家庭には必要。
- ・一人親世帯の方に、無償で届けたいから。
- ・子供達の生活状況を確認する事も出来るから。
- ・子供や自分がコロナ陽性又は濃厚接触者になったら必要だと思う。
- ・経済的困難な家庭が更に貧困になる可能性がある。「コロナで働けない方など」
- ・親のご飯を一食減らしても子どもに食べさせている家庭もあるので、考えなければなりません。
- ・フードバンクがあれば親と子の所在確認ができて児童虐待等を防ぐことができるかと。
- ・我が家は必要としていないが、必要とする家庭はあるだろうし、どこかに取りに行くとなれば、回りの目が気になるのでは。家に届けてもらえるのであれば、助かるのではないか。
- ・私の家は近くにスーパーがないので、産後少し活用させてもらいました。子供が小さかったり、お年寄りなど、中々車で買い物に行けない人がいるので必要。
- ・様々なご家庭がある中で、他人の目や他人の力が必要な場合も少なくないのではと感じます。
- ・今の時代様々な家庭の困難がある。ひとり親だけではなく、ひきこもりのご家族がいたり、しょうがいや病気などで外にでるということが困難な家庭もある。様々なニーズに応えるには直接届けることもあってよいと思う。そこから支援に繋がる可能性もある。
- ・無償でなくとも、低価格でもありがたい。車がなかったり体調不良で外に行けない時にあったら非常に便利。無償の場合は登録が必要なのか、市役所でリストアップした家に配布？ぜひ頑張ってほしい。
- ・今後、失業などで生活が苦しくなる家庭が出てくることが予想されるから。プライバシーの配慮は必要だと思います。
- ・必要な方もいるかもしれないので。私自身も必要になる時が、くるかもしれないので。
- ・必要とする家庭が、自宅に届けば周囲を気にする事なく受け取れて食事として生かされる方が良いと思う。
- ・不要だが捨てるのはもったいない物がみんなたくさんあると思うし、そういう活動で助かる子供がたくさん居るので素敵な活動だと思います。

### 【いま必要としている】

- ・仕事をしているので、とても助かると思うから。
- ・週末しかスーパーに行けないので、このようなサービスがあると助かります。
- ・以前から色々な事情が重なりお金がなくてとても困ったことが度々ありました。
- ・仕事で、取りに行く事ができないし、20時になると、お弁当を売ってないから、本当にありがたいです。
- ・小さい子供がいるため、助かる。
- ・介護しており忙しいので、ありがたいです。
- ・実際に、食べる事で今困っているので。



### 【食の大切さ】

- ・食が満たされることで心に余裕をもつことができる人もあると思う。                      ・育ち盛りの子供にとって食事はとても大切だと思うから。
- ・食事は、大人にとっても子供にとっても大切。食べれることの幸せを感じてほしい。

### 【地域の取り組みとして】

- ・地域で助け合ある事は是非そうすべきだと思う。
- ・お互い様や支え合いの精神が当たり前であってほしいし、そういう気持ちが人の絆を強くすると思うから。

### 【食品ロスへの取り組みとして】

- ・余ってる野菜や賞味期限の近いものなど、捨てる農家などあると思うので。                      ・ロスになるものが減るならいいこと。
- ・食品のロスを減らしたり、必要な方に無料で提供されるなら、一石二鳥でどちらにとっても嬉しい。
- ・困っている家庭への対策だけでなく、フードロスの解決にもつながればと思う。
- ・食材は貰う側は助かるし、作られてる業者の方もフードロスがなくなっていいと思う。
- ・篠山は畑をしている家も多く、食材の宝庫だと思う。もらってもらえたら嬉しいと言う人も多いのでは。それを必要な人は届けられる仕組みさえ作れば、生きがいつくりにもなるし、喜びの循環になると思う。

### 【その他】

- ・無償が有難い。                      ・主婦にも休日は必要だと思うから。                      ・時間短縮で、子供との時間が増える。
- ・助かるが、届けてもらう食材の産地や、農薬の有無などが気になる。                      ・あればとても便利だと思うが、経費も多くかかると思うから。
- ・子どもだけで、こども食堂へ行かせられない場合もある。                      ・あったらあったで助かる。
- ・無償はありがたいが、やはり、一定額でも、少しはお金を支払ってもいいのではと思う。
- ・ニーズがあり、取り組めるならやるべきと思うから。                      ・無償がいつでもよいのかはやや疑問に思う時がある。
- ・食堂や広場で誰かと会うことを苦手としている人のためになると感じる。

### 「まったく必要ない」「どちらかと言えば必要ない」と答えた理由

- ・収入に変わりがないため。
- ・経済的に困っていない。
- ・好みなどあるので。
- ・自分で買いたい。
- ・食材は車で買いに行けるから。
- ・コープの宅配を頼んでいるから。
- ・生協をしているので。
- ・個人的には必要ない。必要な家庭があることは理解している。
- ・現状我が家は問題ないので必要な方に届けてあげて欲しいです。
- ・まだ自分で買いに行けるから。将来的には必要になるかもしれない。
- ・金銭的には困っておらず、買い物もすぐに行けるし、CO・OPも頼んでいるので。必要な家庭には届きますように。

### 「どちらとも言えない」と答えた理由

- ・貧困というより、うちは、時間がなくて頼りたいときがある。
- ・フードバンクがまだよく分からない。無償だと安全性とか不安もある。
- ・外に行き難い高齢者などには必要と思います。
- ・そんな取り組みがあれば、すごく嬉しいですが…実現が難しそう。
- ・現状は困っていないが、共働き世代、独居の方など必要な世帯はあると思われるので。
- ・希望者がいれば…？高齢者の方の方が必要としているかも。
- ・私は車があるので大丈夫ですが、ない人には必要かな？と思います。
- ・自分には今必要ないが、必要としているひとがいるのは確実。
- ・そこまで切迫していない。
- ・配達の方がフードバンクの人で家を特定され、近所から変な噂を流されたくない。
- ・こればかりを頼りにするようになってしまわないか不安です！働く意欲の促進も同時に行うことで意味があると思います！

### 「わからない」と答えた理由

- ・利用したことがないから。
- ・あまり詳しく内容を知らないため。
- ・フードバンクのシステムが分からない。
- ・仕組みがいまいちわからない。
- ・そんなシステムがあるの知らなかった。
- ・我が家は特に必要とは思ってなくて、他の家庭の事情も分からないから。

## 【食事（食費）に関する調査項目】世帯の構成や収入による違いや傾向

**食事（食費）**について、まずは「コロナ前から、他の生活費を優先し、食費を削ることがある」という回答について注目する必要がある。全体としても11%、多子世帯20%、年収300万円未満の世帯27%、ひとり親世帯33%と、日頃から苦しい生活状況が見て取れる。さらに、コロナウイルスの影響を受け食費を削った世帯が9～18%増えている。子育てには必ず必要となる費用があり、就学援助制度・児童手当・医療費助成制度・児童扶養手当など様々な支援制度や施策があるにも関わらず、それでもなお食費を削って生活費にまわしている現状がある。「支援制度を知らない」こともあり得るが、例えば収入要件がギリギリ当てはまらず支援を受けられなかったり、自由意見にある「実家で世帯分離で暮らしているが母子家庭の扶養手当がもらえない」など、少しの条件緩和で支援を受けられる世帯が増える可能性もある。SDGsの目標1「貧困をなくそう」では相対的貧困への支援も必要とされており、「子育ていちばん」を掲げる丹波篠山市として、すべての世帯が食費を削ることなく暮らし、すべての子どもたちの健やかな成長につなげる施策を進めていただきたい。

**子どもだけでご飯を食べることがある**について、全体としては「月に数回」以上ある世帯は16%に留まるが、ひとり親世帯や年収300万円未満の世帯ではほぼ倍の33%となっている。「ほぼ毎日」「週に2～3回」を合わせると全体239世帯中18世帯（8%）もある。親子と一緒に食事をする時間は、子どもたちから「今日何があったか」などの話を聞いて一緒に喜び、時には一緒に悲しみ、良好な親子関係を築くために必要な時間でもある。ささっこ青空ひろばでの弁当提供でも、ひとり親世帯への弁当お届けでも、「親子で一緒のお弁当を食べることで、親子のゆっくりとした時間を持つことができた」という感想をいただいている。ひとり親世帯か否かに関係なく、親子と一緒に食事できる環境を整えたり、機会を増やすことは今すぐに必要なことであり、継続していく必要がある。

**ささっこ青空ひろばや子ども食堂のように、安心安全な子どもの居場所（遊び場）と食提供について**、「とても必要」と「どちらかと言えば必要」を合わせると、76～89%とニーズはかなり高い。その理由を分類すると、主に「困窮や孤立への取り組みとして」「安心安全な食を提供する場として」「安心安全な居場所（遊び場）として」の3つとなる。「困窮や孤立への取り組みとして」を理由にあげた保護者の中には、「自分は困っていないが、必要としている世帯があると思う」「今の世の中、声を上げやすくする取り組みとして必要」など、『あって然るべき』との思いから必要と答えた方々もいる。

一方、「安心安全な食を提供する場として」「安心安全な居場所（遊び場）として」を理由としてあげた方の中には、ささっこ青空ひろばに実際に参加した保護者からの声も多く、コロナ禍で子ども向けの施設の利用に制限がかかったり、親同士が交流できる機会を失っている中で開催されたことに感謝の意を表すと共に、「継続してほしい」という思いから必要と回答されている。また、他の自由回答にも散見される「市内に公園が少ない」「遊具がない」といった状況からも、ささっこ青空ひろばのような遊び場が必要とされている。昨年12月、市により大沢2号公園に複合遊具が設置され、令和3年度以降も『おいでよささっこ遊具設置事業』として、旧小学校区毎に遊具の設置が順次進められることは喜ばしい。

ささっこ青空ひろばの魅力は、居場所（遊び場）と食（お弁当）提供がセットになっているところにある。遊びに出かけるに当たって昼ご飯の心配をせずに済むことは「1食作らなくてよい」というだけではなく、保護者の心の余裕につながり、同じお弁当を子どもと一緒に食べ、ゆっくり過ごす団らんの時間をもたらしている。

**食材などを直接お宅へ無償で届ける取り組み（フードバンクなど）について**、「必要」「どちらかと言えば必要」合わせると、全体で67%。多子世帯・ひとり親世帯はさらに高く、年収300万円未満の世帯では実に84%となっている。理由を見てみると、今まさに回答者自身が困窮により必要としている意見、「子どもが小さかった時は必要だった」「子連れでの買物がコロナでますます難しい」など買物が難しいとする意見に加え、回答者自身が必要とする意見より「必要とする人に届けてほしい」との意見も多い。実際に**食事（食費）**の回答で「コロナ前から、他の生活費を優先し、食費を削ることがある」という回答が全体としても11%、多子世帯20%、年収300万円未満の世帯27%、ひとり親世帯33%であることから、食材を届ける仕組みが日頃から必要とされているとわかる。

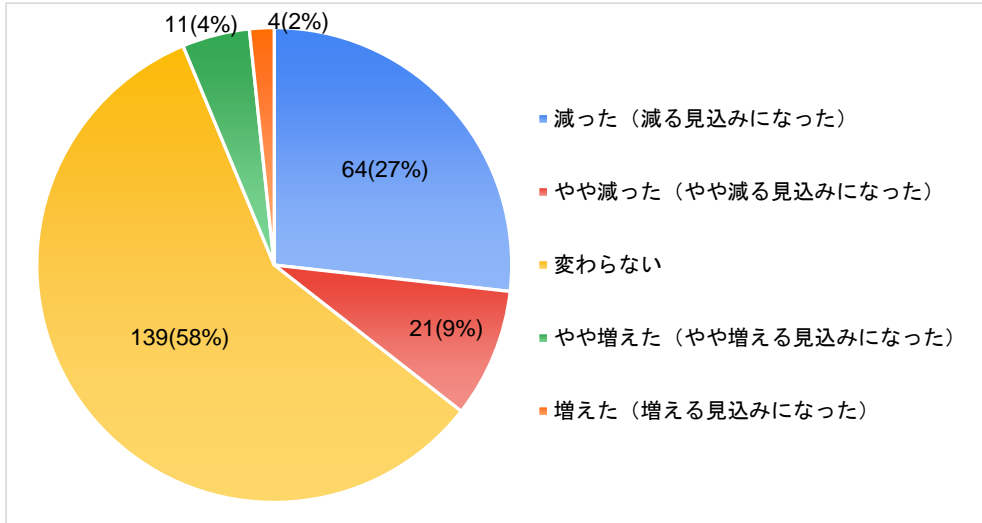
「まったく必要ない」「どちらかと言えば必要ない」「どちらとも言えない」と答えた方々の理由を見てみると、回答者自身は困っていないが、困っている方のためには必要とする意見や「必要だけど実現が難しそう」という意見もあり、その必要性は否定されていない。ただし、「配達の方がフードバンクの人で家を特定され、近所から変な噂を流されたくない。」との意見もあり、実現の際には配慮が必要である。また、全体の10%の方が「わからない」と回答され、「フードバンクの仕組みがわからない」「フードバンクを知らない」状況がある。必要とされる方々にキッチンと届けるためには、食品を寄付する方を増やしていくことも大切であり、実現の際には広報が鍵となる。



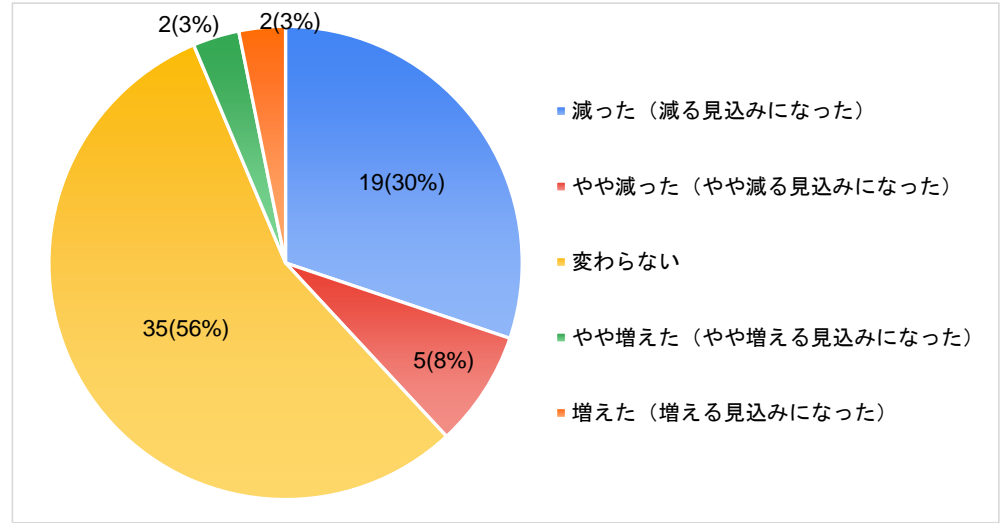
【お金に関する調査項目】

世帯の収入について

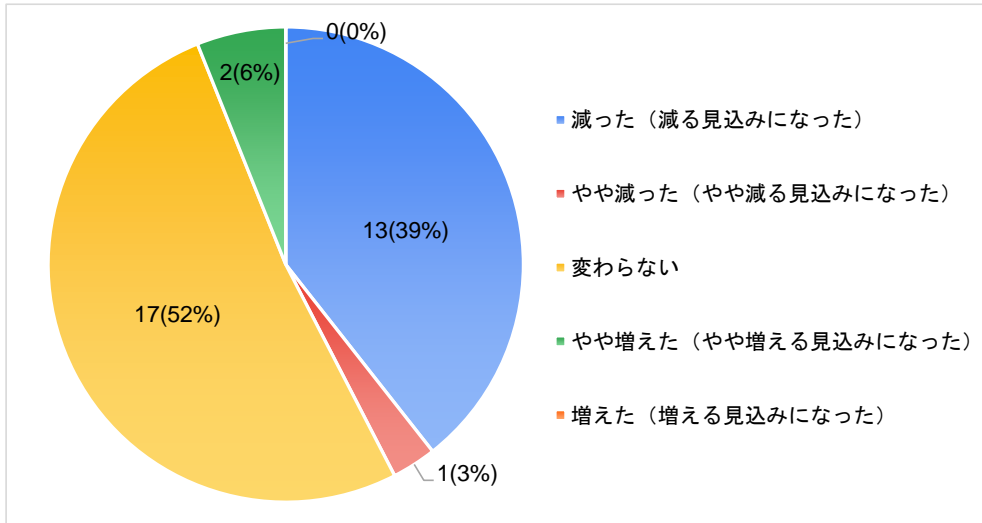
【全体】



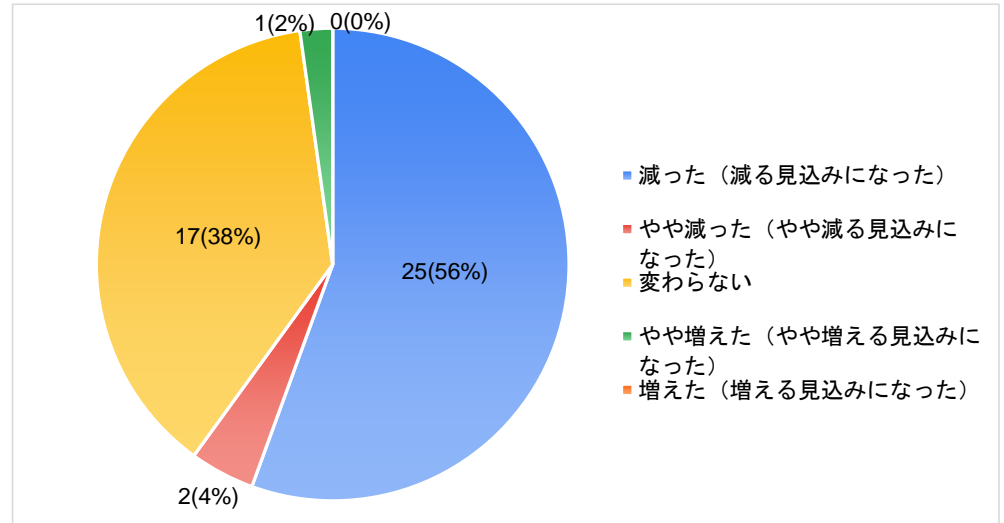
【多子世帯 (子どもが3人以上いる)】



【ひとり親世帯】



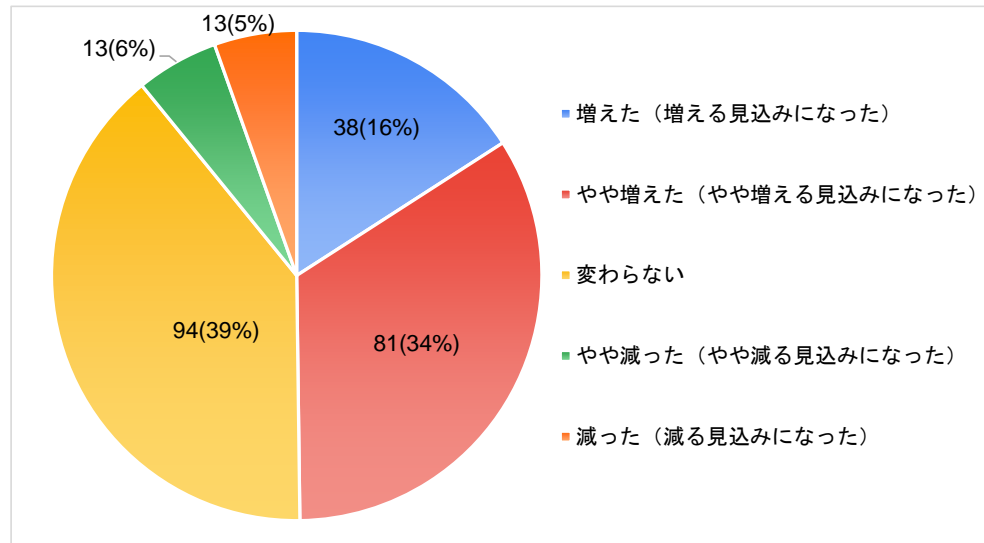
【年収300万円未満の世帯】



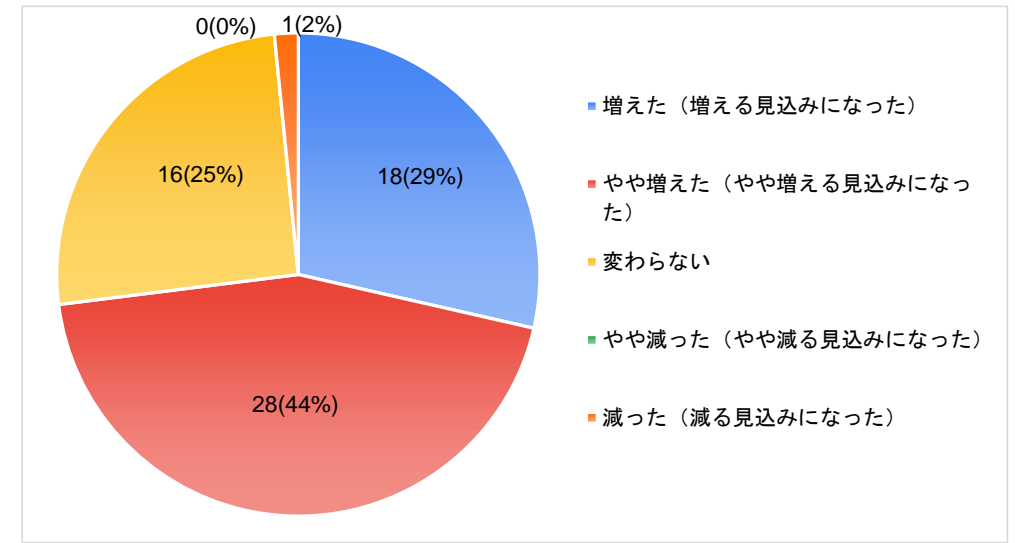


## 世帯の支出について

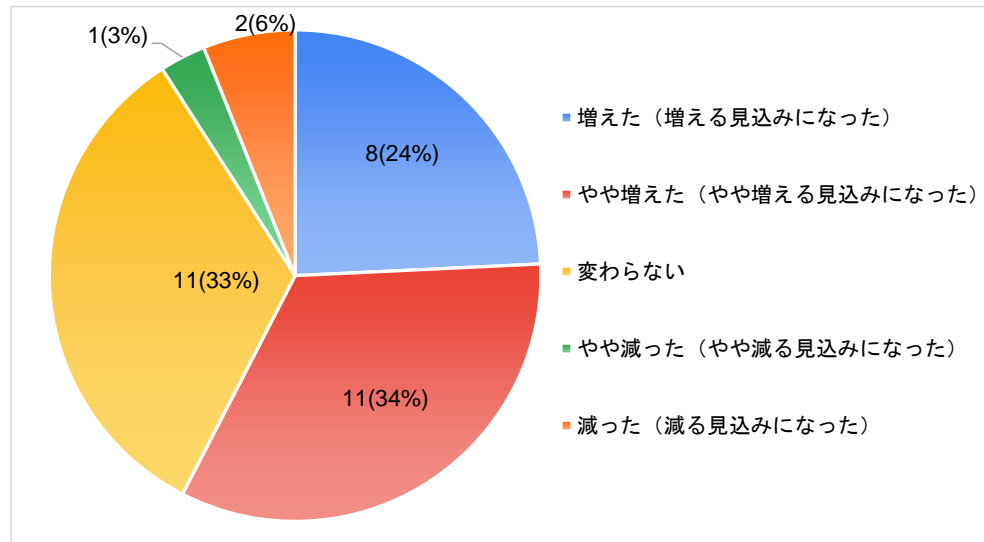
### 【全体】



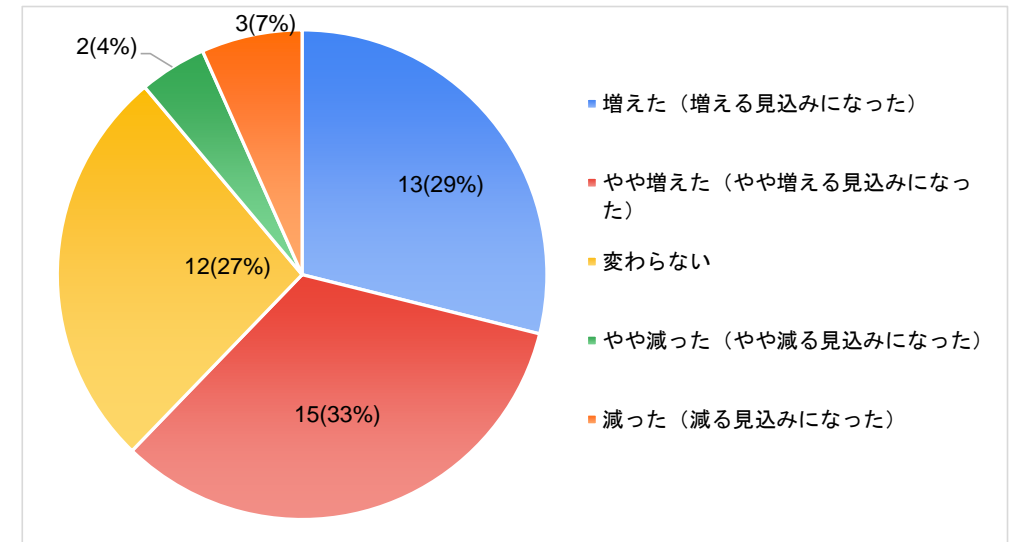
### 【多子世帯 (子どもが3人以上いる)】



### 【ひとり親世帯】



### 【年収300万円未満の世帯】



## 支出が増えたこと、その影響、あるいは金銭面での将来への不安について《自由記述》

### 【収入や貯蓄に関すること】

- ・貯蓄が思うように進まない
- ・節約を考える
- ・貯蓄ができない
- ・貯金に回すお金が限りなく少ない
- ・仕事が減ると収入が減り、保険等を考え直す事になりそうだった。
- ・収入が減り、貯金が全くできなくなった。
- ・家族が感染した場合、世帯主が働けなくなった場合に全く収入がなくなると困る。
- ・外出自粛などもある中収入は安定しない

### 【家庭で過ごすための支出】

- ・コロナで休校になった際、食費が増えました。また休校になれば出費が増えてしまうのが心配です。
- ・出かけられない分、食費にかけるお金が増えた。
- ・子供が学童や預かりに行く日数が減る事によって何かを買う機会が増えた。
- ・居心地のいい空間を作ろうと、色々買ってしまう。
- ・コロナになって、子ども達を在宅でみるが増え食費がかさんだ。
- ・こどものストレス軽減、親のストレス軽減と称した支出が増えています
- ・去年は休みになったり、家にいる時間が多かったため、給食の代わりに食事を毎度用意するのが大変だった。会社も休みになったり、年末の賞与が減ったりさしたので、年間の収入は減った。支出は変わらないのに厳しい。
- ・外出しない規制する日々だと逆にデリバリーに頼ったり、外出の代わりに内容を豪華にと食費などが以前より掛かってる気がします。贅沢しよう。としての部分が普段より増えた気がします！
- ・外食は減ったが、家での食費が増えたので家事負担が増えた。衛生用品を買うことが増えた。

### 【子育て、教育に関すること】

- ・子供がしたいと言う習い事をさせてやれない。
- ・子供の習い事や塾に対する費用が不安
- ・大学卒業後まで無事に支払えるか不安です。
- ・コロナで、賞与が減りローンや学費などが苦しくなりそう。
- ・子どもが大きくなるにつれて出費が増えるのは理解しているが、このまま現状維持できるか不安。
- ・教育にお金がかからないような社会になることを望みつつ、お金をなんとか貯められるように色々勉強中です。
- ・勉強に遅れを感じているので教育面での将来の出費が不安(塾などの出費)
- ・複数人の子育てで食費は上がる一方なので、自粛期間の給食無し→自宅ご飯の時は大変でした。
- ・これからの、子育てする上での教育費、絶対に共働きをしないといけないという気持ちの余裕のなさ
- ・子どもにはよい教育を、よい環境を与えたいと思うのはどの親も感じていることだとは思いますが、実際それを叶えられるのは富裕層なのが今の世の中だと思う。もっと誰にでもチャンスがあるんだということを伝えられる世の中にしたい。



## 【その他】

- ・パートを始めた。                      ・家族の中で、勤務日数が減っている人がいる
- ・自分の職種では、土日仕事で、土日は、子供だけになってしまうので、なかなかはたらくのがむずかしい。
- ・主人が起業したので、収入が減り、支出が増えました。面倒な手続きが必要ない支援があれば嬉しいのですが。時期の影響で、支援金等いただけない事が多々ありました。そういう運命だと自分たちで言い聞かせては来ましたが…もう少し融通を効かせていただけたら、嬉しいなと思います。
- ・実家で世帯分離で住んでるけど母子家庭の扶養手当が貰えない
- ・大半の人が目の前の支出に対して必死になって働いて収入を得る生活が当たり前になっている。働くことに楽しみを感じる人が少なくなっている人も多いはず。生活のためにはお金が必要。でも、お金に対する知識は無いに等しい人が多い。もっとお金の勉強をできる環境、教育体制を日本の国が創るべきだと思う。でないと、生きていく意味を見失ってしまうような気がする。
- ・同居の両親が、ひどく節約に入ってしまった、減入る…。むかしのひとの、もったいないが、激しい…。マスクも何日使うのかと…へこむ。

## 【お金に関する調査項目】世帯の構成や収入による違いや傾向

**世帯の収入について**で「減った（減る見込みになった）」「やや減った（やや減る見込みになった）」と回答した割合は、全体が36%、多子世帯38%、ひとり親世帯42%であるのに対し、世帯収入が300万円未満の世帯では60%に達しており、世帯収入の低い世帯がより厳しい状況に追い込まれていることが伺える。

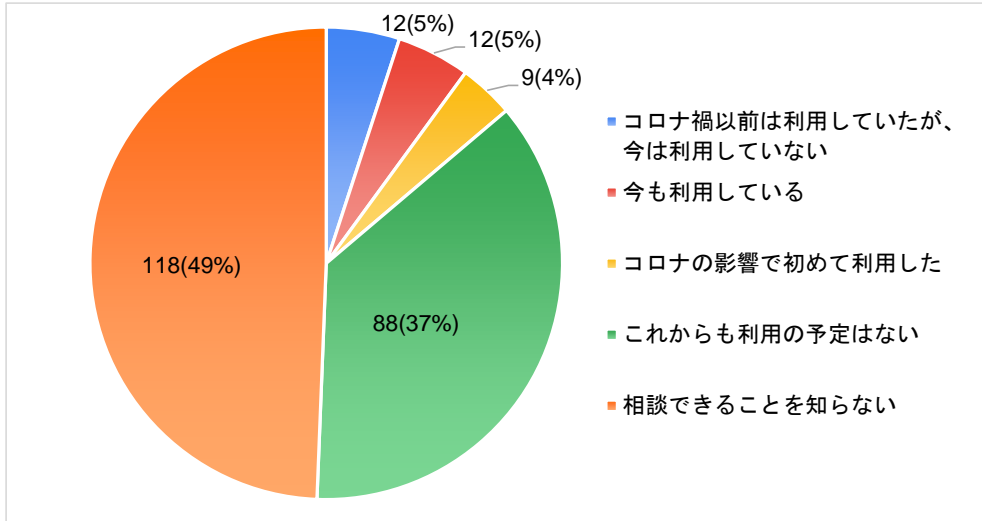
また、**世帯の支出について**で「増えた（増える見込みになった）」「やや増えた（やや増える見込みになった）」と回答した割合は、全体が50%であるのに対し、多子世帯73%、ひとり親世帯58%であるのに対し、世帯収入が300万円未満の世帯では62%と、日頃から保護者の負担が大きな世帯へ影響が出ている。特に多子世帯で73%と高い割合となっているのは、子どもたちの学校園が休みになったり、活動自粛で家にいる時間が増え、子どもたちへの支出が子どもの人数に比例して増えたためと思われる。

**支出が増えたこと、その影響、あるいは金銭面での将来への不安について《自由記述》**では、「貯蓄ができない」「子どもの教育や習い事ができない」「自宅にいる時間が増えたことによる光熱費の増加」などの声が多く聞かれる。それらのことが子どもの将来や家族の将来への不安へつながっている。「子どもには必要な教育を受けさせたい」という思いはどの保護者も同じだが、子どもが大きくなると現状は教育にかかる費用も増える。そのことが「子どもに我慢させている」という申し訳なさ、「絶対に共働きをしないといけない」という気持ちの余裕のなさ、「よい教育、よい環境を叶えられるのは富裕層だけなのか、もっと誰にでもチャンスがある世の中にしたい」という変化を望む声となっている。就学援助制度、児童手当、こども医療費助成制度、児童扶養手当など、子育てに関する様々な制度があるものの、コロナ禍でますます厳しい状況にある世帯が増えていることを踏まえ制度の拡充をお願いしたい。ただし、**食事（食費）**の回答で「コロナ前から、他の生活費を優先し、食費を削ることがある」という回答が全体としても11%、多子世帯20%、年収300万円未満の世帯27%、ひとり親世帯33%であることから、コロナ禍とは関係なく、「誰にでもチャンスのある世の中」の実現に向けて、子育て世代を直接支援する公的制度の拡充、私たちのような市民団体を支援する仕組みや制度の拡充に取り組んでいただきたい。

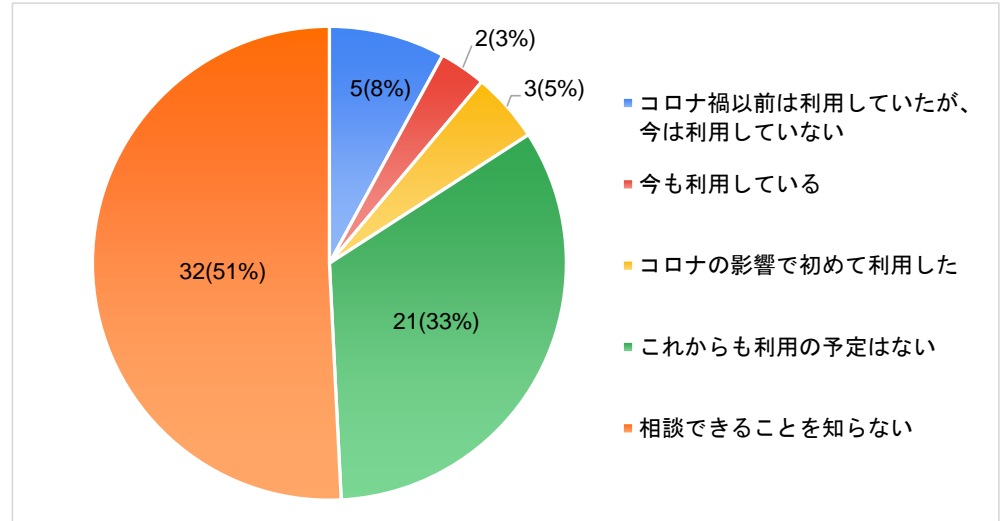
【支援窓口や支援サービスの利用状況に関する項目】

丹波篠山市や社会福祉協議会への相談について

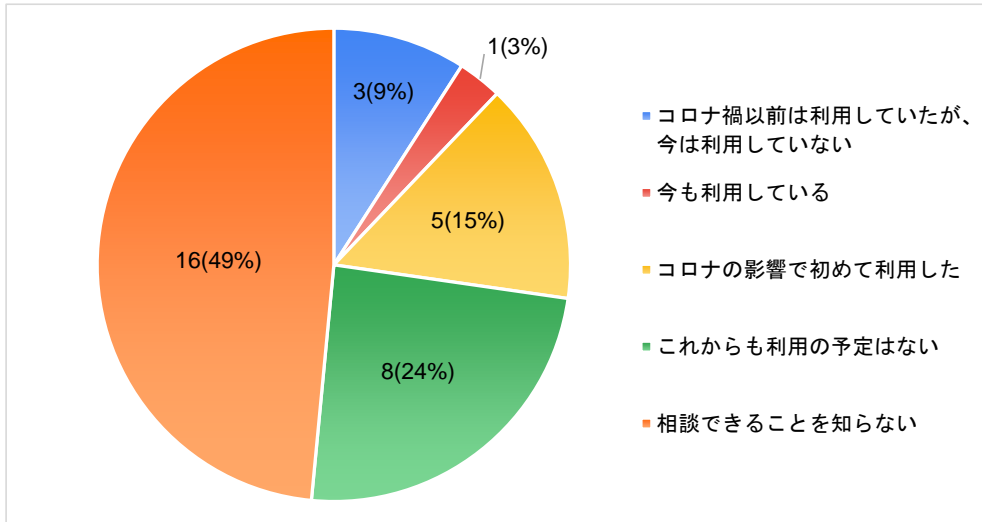
【全体】



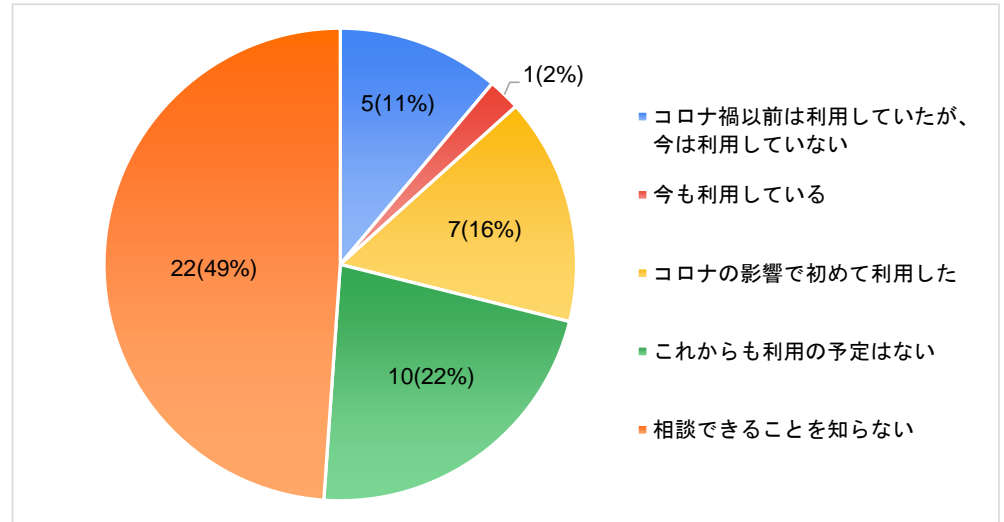
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



【年収300万円未満の世帯】



利用したサービスや相談内容を回答できる範囲で自由にお書下さい。

**【ファミリーサポートセンター、子育てふれあいセンター】**

- ・ファミサポ
- ・ファミサポ登録のみしている。
- ・ファミリーサポートセンターを通じて託児ボランティアを通年でお世話になっている。
- ・子育てふれあいセンター
- ・一時預りカンガルーを利用して子どもを預けていた

**【子ども・子育てに関する相談など】**

- ・母乳相談
- ・子供の事で
- ・市の子育て相談
- ・こどもの発達相談
- ・子供の発達支援について
- ・幼児の発達相談及び教室
- ・子供の発達検査

**【資金貸付・手当】**

- ・一時的な貸付金
- ・貸付け
- ・特別児童手当てについて
- ・お金が本当でない時に貸付金を申し込みに行ったが該当せず借りられなかった。詐欺の被害にあったり大変な時に借りられずその経験はとても辛かったのできちんと節約して暮らすようになったのでよかった。

**【その他】**

- ・福祉師さんへ精神的に参ったときに話を聞いていただきました。
- ・コロナ渦の時期にたまたま起業してしまったもので、支援はほぼ受けることができませんでした。
- ・上記選択項目がないのですが、相談できることはしており、必要に応じて利用したいと思います
- ・相談しても、条件が厳しかったり、対応が遅い。

## 丹波篠山市や社会福祉協議会への相談に対する意見や感想

### 【情報提供／広報の不足】

- ・どのような取り組みがあるのか、分野別に一覧がほしい
- ・相談しても解決や不安を取り除けるかわからない。
- ・社会福祉協議会に相談できる事を知らないので宣伝すべき。
- ・何を伺う場所なのでしょう？
- ・おそらくこういった機関か、支援があるのか知らない人が多いと思う。高齢者介護職なので知ってはいるが、一般の方などは貧困などについてもカバーされてることは知られていないのでは？

### 【要望】

- ・子供が遊ぶ楽しい公園がない
- ・篠山市は遊具がある公園が少なすぎる
- ・もっと子どもが遊べる公園などを設備してほしい。
- ・モスバーガーや、スシローを作ってほしい。
- ・発達障害児の親が隣に気を遣わずに住める戸建ての紹介と援助。こどもの騒音で迷惑をかけてしまうストレスで死にたくなる
- ・親子食堂は生活に困る家庭だけでなく、すべての子どもをもつ家庭が利用できないと意味がない。丹南地域は収入の低い家庭のみが対象なのにも関わらず、広報にはその旨が記載されていない。我が家は収入が低くて食事に困るわけではないが、完全核家族であり、夫婦共働きのため、平日は時間に余裕がないし、毎日家事と育児と仕事におわれています。そんな家庭がお弁当持ち帰りだけでも利用できると、とても助かると思います。篠山は夫婦フルタイムかつ祖父母が近隣に不在、という家庭は少数派なのかもしれません。祖父母サポートなしで、夫婦フルタイムでは平日手が回らずに、とてもストレスフルです。

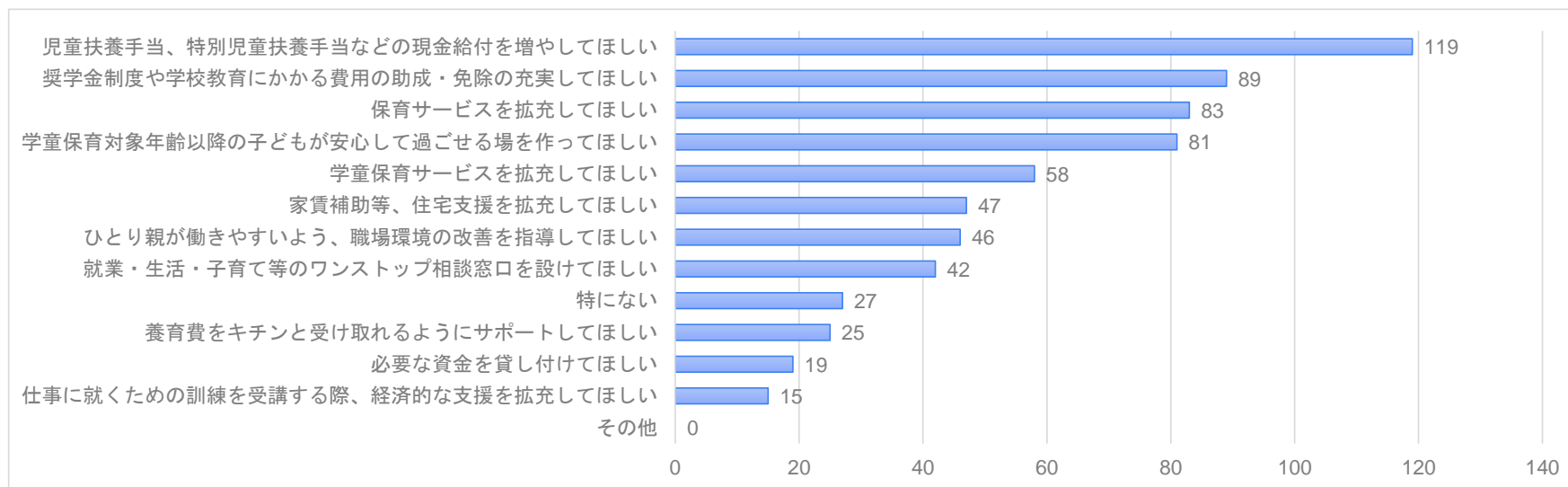
### 【その他】

- ・子どもを預かってもらえるのは私にとっていい息抜きになっていた。
- ・とても親身に相談にのって下さりありがたく感じた
- ・対応がとにかく遅い。
- ・コロナで、大変なのに、税金、健康保険とかは、残酷なくらい、しっかり請求される、今、大変で、仕事減ってるのに、なんで、前の年の収入で、決められるのか？補助金より、税金を考えて欲しいです、
- ・とても親身になって話を聞いては頂けるけど具体的な支援といったら最小限に思えます。いつも思ったのがその人には食事や暖かい家がある。だからそんなふうに落ち着いて対応できるということを思いました。思い出ただけで辛いです。本当に困っている人たち、わたしも含めてですが自分の気持ちの持ち方や家族の支えによってしか解決してないことを見るともっと困っている人の現状を知るべきだと思います。でも自業自得な面もあるので、話を聞いてもらえるだけでもありがたいのかもしれないです。

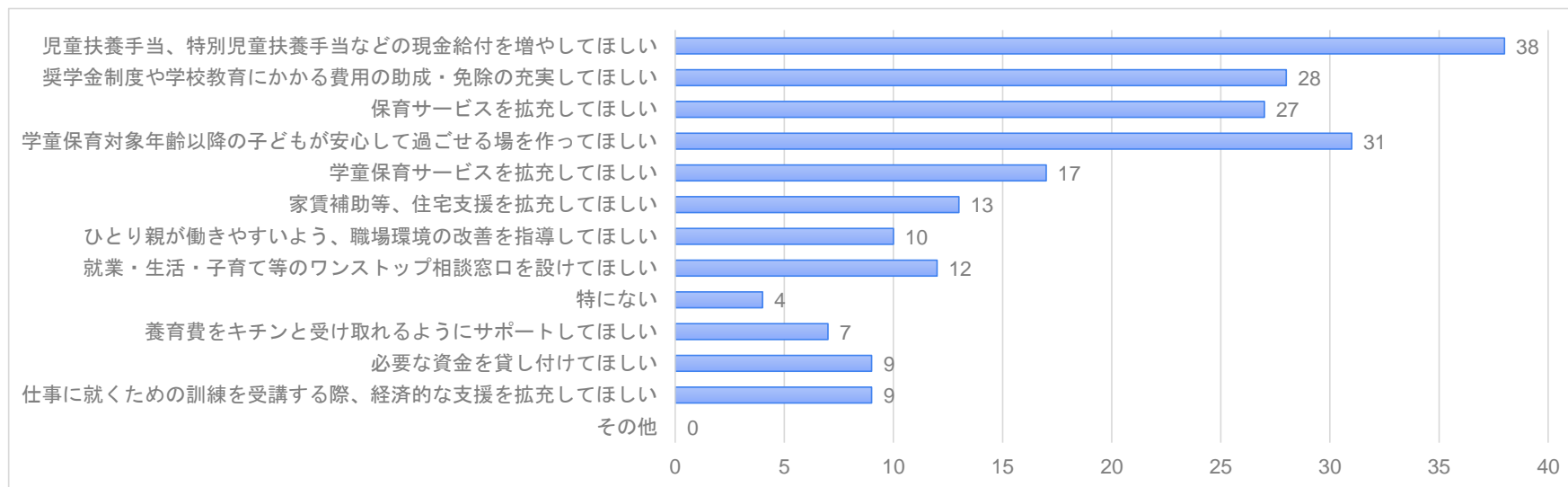


**もっと充実してほしいと思う制度は何ですか？（複数回答可）**

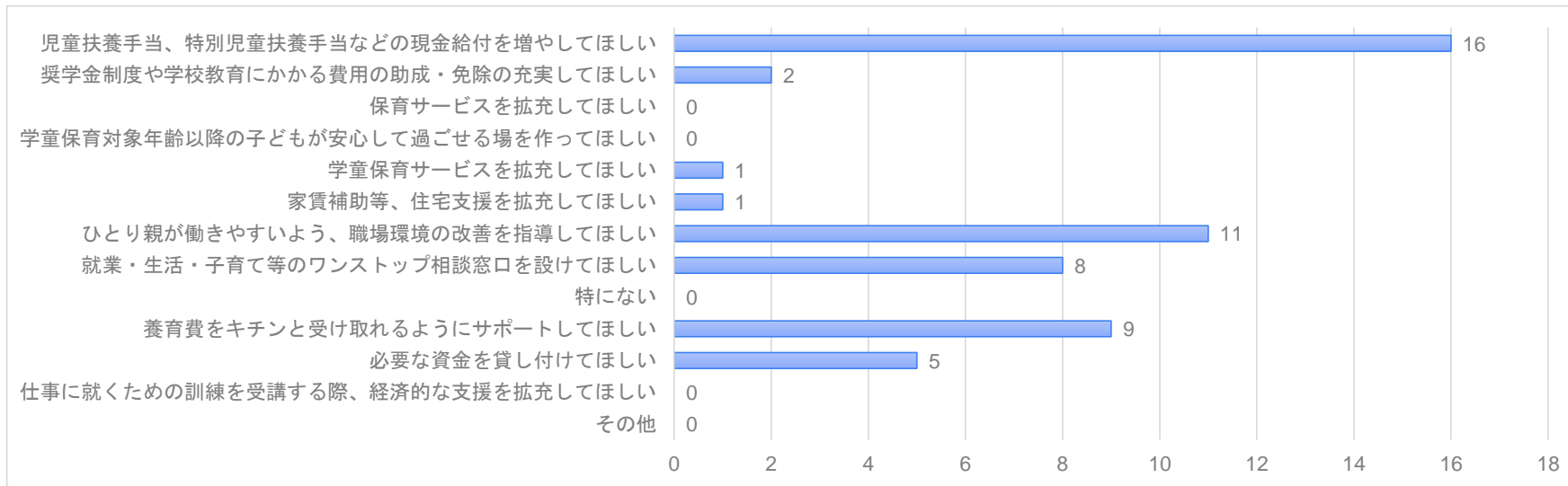
**【全体】**



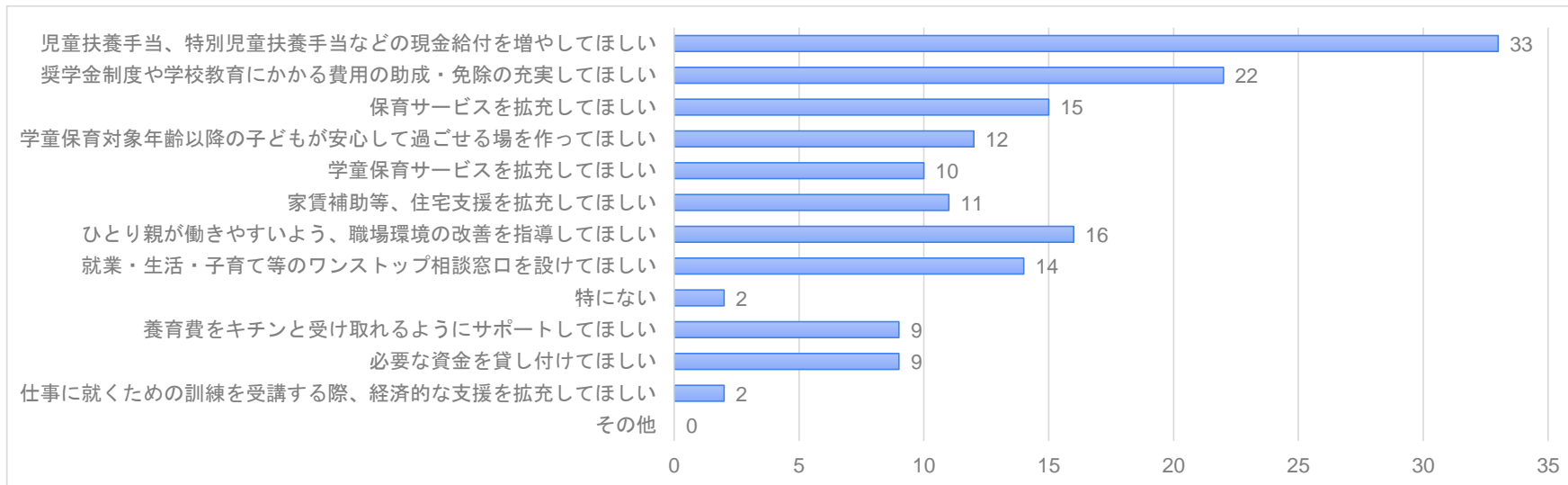
**【多子世帯（子どもが3人以上いる）】**



### 【ひとり親世帯】



### 【年収300万円未満の世帯】



## 充実してほしい制度に関する具体的な意見

### 【保育・教育】

- ・ 保育園を増やす
- ・ 待機児童がないようにしてほしい
- ・ 保育園の人数。入れない人がいる聞きました。
- ・ 3歳児からの幼稚園。
- ・ 学童をもっと広く、人員を増やしてほしい。
- ・ 学童保育を19時まで延長してほしい。
- ・ 病児保育の時間延長
- ・ 篠山岡野たまみず幼稚園地区の預かり保育の時間を延長してほしい。17時までは厳しい。
- ・ こども園での4歳からの2年保育ではなく、3歳からの3年保育にしてほしい。
- ・ 接客業で土日祝日も仕事をしている。病児保育制度を平日だけでなく、土日祝日も利用できるようにしてほしい。
- ・ 保育、教育のサービスを充実してほしい。特に、公立幼稚園(こども園)での3年保育を実施して欲しい。3歳のこどもを1号認定で預けたくても、預けられない。(預けるには、親が就労して保育園に預けるしかない) 私立のこども園では1号認定で3歳児の受け入れもあるが、数名で狭き門となっており、多くの家庭が落選している。県内の状況を調べてみても、半数以上の市町村で公立幼稚園、こども園で3年保育を実施している状況である。近隣の丹波市、三田市、西脇市などでも、3年保育を実施しており、保護者の要望も多い。幼稚園は文部科学省の管轄で、教育を受ける施設である。子どもには、教育を受ける権利があり、他の市町村の3歳児は教育を受け、篠山で望んでいる3歳児が教育を受けられないのは不公平である。また、教育無償化が始まり、3歳も無償の対象であるので、そこも不公平感がある。
- ・ 就労していない保護者がいる家庭でも3歳から保育園に入園できるようにしてほしい。聞いた話だが、市の意見としては「近隣の市も4歳からの入園になってる」という回答だったみたいだが、調べてみたが兵庫県下で4歳児入園は篠山だけ。赤穂と神河でも最近までは4歳だったが3歳児からの入園に変更している。集団生活をしてほしいと願っている親がいる中で、それは教育を受ける機会均等を奪っていると思う。それを理由に他市へ引っ越す家庭もある。本当にどうにかしてほしい。
- ・ 多様な教育
- ・ 子供の健康や成長の為に学校の給食を有機食材を使ったものにしていただきたいです。
- ・ 学校の長期休みの学童について、給食制度(もしくは弁当配給)を検討してほしい。働く親にとっては毎日の弁当作りに時間がかかったり、おかずを考えたり、いろんな意味で負担になっている。
- ・ 中高生等のための自習室を整備してほしい。篠山口駅の中のフィールドステーションで是非やってほしい。学校等で手洗いするときにお湯が出るようにしてほしい。

## 【支援】

- ・ 子供に対する支援金
- ・ 教育にかかるお金の助成があればぜひ利用したいです。貧困から抜けるには教育が大切だとすごく感じます。
- ・ 新生児～1歳(または半年)になるまでオムツを定期宅配してほしい。買いに行けなかったり気づいたら足りないことがあるのでぜひお願いしたい。
- ・ ひとり親世帯が家賃補助を受けれるようにしてほしいです。
- ・ 子供も3人おり介護しているので、仕事もまともにできない。子供にかかる費用の資金援助、免除制度を濃くして欲しいです。
- ・ ひとり親が働きやすいように企業に職場環境を改善するように指導してほしい。また、養育費を貰っていない家庭には、児童扶養手当や特別児童扶養手当の現金普及を増やしてもらわないと本当に生活がしんどい。
- ・ 小学生以上、中高生の発達支援事業を組み立ててほしい。親ができる発達相談や講習会・勉強会を増やしてほしい
- ・ 幼稚園に入園するまで家庭で保育している家庭に、一時預かりをもっと気軽にできるようにしてほしいです。現在は枠が少なすぎて争奪戦になりがちです。保育園に通う子どもは補助など受けられているのに、家庭でみている子どもへの補助もしていただきたいです。

## 【遊び場・居場所】

- ・ 遊具のある公園
- ・ 子どもの遊べる場所を作って欲しい。小学生以上の遊び場が全くない。あっても知らない。イベント情報を全員が見れるようにして欲しい。知っている人は申し込みできるが、知らない人は知らない。広報だけでなくFacebookなどを開設して検索しやすくして欲しい。土日、雨の日に遊びに連れていける場所がない。センターも月～金ですべて開けてなくてもいいので、土日に利用できる施設が欲しい。夏休みにしていた、親子クッキングを定期的に開催して欲しい。子どももとても楽しんでやっていた。大人も普段やらないレシピとかを教えてもらえるので助かる。食育につながる。家だとなかなかできないので。
- ・ 子どもが集まれる所がない。お互いの家を行き来しなくてはいけないので、親のスケジュールも合わせなくてはいけないので気軽に遊べない。
- ・ 多世代間の交流ができるような大きな拠点ができるといいと思う。
- ・ 子どもが一人で留守番している家も多い、さらには外に出てはいけない、遊びに行ってもいけないと言いつけられている子も多い。安全のために仕方ないのかもしれないが、子どもの生活として健康ではないと思う。地域にもう少し開かれた場所づくりをしてほしい。
- ・ 学童保育園後、その場で運動教室や英語教室など、習い事もできると嬉しい。たき地区は習い事に行くにも距離が遠く、平日働いてるいるとほとんど習い事をさせてあげられないので。
- ・ 子どもも親も安心して過ごせる環境がもっと整えば出生率も増えると思う

## 【その他】

- ・スターバックスがあれば、若者は、流出しないかも。
- ・固定資産税が今年から減額されないのだから来るのか分からないのが怖い。
- ・篠山市内の医療サービスについて、古い機材や良くない人材の医者など質の悪い医療サービスを補助金等を渡して無理矢理存続させるより、市内医療に拘らず、柏原の医療センターや神戸北の済生会などへ通院できるサービスを増やしてもらいたいです。たとえば、健康福祉センターや市民センターから直通のバスを出す…など。
- ・少子高齢社会で、子どもの数をどれだけ増やせるかが重要だと思う。
- ・女性が安心して働きキャリアアップ出来るような環境を整えて欲しい。
- ・声を上げやすい環境づくり
- ・コロナで収入が減り家賃補助制度の申請をしましたが、母子手当や子供手当が収入と計算されるので制度が利用できないと言われました。毎月入る手当ではないので、毎日の生活がしんどいです。
- ・一人親ですが、今は仕事があるので、この先のことが気になるの。親の病気や、コロナ感染ですべてがかわってしまうかもと考える。子供だけは、無事学校を卒業し仕事についてほしい。
- ・ひとり親だった時に養育費を1円ももらえなかったので生活がとても苦しかった。仕事をしないと生活出来ないから子どもをかなり犠牲にして寂しい思いをたくさんさせてしまったのでとても後悔している。こんな思いをする方を少しでも減らしてあげてほしい。

## 【支援窓口や支援サービスの利用状況に関する項目】世帯の構成や収入による違いや傾向

**丹波篠山市や社会福祉協議会への相談について**では、世帯の構成や収入によらず、ほぼ50%が「相談できることを知らない」と回答している。市と社会福祉協議会の情報発信はホームページと広報紙、新聞発表で行われているが、子育て世代が情報入手する方法はSNSが主流。紙媒体の広報紙や新聞、わざわざ見に行かないと情報の得られないホームページは子育て世代や若者には合っていない。隣の丹波市ではSNSを使い、積極的に情報発信している。

丹波市LINE（フォロワー数 10,200）	丹波市Facebook（フォロワー数 4,885）	丹波市教育委員会LINE（フォロワー数 961）
丹波市社会福祉協議会Facebook（フォロワー数 1,031）		
丹波篠山市社会福祉協議会Facebook（フォロワー数 46）		

（フォロワー数はいずれも 2021.3.18 現在。丹波篠山市社会福祉協議会Facebookのフォロワー数が少ないのは、更新頻度が低いため。）

令和3年度施政方針に「SNSを使った情報発信強化」が表明されている。また、社会福祉協議会の情報発信については令和2年度の事業計画で既にSNSの活用が計画されていた。同じく令和2年度に開催された『ボランティア活動のあり方検討会』でもSNSを使った情報発信の充実を申し入れている。受け取る世代に合っていない広報では情報は届かない。早急にSNSの活用を進めていただきたい。

**丹波篠山市や社会福祉協議会への相談について**で、残りのほぼ50%は相談できること自体は知っている。その中でもひとり親世帯の5世帯（15%）、年収300万円未満の世帯の7世帯（16%）が今回のコロナ禍で初めて利用したと回答している。もし残りの50%も相談できることを知っていれば、何らかの支援につながった可能性がある。

**利用したサービスや相談内容**によると、子育てや子どもの発達に関する相談、ファミリーサポートセンターなどの託児サービス、資金貸付などを利用されている。対象者にキチンと情報が伝われば、利用率は上がる可能性がある。しかし中には、「貸付金を申し込みに行ったが該当せず借りられなかった」「条件が厳しい」という声や、「対応が遅い」という声もある。市の第3次総合計画の前期基本計画では『誰1人取り残さない』社会を目指すSDGsの考えを取り入れ、「市民が安心して暮らせる環境づくり」「1人1人が豊に暮らせる環境づくり」に取り組むとされており、制度が利用できる／できないに関わらず、市民が困っている状況を貸しようにするために、関係部署あるいは市民団体などと連携し、継続的な伴走支援へとつなげていくことが大切と考えられる。

**丹波篠山市や社会福祉協議会への相談に関する意見や感想**では、**丹波篠山市や社会福祉協議会への相談について**で半数の保護者が「相談できることを知らない」の結果通り、広報不足を指摘する声がある。子育て世代の情報入手方法に合ったSNSを活用した積極的な情報発信は急務である。要望としては、ささっこ青空ひろびが必要とされた理由にもあったように「公園の数を増やしほしい」「遊具を整備してほしい」という声があった。市の取り組む『おいでよささっこ子遊具設置事業』で、1つでも多くの公園を増やし、遊具を充実していただきたい。

**もっと充実してほしいと思う制度は何ですか？**では、「児童扶養手当、特別児童扶養手当などの現金給付を増やしてほしい」「奨学金制度や学校教育にかかる費用の助成・免除の充実してほしい」の2つがかなり高い結果となった。**支出が増えたこと、その影響、あるいは金銭面での将来への不安について**において、コロナの影響で「貯蓄が進まない」「子どもの教育にかける費用や将来への不安」との回答が多く寄せられたことから当然の結果と言える。SDGsの4つ目の目標は『質の高い教育をみんなに』。文部科学省の全国学校調査・厚生労働省の全国ひとり親世帯等調査などによると、平成28年度の進学率は下表の通りであり、世帯の構成や困窮状況により教育格差が生じている。今回のコロナの影響を受けて、教育への不安がより多くの世帯に広がっている。

	高等学校等進学率	大学等進学率（専修学校含む）
全世帯	98.9%	73.2%
ひとり親世帯	96.3%	58.5%
生活保護受給世帯	93.3%	33.1%

ひとり親世帯が充実してほしいと望む制度には、「ひとり親世帯が働きやすいよう、職場環境の改善を指導してほしい」「就業・生活・子育てのワンストップ窓口を設けてほしい」「養育費をキチンと受け取れるようにサポートしてほしい」という回答が多いという特徴がある。

職場環境の改善については具体的な意見が回答されていないが、一般的に『子どもの急な発熱などの際、仕事を休める』『残業なく定時で終業できる』『休日出勤がない』『社内に託児所があり、子どもを連れて出社できる』『資格取得のために資金面・時間面で支援がある』などが考えられる。SDGsの8つ目の目標『働きがいも経済成長も』では、弱い立場の人が不利にならず、暮らしと両立しながら、働きがいのある仕事に就くことが必要とされている。平成24年に策定された『第2次男女共同参画プランフィフティプラン』では、『働く職場における男女共同参画の推進』が重点課題としてあげられているが、ひとり親世帯が働きやすくなるよう職場環境の改善指導を進めることは掲げられていない。令和4年度から取り組む『第3次男女共同参画プラン フィフティプラン』は、令和3年度中に策定される。シングルマザー・シングルファーザーが働きやすくなるための職場改善指導について、ぜひとも取り入れてほしい。ただし、いま困っている現状があるから充実してほしいと回答されている。取り組めることから事業主に対して啓発を進めていただきたい。

「養育費をキチンと受け取れるようにサポートしてほしい」に関しては、大阪市と明石市で信用会社と連携して肩代わりする施策が実施されている。全国的にも養育費の不払いは8割に及び、法務省が『養育費不払い解消に向けた検討会』を開き、法制審議会に制度の見直しを諮問している。早急な制度見直しが待たれる。しかし、見直しまでの間も不払いが続けば、市内のひとり親世帯は困窮状態も続く。先行自治体と同じように丹波篠山市が信用会社と連携して肩代わりする仕組みを実現していただきたい。



**充実してほしい制度に関する具体的意見**では、待機児童が出ないように保育園を充実したり、病児保育や学童の時間延長の声があがっている。特に、3才児の3年保育への要望が強い。同年齢の子どもたちと同じ時間を過ごすことが社会的な成長につながるとして、既に母親グループから市へ要望が伝えられ、令和3年度施政方針にある『森のようちえん事業』につながっている。年間を通じて実施されるイベント型の事業（月1回程度）であるが、本来は「3年保育による子どもたちが継続的に教育を受けられる機会を作ってほしい」という要望であることを理解し、より一層の拡充に努めていただきたい。

また、「小学生以上、中高生の発達支援事業を組み立ててほしい。親ができる発達相談や講習会・勉強会を増やしてほしい。」という声がある。市ホームページ。ささっ子すくすくガイド等を見る限り、児童の発達支援事業しか見当たらない。『篠山市 特別支援教育 推進基本計画』では「乳幼児期から就労までの一貫した支援を行うために、発達支援記録や個別の移行支援計画を含む“サポートファイル”を作成し、効果的に活用を進める。」「校内委員会の設置・特別支援教育コーディネーターの指名および実態把握は継続的に実施する。」とある。しかしながら、**子育てに対して不安に思っていることや、特に困っていること**では、「発達障害を持つ子ども達のための療育の機会が少なすぎる。就学後は通級指導でさえ満足に受けられない。コロナでも特段の配慮は何もない。学校での療育の機会を増やしてほしい。」、**いま困っていること**でも「発達障害のこどもを受け入れてもらえる学校環境ではない。」「高校生の自閉症スペクトラムの子を育てていますが、なにか気軽に相談できる場所がない。勉強会など参加できる機会もほぼ無い。」という困りごとがあがっている。アンケート回答者のうち、障害のあるお子さんがいる世帯は20世帯。そのうち中学生以上のお子さんがあるのは7世帯。身体、発達、知的など、どのような障害を持っておられるかまでは調査できていない。高校は市立ではないが、これらの要望を特定の世帯からの要望とせず、発達障害のある中学生以上のお子さんに関する相談や学びの場に困っている世帯がどのくらいあるのか、具体的にどのような場が必要とされているのか、市や教育委員会でさらに調査を進め、対応していただくようお願いしたい。



## 子育てに対して不安に思っていることや、特に困っていることがあれば、お書き下さい。(自由回答)

### 【保育・学童】

- ・保育時間をせめて午後7時まで延長してほしい。篠山に住んで働きたいと思っても、共働き世帯では6時半までだと勤務地に制限ができる。せいぜい市内か三田、丹波に勤務している方くらいまで。少々遠距離になっても篠山から通いたい人の思いを考えてほしい。(遅くまで仕事をしたいと言っているのではない、定時で帰ってもお迎えが間に合わない)
- ・学童になると一年生～六年生までと一緒に過ごす事に不安を感じる。でも、学童にいれないと仕事に行けない。幼稚園までは手厚い感じがあるが小学校になるとひとくくりにされている感じがする。
- ・土曜、日曜、祝日でも仕事があります。そんなとき、安心して預けることができる場所が欲しいです。

### 【教育】

- ・これから子供にかかる教育費が不安です。
- ・休校になってから学校へ行きたくないと言う事が増えた、今まで習った漢字なども忘れてしまっている事が多く少し不安を感じています。

### 【子育て】

- ・子どもがいじめられないか、いじめられた時のメンタルケアが不安。
- ・何をして遊ばばいいか難しい時がある。                      ・仕事(両親フルタイム)と子育ての両立。家事の時間を減らして、子どもとの時間にあてたい。
- ・コロナで行事が無くなっていること。                      ・放課後の家庭での見守りができないことがあり、心配。                      ・預ける場所がない
- ・生活するので一杯いっぱい子供がやりたいと思っている習い事等をさせてやれない。
- ・就学前の親がステイホームによって孤立し、相談しにくい環境にある。私もそのうちのひとり。講座などは軒並みなくなり、同じ世代の子どもと自分の子どもが接する機会が激減した。その影響が心配
- ・最近、知人の子どもが雪遊びをしていただけで騒ぐ声がうるさいとのことで通報されたことを知りとても嫌な世の中になっていると感じました。似たような経験もしているので本当に子どもがのびのび育つような環境を求めています。

### 【子どもの発達について】

- ・発達障害児の将来の生活
- ・障害をもっている我が子なので将来、就業し生活を自分でやっていけるのか不安。
- ・発達障害を持つ子ども達のための療育の機会が少なすぎる。就学後は通級指導でさえ満足に受けられない。コロナでも特段の配慮は何もない。学校での療育の機会を増やしてほしい。

### 【遊び場・居場所】

- ・子供の遊び場が欲しい（お祭りなどコロナでなくなったため）
- ・公園がなさすぎて遊ぶにいくのはいつも篠山以外なので困る
- ・公園などがもっと充実してほしいです。贅沢を言えば動物園や水族館などあれば嬉しいです。
- ・篠山子育て一番とかいいながら他市に負けてる。公園がない、遊び場がない。
- ・近くに公園がない。街に子供のお店がない。
- ・子供が思いっきり外遊びできる場所がない。どこもダメと学校も地域の大人も遊ぶ場所を与えてくれない。地域は高齢者には手厚く、学校は保護者同伴なら5時以降でと言われて働く親にはなかなか厳しい。
- ・年齢の離れた子供と一緒に遊べる場所。 ・近所に子供がいません！遊ばせるのに苦労しました。
- ・子どもを育てる上で、就学前の子どもたちが安心して遊べる場が極端に少ない。今、4歳、0歳時の子育て中ですが小学校を除いた遊具で遊べる場所は最短でも車で20分はかかるところにあり気軽にいけない。では、小学校で遊べばいいじゃないと感じられるかもしれませんが、小学校の遊具はあくまでも対象は小学生。未就学児にはまだ早い高さの滑り台やブランコ。目を離すことはどんな公園でもありませんが、気が休まることは一切ないです。自分でできることは自分で（階段を登らせたり）公園で遊ぶことも勉強の場だと思いますがそのような環境ではなく、今は団地ですが、家を建てるなら絶対市外にしようと決めてます。

### 【行政関連】

- ・支援窓口が一貫しておらず、どこに相談をしたらよいのか迷うことがある。 ・学校が遠いので登下校中の安全面
- ・一部地域に世帯が集中し、そこ以外の校区の人数が少なく、市の力の入れ方（設備や行事）の差を感じる
- ・市外の高校に通う高校生の交通費を市内に通う高校生と同様に支援してほしい。また、丹波市には月に6000円程度の給付金の制度が高校生にあるが、篠山市には貸与式のものしかない。給付金に変更してほしい。
- ・2歳の娘がいます。0歳からこども園に入園しました。入園前に子育て世代包括支援センター「ふたば」に大変お世話になり、食育についても丁寧なアドバイスを頂き感謝しています。が、ふたばでご指導頂いた食育指導とこども園の方針があまりに違い、そのギャップに戸惑いました。市として、どの担当部署であっても、統一性のある食育推進を行ってほしいです。ふたばでは、甘いものを控えた地産地消の食生活を指導され、私も共感して頑張って取り組んでいました。ところが入園すると、平気で市販の甘いクッキーなどのおやつなどが出てきます。家でどれだけ頑張っても、子どもが毎日登園し、それを食べると思うと、やるせなくなりました。子どもの成長に伴い、市の担当部署が変わっても、丹波篠山らしい地産地消の食育推進を統一して行ってほしいです。

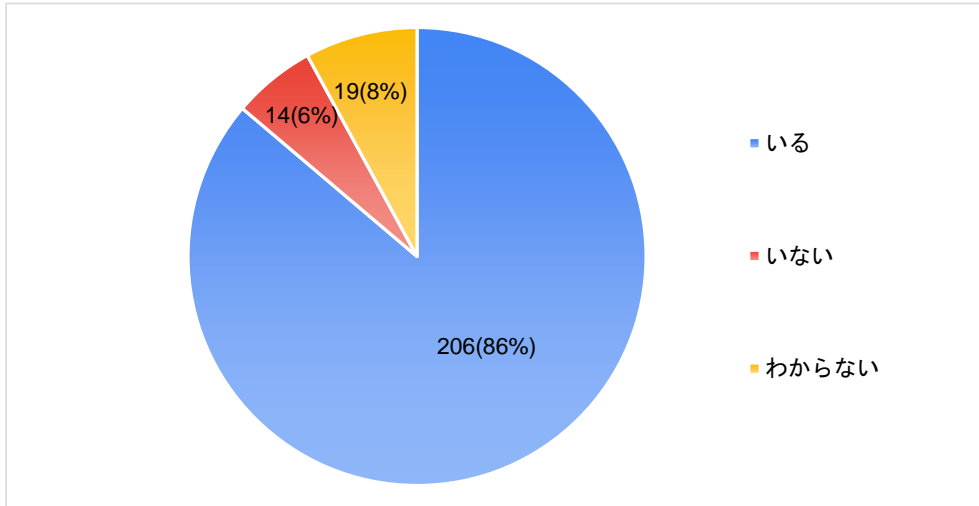
### 【その他】

- ・スクールカウンセラーではなく個人的にお話をしてみたいカウンセラーさんがいますが、実費かつ他市の方なので中々時間も作れない。
- ・ただ漠然と不安です 私の接し方がこどもに悪影響を与えているとわかっていますが…

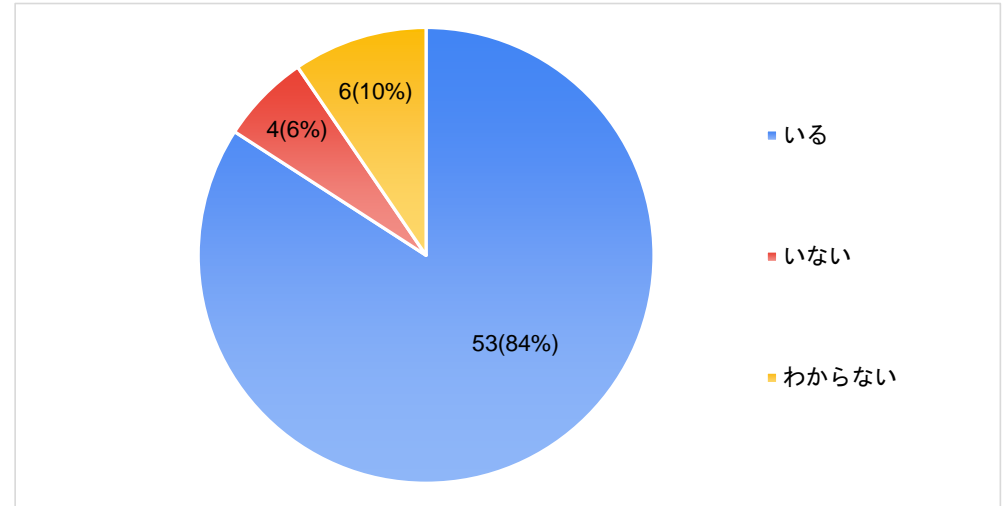
【その他全般に関する項目】

生活や子育てに困った時に相談できる人、何かあった時に手助けしてもらえる人が身近にいますか？

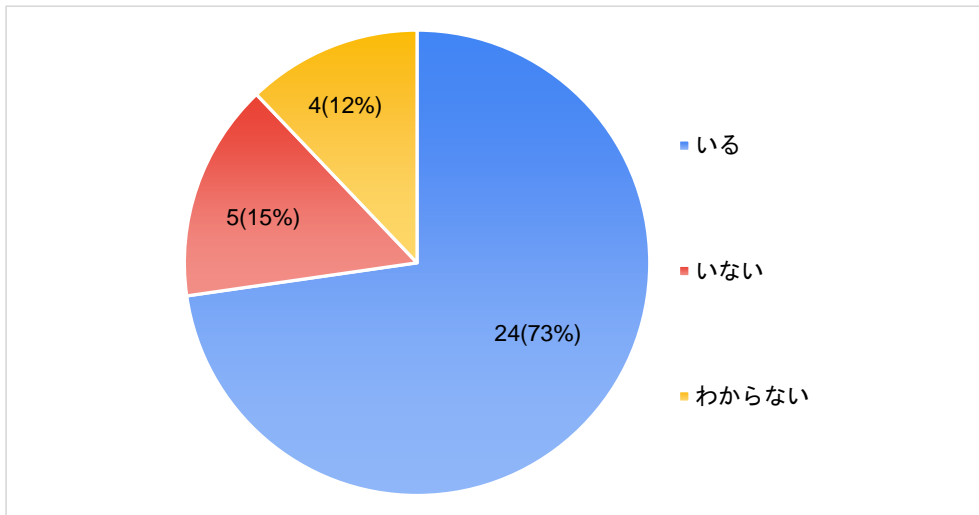
【全体】



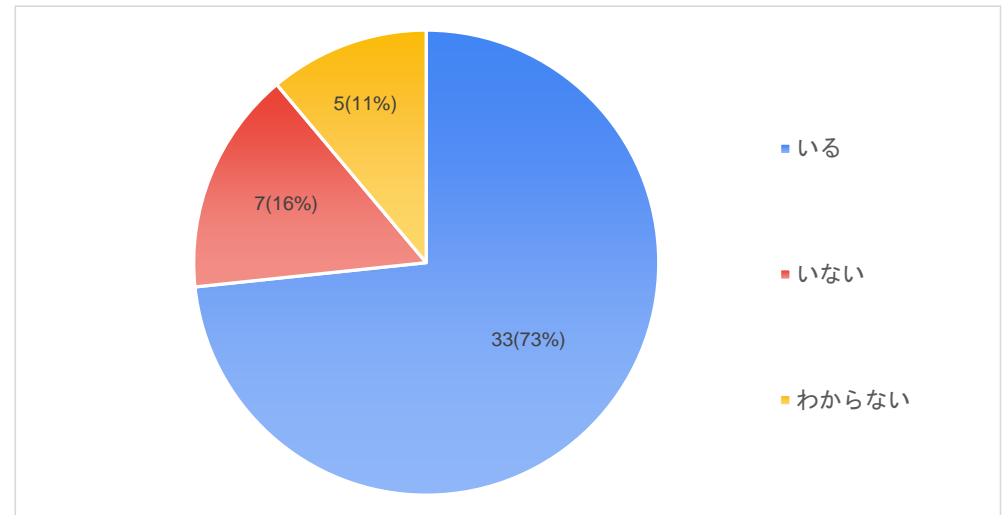
【多子世帯（子どもが3人以上いる）】



【ひとり親世帯】



【年収300万円未満の世帯】



いま特に困っていることがあれば、お書き下さい（自由回答）

**【保育・学童】**

- ・ 3歳児のお取り扱い
- ・ 保育料が高い

**【教育】**

- ・ 学費が厳しい
- ・ 習いごとまでの距離が遠い

**【子育て】**

- ・ 主人が育児に協力しない。
- ・ 学校に行くのをイヤがる
- ・ 子育てについての悩みを今までは姉や実母に相談していたけど、相談内容によって言うべきじゃなかったとか相談しなければよかったと思うことが増えたきてつらい。
- ・ 今はコロナ禍で社会全体の動きがゆっくりしているので家で落ち着いて過ごせていて困っていることはないです。
- ・ 子どもの子育てについて、本当にこれでいいのかと毎日思う。叱りたくないが叱ってばかりいることで、子どもの性格によく影響があるのではと思う。

**【子どもの発達について】**

- ・ 発達障害のこどもを受け入れてもらえる学校環境ではない
- ・ 高校生の自閉症スペクトラムの子を育てていますが、なにか気軽に相談できる場所がない。勉強会など参加できる機会もほぼ無い

**【遊び場・居場所】**

- ・ 野外で遊べる場所、公園が少ないので休日の遊び方を悩む
- ・ 家の近くに公園がないため、遊具で遊ぶ機会がない
- ・ コロナのせいで安心して外に出られないし、友だちとの関わりが減った
- ・ 土日に子供を、みてもらうところがない。
- ・ 遊び場がない。ふれあいセンターや、プティプリのような場所はいきにくい。カジュアルでたのしめる施設がほしい。
- ・ 親よりも友達と遊ぶ方が楽しい年代となってきたが、知り合う場や遊ぶ場が少ない。
- ・ 公園を充実させて欲しい。駅の近くの公園も、最近、遊具が危険なため撤去されたが、代替りの遊具の設置予定はない。ささやま医療センター横の、よし池公園のような公園を市内にもう少し作って欲しい。それが、外遊びのきっかけとなったり、こどもや地域の方の健康増進、交流に繋がると思う。小学生が学校から帰って、友だちと思いきり遊べる場が少ないように感じる。

### 【医療関連】

- ・夜間小児救急が無い。
- ・午後診察（19時ごろまで）がある小児科がない。働いているので、午後から受診したい時や夕方に体調が悪化したりするので。
- ・持病があるが、金銭的に仕事を減らせない。特定疾患の公費負担をお願いしているが、限度額が高く、医療費の負担が実質、普通に3割負担になっている。薬代が高いのが困る。

### 【将来への不安】

- ・働いているが収入が低いので、家を借りてもやっていけるか不安。
- ・収入も少なく生活するので一杯…。貯金が出来ないから将来が不安…。

### 【保護者自身あるいは家庭・家族の困りごとや不安】

- ・ストレスによる感情のコントロールができない                      ・1人になりたい
- ・子の用事、畑の管理、村用、消防団… 夫の休みがない。＝私も休めない。 ことです。
- ・私は1人親です。相談しても、行動するのは親です。一緒に行動してくれる人が欲しいです。
- ・コロナで主人の親との関係が特に悪化して家を出ようとも考えているが、就学しているのでタイミングなどを考えると決められない、話が進められない。
- ・同居したことにより職場が遠くなり通勤がしんどい。移動時間が無駄に思うし勤務時間を減らすしかなかった。収入も減る。
- ・そこそこ遠方の両親の介護があり仕事出来ない状態で子供3人の子育てに、しっかりもっと関わってやりたいが出来にくい状況。自分の体調含めて、少ししんどく困っています。

### 【その他】

- ・水道代が高すぎる。
- ・コロナ禍で、緊急事態宣言になり未だに観光客など戻って来ないかも知れない状況下で仕事をしてる者として…この先、緊急事態宣言解除になった後にどれだけ丹波篠山をアピールして行けるかが大切で。丹波篠山市のホームページも観光地アピールなど不足してる事や情報が古い部分も多く、更新も以前は特にギリギリだったり知りたい情報が分からない事も多く見受けられます！改善を希望します！それと市民へのお年玉クーポンなど有難い企画ですがコロナ禍が続く中、何か他にも市民への手助けになる企画を考えて頂きたいです。

## その他、知ってほしいこと、伝えたいことがあれば、お書き下さい（自由回答）

### 【保育・学童】

- ・仕事をしたいが家に子供たちだけになってしまう。
- ・今、他の地域では3年幼稚園が主流となる中、この篠山では2年幼稚園しかありません… 3年幼稚園も考えて頂きたいです。それが無理なら、充実した公園も市内中心部にはありません…待機児童が出ている状態の今、自宅で小さなお子さんと過ごしているお母さんも多いです。気軽に近くで楽しく過ごせる公園などがもっと充実して欲しいです！！
- ・幼稚園や保育園の先生の中に、子どもの人権に対する意識が低い人が何人かいる。特にベテランの方。
- ・共働きであると、預かり保育や学童の迎えが複数箇所になると時間的に厳しい。なるべく一ヶ所にしてほしい。フルタイムで働くには仕事場が限られる。

### 【教育】

- ・中学生の制服は変えないで欲しい。買えない
- ・感染防止を真剣に考えるならば、少人数学級制にこの4月からでもできるはずだ。この1年間一体何をしていたんだろうと思う。政府がしなくても市で独自にできることはあるのと思う。グルメ券や商品券に予算を投じる前に、20人学級を小中学校で実践してほしい。

### 【子どもの発達について】

- ・子供が発達グレーで障害があるとは言わなくていいような、さほど気にするほどではないけどこのままでは本人が生活しにくいのではと言う診断が出ています。生活する中で感じた事を注意や訂正していますが、理解できているのかわからないし私1人でやっても限界があります。でも実家に帰った時などは「目を離すな。お前が注意しないとあかんやろ」と言われ、どこにいても私は1人の時間やのんびりと過ごせないのかと思うとどこにも行かず家に引きこもるのか一番楽だと思ってしまう。でもそれは子供にとって経験する場をなくすことになるから色々考えてはいるけど自分の空振りになる事もあって心に穴が開く事もあります。何もしたくないと思う自分が最近が増えてきました。

## 【遊び場・居場所】

- ・ とりあえず遊具のある公園を作って
- ・ 室内の広い遊び場がほしい
- ・ 篠山にもっと遊具のある公園を作ってほしい。
- ・ 雨天の日曜日に遊べる場所がほしい
- ・ こども園の行事がコロナでほとんどが中止に。人数制限や日程を増やして何とか実施してほしい。
- ・ 土日に天候関係なく子供が安全に遊べる場所がほしい。
- ・ 児童館やファミサポなど日頃お世話になっており感謝しています。公園での遊具も市内色々楽しませてもらっているのですが、高学年でも全身運動できるようなアスレチック遊具はできないのでしょうか。三田市や三木市、多可町など市外で遊具を探そうと増えってきました
- ・ 無駄に広いだけの並木道公園に手作りじゃない巨大遊具を置いてください。7歳以上は乗れない遊具ばかり。アルカのうらに置かれた遊具も小さすぎて。サイクリングロード作ってほしい。河川敷にも無駄な土地が多い。グラウンドにしたり、スケートボードやランバイクが乗れる場所作ってほしい。河川敷自転車でも走るにも車がスピード出しすぎて危ない。乗って良い場所がないのに、配られるチラシでは禁止ばかり。乗って良い場所を提供しない限り禁止言われても無理です。ダメダメばかりで、じゃどこで遊べと!?田舎なのに凧あげる場所もない。並木道公園みたいな地面は石が剥がれ危険。滑ってこけます。普通のアスファルトにして下さい。篠山市、車優先過ぎます、他では考えられません。罰金並みの事を平気でやってます。横断歩道に子供がいてもブレーキも踏まずに避けていったり、危ないです。篠山市の方はここで育ったので何も思わないかもしれませんが、異常です。
- ・ 市長へ、必要などころに予算をかけてください。福住、雲部、大芋、プティプリにばかりお金を使って利用者がどのくらいいるのでしょうか？ その利用者たちの満足度はどうなんですか？ 必要などころにお金を使ってほしいです。
- ・ ふれあいセンターやプティプリさんでは平日のイベントが多いので、働く親としては休日に青空ひろばのようなイベントがあるのはとても嬉しく思います。おいしいお弁当を外で食べることができて、子どもたちも喜んでいました。企画や感染対策等大変なことも多いとは思いますが、今後も継続していただきたいです。
- ・ 子ども達が遊ぶ公園にトイレや手洗い場があればいいのと思うことがよくありました。小さいお子さんをお持ちの保護者の方はそれをよく感じると思います。
- ・ 都会では歩いて行けるところに公園があって、お母さんの散歩や息抜きにもなるが、篠山はわざわざ車で移動する必要がある。せめて歩道をもっと広く整備して散歩をしやすくするとか、歩いていて休憩できるスペースとベンチをつくるとか、景観を含めもっと練った方がいい。車生活なので車優先になりがちだが、ゆっくり安全に歩ける綺麗な街にしてほしい。

## 【その他】

- ・ 子供用品を扱うお店を誘致してほしい。                      ・ 市内に子供服の専門店が欲しい。西松屋、バースデー等
- ・ 起業、お店の開店にあたって、もう少し簡単な手続きで支援してもらえないのかなど。聞いてみると、とても条件が厳しいようで……支援する気がないのではと思ってしまう程です。もっと気軽にお店を開業して、地域の活性化につながるように、資金を協力するのは難しいものなのでしょうか。
- ・ 私はLINEのオープンチャットという機能を使い、親のための特性を持ったお子さんと向き合う勉強部屋を設立しています。全国から約1000人ほど参加していただいております。発達支援をもっと身近に感じてほしい。そして特性を持ったお子さんの子育てを楽しんでもらいたいと日々頑張っています。そんな私の取り組みも、いづれかは生かされたらなあ…と思います
- ・ 嫁にとって同居にメリットはない。嫌いじゃなかった義親を嫌いになる。所詮は他人だし、生活サイクルが年寄りと若年層では違うからストレス。1人だけ節約に躍起になっても義親に全て無駄にされるし自分の家の感覚が持てなくて何もやる気がしない。共有スペースと言いながら私はそこに滞在することはないし常にいるのに義親は滅多に掃除はしない。
- ・ 福住地区には、救助のヘリコプターが降りる場所（広いグラウンド）がなくなってしまった。また、安心して避難できる体育館がない。現在ある旧福住小の体育館はかなり古い。安心安全に暮らすためにもこれらの不安を改善してほしい。
- ・ 週末や、祝日は誰もが休みではありません。仕事している親もいます。学校行事で欠席することが多いです。理解されません。
- ・ アンケートは、ここまで、色々質問をする必要が、有ますか？ 人には、聞いてほしくない内容を 質問し、どうかと思います それに全く、食とかけはなれている 質問だって有ます。集計をされて何に使うんですか？ 月収が増加しますか？ 小学校や教育委員会が実施するアンケートだったらいいですが、民間の方が保育園や学校を使って、こうゆうアンケートをしないで下さい。



ささっこ青空ひろばを主催する「丹波篠山の子どもの食と健康を考える会」に今後やってほしいこと、期待する役割などがあれば、自由にお書き下さい。

- ・子供たちだけで作る料理教室
- ・子供に寄り添って頂ける話し合い手を。
- ・山や田んぼなど自然の中で遊ぶ企画を継続してしてほしい
- ・子供にいろいろな体験をさせてあげたい。
- ・季節の料理親子教室
- ・篠山を好きな子供を増やして欲しい。
- ・そもそも任意団体ということですが、継続して続けられるのですか？
- ・まだ深く活動の目的等を知れていないのですが、続けて頂きたいです。
- ・様々な情報を発信してほしいです。
- ・もっと広めて欲しいです。
- ・ひとり親世帯のお弁当提供を今後も続けてほしいです。
- ・実行力
- ・これからも定期的に活動を継続して頂ければありがたいです。
- ・会場ぐるぐる変えてたき地区をまわってほしい。
- ・市内のどこに住んでいても利用できるように、活動を広げてほしいです。応援してます！
- ・家では中々出来ないようなワークショップはとても助かります。
- ・木で何かを作るというのは、なかなか家で実践が難しいので、道具が揃っていて身ひとつで行ける企画はありがたい。携帯やタブレット中心になりがちな子供たちに、難しいものでも生で制作風景も見せてもらえると、プロの仕事はものすごい衝撃だと思うので、より興味を持つと思う。今は何でも売っているので、それよりも、作れば可能性が無限にあると、子供が感じてくれる会になるといいなと思う。最終的には、なんでも自分で作り上げる意志を持つ子供を増やすお手伝いとして、続けていただけると嬉しいです。料理なんかもやっていただけると、家でやるよりお互いおおらかにやれる気がします（笑）
- ・子供たちと一緒に遊ぶ時間ができて嬉しかったです。また開催していただきたいです。定期的に参加し家族ぐるみでお付き合いできるような友達ができたら嬉しい。
- ・安価で安心安全な食材で1回分のみのカットされてる野菜や肉、魚など、簡単調理できるキットを販売して欲しい。
- ・コロナが緩和した時には子ども達が役割をもってみんなのご飯を作り、子どもに達成感と感謝の気持ちを伝える機会があれば嬉しい。家とは違う何かを得てもらえる。
- ・健康にことづけて、性教育もしてほしい。SHELLYさんのような素敵な話が聞けたら嬉しい。男女分けず。
- ・自給自足生活みたいな感じで、枝を集めて火をおこしてご飯を炊いたり、収穫体験をして収穫したものを調理して食べる 山へ行って秘密基地をつくる
- ・子供が沢山いる親でも気軽に参加できるイベントがあると嬉しいです。今回の企画もとても楽しく充実していました。次回は未就学児を対象としたものなども検討して戴けると嬉しいです。未就学児の場合だとお弁当ではなくても、パンなどのようなものでも、お昼を作らなくてよかったりするのとても助かると思います。オムツ交換のできる有無などもわかればとても助かります。
- ・子どもが大好きな美味しいものをお腹いっぱい食べられて、大人が喜んで働いている姿が見られるような場所はとてもいいと思います！健康面では発達障害傾向のある子どもや成人が食事で改善されている例をたくさん見てるので、そういったことの学習会などを開いてほしいです。
- ・このような活動を継続してほしい。
- ・社会を根本的に変える気持ち。弱者に寄り添える社会づくり。
- ・子供が自由に遊べる屋内型の施設があれば助かる。親との交流が出来る場所にもなると嬉しい。就学後も利用出来る施設がない。
- ・フードバンクとしての機能。大手スーパーや農家の方と提携し、廃棄前の配れるものを迅速に配るべき場所へ届けるシステム。
- ・今回の青空ひろばがとても楽しかったので、今後も引き続き青空ひろばを定期的にしてほしい。
- ・小学校区で細かく参加者を募ると参加してみようかなと言う人が増えたり、ほんとに困っている家庭が繋がるかと思っています。

- ・大人と子供と一緒に食べれる時短幼児食レシピが多く掲載されている冊子や HP などあれば嬉しい。ネットにもあるがレシピ数がすくなかったり広告や説明が多い時間のかかる物などが多い気がします。
- ・このまま関係者様が無理なく運営を続けられますように、市の支援金などの活用が引き続き行えるようにしていただけたら、ありがたいです。子育ての集いの場になれば新たな交流につながると感じます。少し、学校では教えてくれない命の話などを分かり安く伝える機会等あれば、良いと思います。フィンランドの教育ってこんな事例があるよの紹介等、他の地域の取り組みを試してみる。子育てに向いている市のサービスを調べて市に提案する。地域の人と関わるゲームをしながら会話できる簡単しりとり。篠山の企業努力で子育てにいかせる物の提供を募る。
- ・子どもの遊び場の提供 今回参加させてもらったがとても楽しかった。お弁当も美味しかった。子どもも野菜もすべて完食していた。苗植えも楽しかった。収穫体験もさせたい。できれば土おこし？もやらせたかった。年齢別に曜日設定してできる事はどんどんやらせたいと思った。家庭ではなかなかできない体験をさせたい。クッキングもやって欲しい。自分で収穫してそれを自分達で料理する事で食育に繋がると思う。
- ・本当に支援が必要な人に支援が行き届くってすごく難しいことだなと思っています。自分から参加する人には、支援の手をさしのべることができますが、外側から見ても気づけない人、家庭、が一番支援しないとイケない人の様な気がします。なかなか、家庭内の問題に踏み込むのは、行政的にも難しいと思うので、じゃあどうすれば…という案がなく申し訳ないのですが。
- ・SNS でもっと写真を公開してほしい。何をやる所なのか明確にしてほしい。そして頻繁に更新してほしい。
- ・第二回ささこ青空広場は、特にイベントがあってゲームなどをするわけではないが、自然の中でのびのびと自由に自分たちで考えて遊ぶ子どもたちを見て、とてもいい経験になったと思いました。またこのような機会があれば参加したいと思います。
- ・今回のような企画は自然に触れ合いながら、また子どもたちを規制することなく、のびのび遊ばせる事ができたので母子共にとても楽しかったです！ご飯も外で食べるのももりもり食べてくれました!!いつもと少し環境を変えるだけで子どものワクワクは止まらず、お箸もどんどん進んでいました！月一と言わずに、できればどんどん開催していただけると嬉しいです！
- ・外国の方への支援、1人親家庭への支援、独り暮らしのお年寄りへの支援や声かけ(こども食堂へ声かけをして、みんなで一緒に食べる場の提供など) ・こどもの自立への支援(ご飯の炊き方、おにぎりの作り方、味噌汁作りなど簡単な調理実習) ・こども食堂寺子屋みたいに、退職した教職員に手伝ってもらって、こどもの学習を見てあげる場の提供 ・親も息抜きになるように、親向けのサービスの提供(手のアロマトリートメント、大人向けの読み聞かせ、音楽、美味しいコーヒーとお菓子など?) → こどもの健康は親が心も体も健康であることが第1条件だと思うので、親へのケアもあったら嬉しいです。
- ・夏に行われなかったお祭りなど、子供たちが楽しみにしていた行事を少し組み入れてほしいです。
- ・親子食堂やお弁当の充実 平日の習い事ができるような、民間学童のような活動。
- ・今回のお弁当が大人向きだったので、もう少し子供が食べられるものにしてほしい。親子で製作がしたい。
- ・子供と一緒に体験する。身体を、動かしたりワークショップなど、一緒に作り上げる喜びがあるもの。

## 【その他全般に関する項目】世帯の構成や収入による違いや傾向

**困った時に相談・手助けしてもらえ人が身近にいますか？**では、全体と多子世帯では「いない」と回答した割合は6%であるのに対して、ひとり親世帯15%。世帯収入が300万円未満の世帯16%と2倍以上の割合となっており、孤立する傾向にある。**いま特に困っていること**でも「私は1人親です。相談しても、行動するのは親です。一緒に行動してくれる人が欲しいです。」と、伴走者を望む声がある。高齢・児童・障がい・生活困窮に関する相談支援を行う「ふくし総合相談窓口で、単なる相談に留まらず、実際に伴走する支援者につなげていくよう取り組みをお願いしたい。

ここでもやはり「公園が少ない」「遊具が少ない」という意見が多数寄せられている。**その他、知ってほしいこと、伝えたいこと**でも「他市町の公園を探すようになった」との意見があり、『ささっこ青空ひろば』で参加者へヒアリングしたところ、東部に住んでいる人は京丹波町の運動公園、北部の方は福知山の三段池公園、西部の方は西脇のへそ公園やミライエに遊びに出かけるという声もあった。今は丹波篠山市内に住み、近隣市町の公園へ遊びに出かけている状況であっても、近い将来、住む場所として丹波篠山市より他市町選ぶ方が増える可能性がある。

公園はあくまで一例。今や様々な情報はネットを使えば簡単に手に入り、様々な市町村と丹波篠山市の子育て支援や施策は比較される。市の財源には限りがあり、高齢化が進んでいる状況ではあるが、『子育ていちばん』を掲げる丹波篠山市は「利用者が少ない」「対象者が少ない」今だからこそ、市内で子育てしている世代を大切にす支援や施策を進めていただきたい。そうすることが、地方移住を考える子育て世代に選ばれる市になることへとつながる。

**「丹波篠山の子どもの食と健康を考える会」に今後やってほしいこと、期待する役割**について、2020年度の活動は、まずはどんな活動が必要とされているかを知るための調査を目的とし、子どもたちの居場所（遊び場）づくりとお弁当の食支援を行ってきた。結果としては、このお弁当付きの居場所（遊び場）づくりが、必要とされている活動の1つであることがわかった。2月と3月に行ったひとり親世帯へのお弁当提供も「継続してほしい」という声大きい。

アンケート結果を踏まえ今後検討していくことになるが、現在のスタッフの多くは『ささっこ青空ひろば』の参加者と同じ子育て世代の保護者。開催する側／参加する側と分けるのではなく、“全員が協力し合い、みんなの居場所をつくる”ということも考えていきたい。ひとり親世帯へのお弁当提供は平日の夕食時間帯にお届けしていたが、スタッフもちょうど家事が忙しくなる時間帯と重なるため、継続していくにはより多くの方に関わっていただく必要も出てくる。“無理なく長く継続できる”“できる人が、できる時間に、できる活動を行う”ことを考えていきたい。市、教育委員会、社会福祉協議会のみならず、今後ともご指導・ご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

丹波篠山の子ども食と健康を考える会

Homepage <http://aozorahiroba.info/>

Email [sasayamakodomo@gmail.com](mailto:sasayamakodomo@gmail.com)

Facebook <https://www.facebook.com/sasakkoaozorahiroba>

Instagram [aozora.hiroba](#)

Twitter [@IHauvtQliuIoZYo](#)

LINE [@257kasaf](#) (丹波篠山の子ども食と健康を考える会)

[@243fyjew](#) (ささっこ青空ひろば)